

令和3年度
愛南町行政評価結果反映状況報告書



令和3年11月
愛南町

1 行政評価の概要

政策、施策及び事業の有効性、効率性及び経済性を向上させるため、計画、実施、評価及び見直しという事業管理過程の中で、行政による内部評価及び町長の附属機関である愛南町行政評価委員会（以下「委員会」という。）による外部評価を実施し、その評価結果を行政運営に反映する仕組みです。

2 行政評価実施の経緯

本町においては、愛南町総合計画（平成 18 年度～平成 25 年度）の策定を契機に行政評価の仕組みを導入し、第 2 次愛南町総合計画（平成 26 年度～平成 33 年度。以下「総合計画」という。）を経ながら、内部評価である施策・基本事業評価及び外部評価である委員会による諮問事業評価を行い、総合計画の適正な進行管理を図ってきました。また、平成 29 年度からは予算編成と連動した事務事業の評価を開始し、体系的な行政評価の仕組みが導入されたところです。

3 評価区分別の反映状況

（1）内部評価

① 評価の対象

第 2 次愛南町総合計画に掲げる 5 つの政策、25 の施策、96 の基本事業を対象としました。

政策	施策	基本事業
支えあい健やかに暮らせるまちづくり	5 施策	19 事業
豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	5 施策	18 事業
活力ある産業を育てるまちづくり	5 施策	18 事業
自立と協働による安心安全なまちづくり	6 施策	25 事業
豊かな心と文化を育むためのひとづくり	4 施策	16 事業
5 政策	25 施策	96 事業

② 評価の方法

総合計画策定時に設定したまちづくりの成果を測る指標（以下「成果指標」という。）の目標値に対して、現状値がどれだけ近づいたかについて 4 つの評価（「達成（成果指標目標値超）」、「高（成果指標目標値達成率 75%以上）」、「中（成果指標目標値達成率 50%以上）」、「低（成果指標目標値達成率 50%未満）」）を付け、併せて成果指標値動向の要因を分析し、「施策・基本事業管理シート」を作成しました。また、これに基づき、施策（25 施策／51 成果指標）及び基本事業（96 基本事業／203 成果指標）の成果指標動向を評価し、その上で、政策（5 政策）のまちづくり動向を評価し、総合計画の進行管理を「まちづくり報告書」としてまとめ公表しました。

【添付 1】 令和 3 年度まちづくり報告書～愛南町総合計画の進行管理～

③ 評価結果の反映

作成した「施策・基本事業管理シート」を基に施策主管課及び関係課により今後の取り組みを検討し、次年度以降の事業に反映しました。

(2) 外部評価

① 評価の対象

町長が委員会へ諮問した5つの事務事業（令和2年度実施事務事業）を対象としました。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	子育て環境の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業		放課後児童クラブ事業
	担当課		保健福祉課
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	公共交通の確保
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
	事務事業		コミュニティバス運営事業
	担当課		総務課
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	水産業の振興
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営
	事務事業		水産業振興補助事業
	担当課		水産課
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	消防・救急体制の充実
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化
	事務事業		消防団運営事業
	担当課		消防本部庶務課
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進
	事務事業		男女共同参画推進事業
	担当課		企画財政課

② 評価の方法

委員会では、事務事業担当課へのヒアリングを含めた計3回の審議を行い、評価を決定し、町長へ答申しました。

【添付2】 令和3年度行政評価諮問事務事業に係る答申書

③ 評価結果の反映

委員会の答申を受け、当該答申反映の方向性を町長から事務事業担当課へ指示し、次年度以降の事務事業に反映します。

【添付3】 令和3年度行政評価（令和2年度実施事務事業）答申反映の方向性（町長の評価（愛南町行政評価条例（平成18年条例第4号）第5条評価））

令和3年度

まちづくり報告書

～愛南町総合計画の進行管理～



令和3年11月

愛南町

目 次

1	まちづくり報告書の基本的な考え方	1
	(1) まちづくり報告書とは	1
	(2) 総合計画と行政評価	1
	(3) 行政評価による総合計画の進行管理	2
	(4) 3つの視点で総合計画を進行管理	3
	(5) 報告にあたって	3
2	まちづくりの進展度（対基準値）	4
	(1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）	4
	(2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）	4
	(3) 政策別のまちづくり動向（254 指標）	5
3	前年度指標値との差異（対前年度）	6
	(1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）	6
	(2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）	6
	(3) 政策別のまちづくり動向（254 指標）	7
4	後期基本計画の目標達成状況（目標達成度）	8
	(1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）	8
	(2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）	8
	(3) 政策別のまちづくり動向（254 指標）	9
5	まちづくりの分野別進行状況	10

1 まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) まちづくり報告書とは

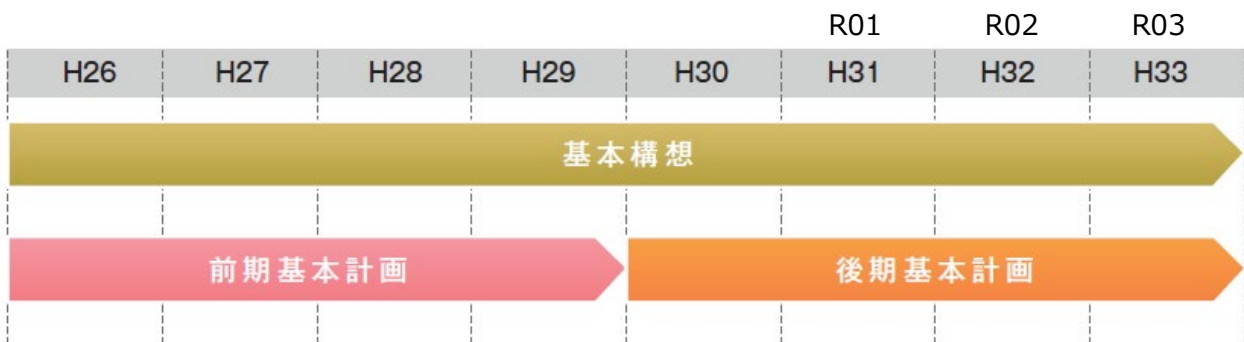
愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

愛南町が2004（平成12）年に誕生し、その間に本町を取り巻く社会情勢は大きく変化しました。人口減少社会や多様化する行政ニーズに対応していくことが求められます。

そのため、合併時に策定した第1次愛南町総合計画の成果状況を踏まえて、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定し、まちづくりに取り組んでいます。平成30年度からは後期基本計画がスタートしています。

本町の総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる、町のめざす姿と成果指標を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。また、令和元年度の後期基本計画の施策及び基本事業の成果も評価しています。

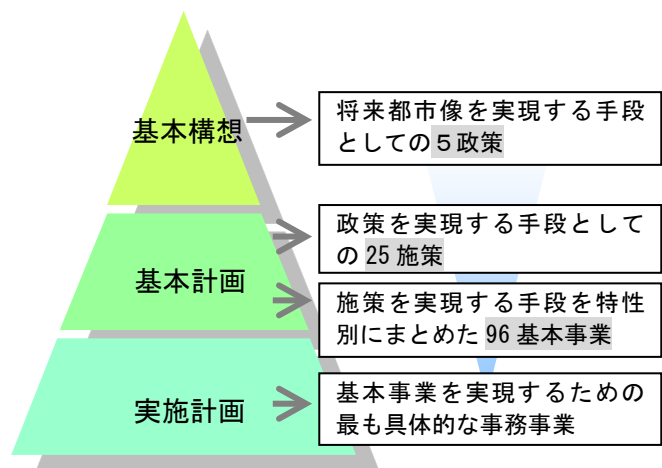


(2) 総合計画と行政評価

第2次愛南町総合計画では、将来像を「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」と定め、この将来像を実現するための5つの政策、政策の下には25の施策、96の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置づけられ、施策体系を構成します。

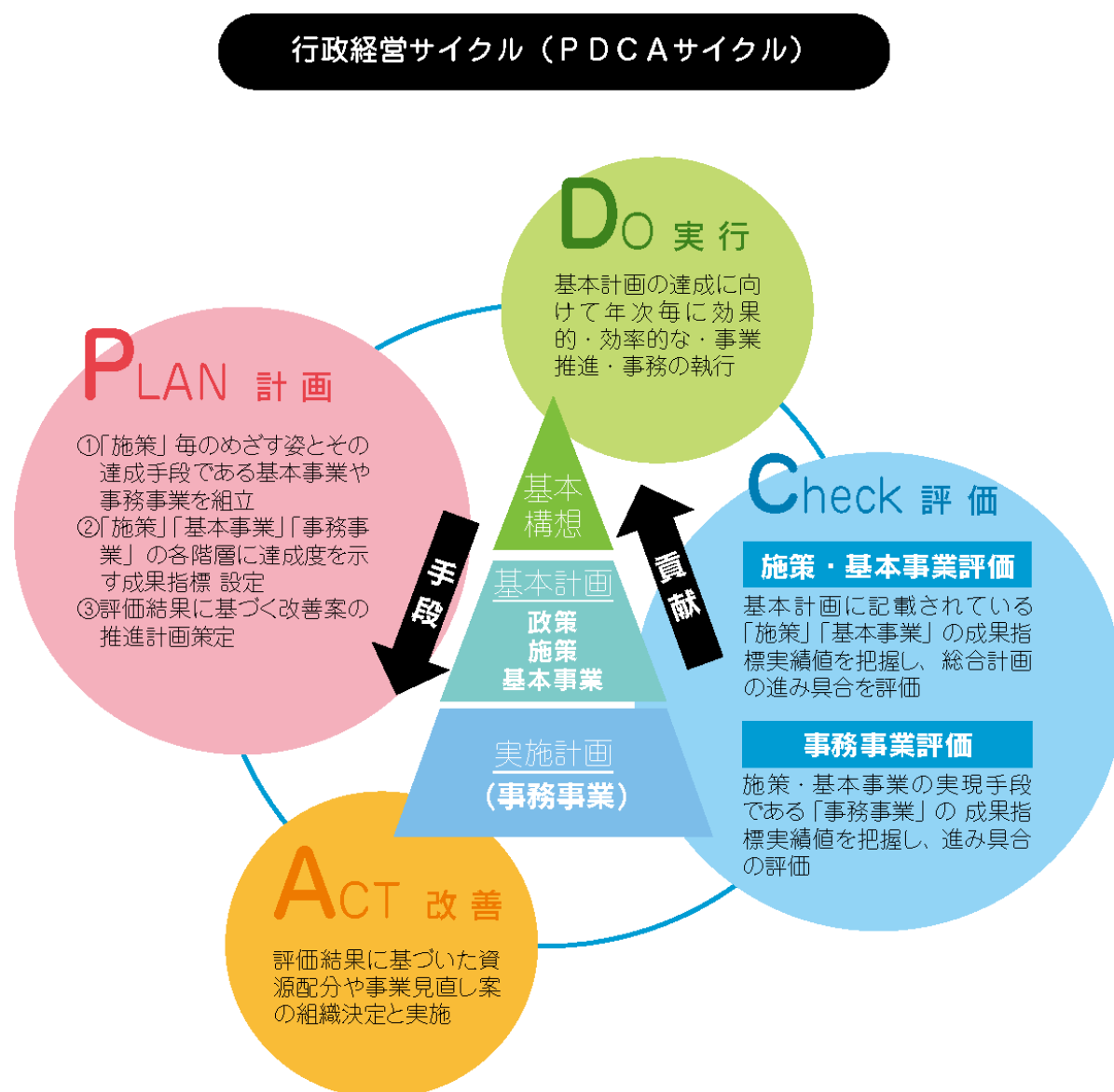
また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取り組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組みの進捗状況を管理しています。



(3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料や税金活用の説明責任資料として活用し、計画の策定 (Plan)、計画の実施 (Do)、計画の評価 (Check)、評価結果に基づく改善 (Act) というPDCAのマネジメントサイクルをまわして、行政経営の質を向上させるものです。



(4) 3つの視点で総合計画を進行管理

総合計画は、民間企業における中期経営計画のような位置づけとなります。

民間企業の中期経営計画では、目標達成度にもみ焦点があたっています。

しかし、地方自治体の総合計画は、住民意識・行動や法改正の影響、地勢（所在地）など民間企業ほど主体的に変化させづらい要素があります。また、イベント等は天候により参加者数が大きく増減する等の影響を受けることもあります。

そのため、愛南町の総合計画進行管理では、以下の3つの視点で多面的に評価します。

視 点	評価基準
対基準値	まちづくりの進展度を評価する(どの程度計画開始前より良くなったか) ★後期計画開始時点の基準値と比較する
対前年度	昨年度との差異を評価する(天候などの影響で上下することもあり、一喜一憂に留意) ★昨年度指標値と比較する
目標達成度	後期基本計画の目標値の達成状況を評価する(中期的な計画の達成度を評価) ★後期基本計画の H33(R03) 目標値と比較する

(5) 報告にあたって

①各種図表の数値の合計が 100%にならない場合があります。

報告書の読みやすさから、小数点を第 1 位または第 2 位までの表示にする小数点の端数処理によるものです（小数点の桁数を増加させれば、100%になります）。

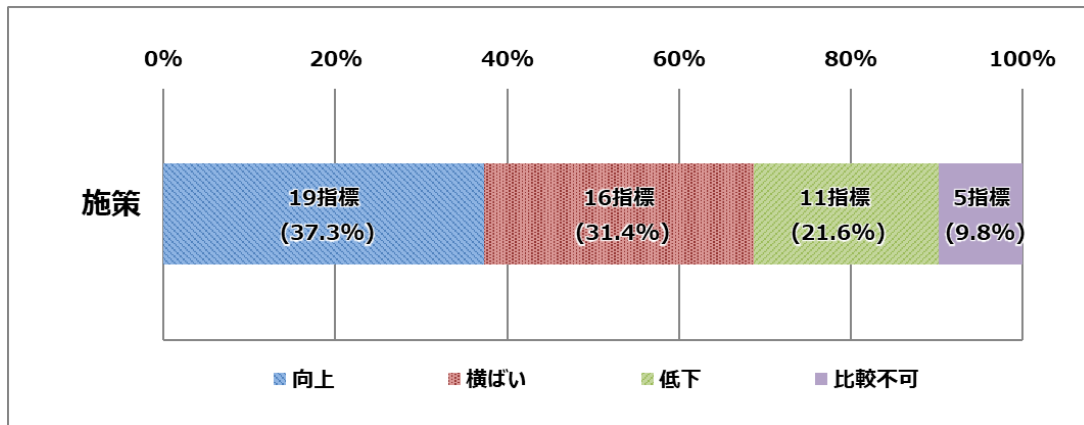
②本報告書の令和元年度の施策コスト、基本事業コストと「令和 2 年度まちづくり報告書」の施策コスト、基本事業コストが異なる場合があります。

2 まちづくりの進展度（対基準値）

第2次愛南町総合計画後期基本計画で設定した施策・基本事業の254の成果指標の後期計画開始前の値である基準値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

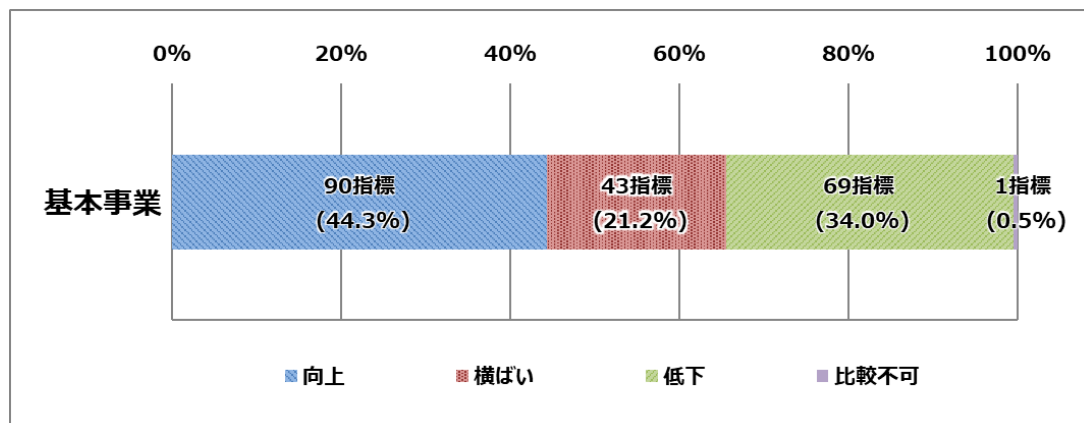
（1）施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）

25 施策の成果として設定されている51の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は19指標（37.3%）、横ばいの指標は16指標（31.4%）、低下の指標は11指標（21.6%）、比較不可の指標は5指標（9.8%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）

96 基本事業の成果として設定されている203の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は90指標（44.3%）、横ばいの指標は43指標（21.2%）、低下の指標は69指標（34.0%）、比較不可の指標は1指標（0.5%）となっています。

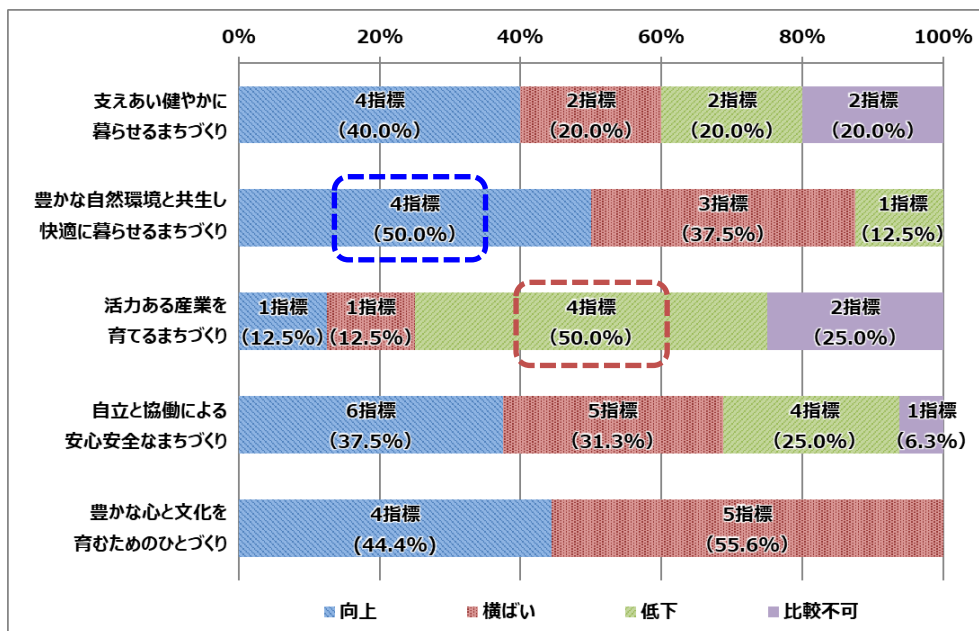


(3) 政策別のまちづくり動向 (254 指標)

〈施策階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

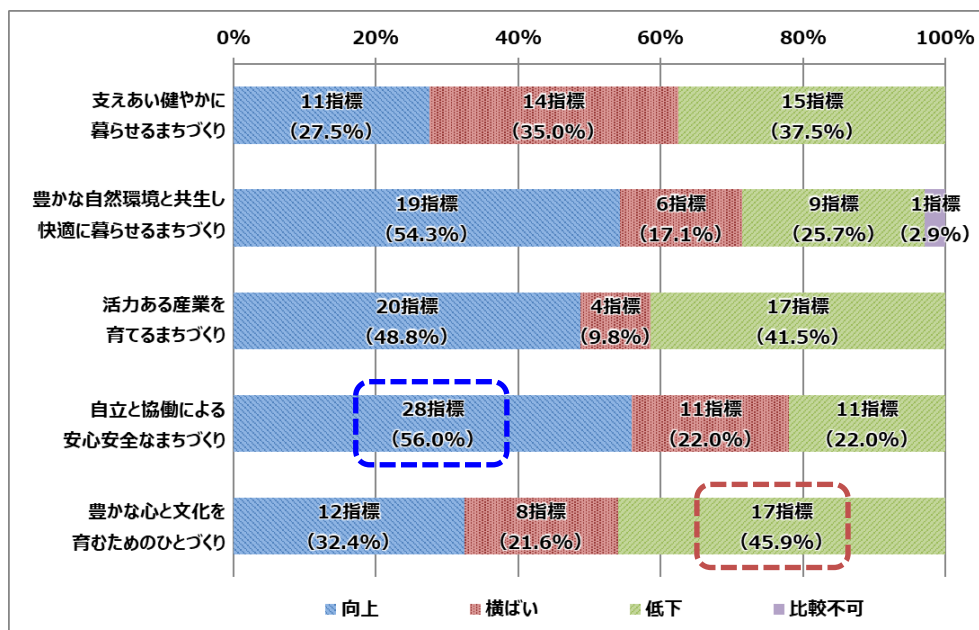
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (51 指標)



〈基本事業階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「自立と協働による安心安全なまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (203 指標)

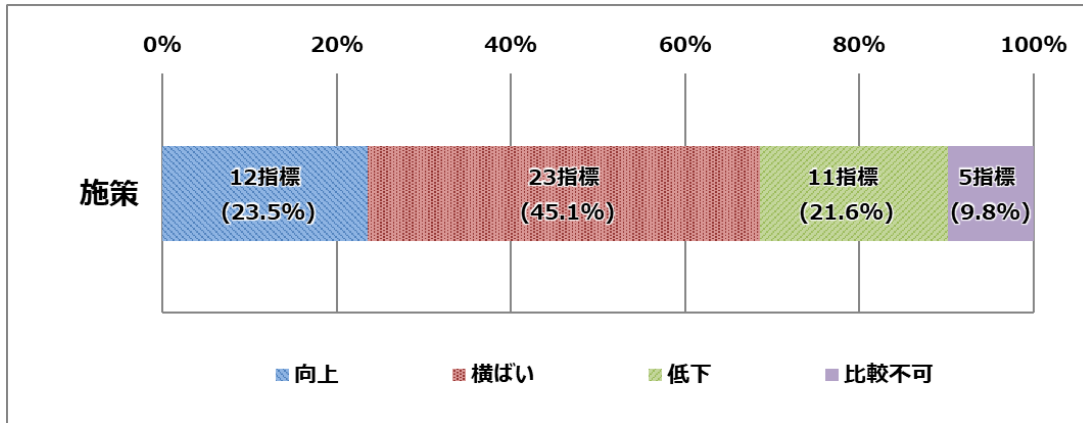


3 前年度指標値との差異（対前年度）

第2次愛南町総合計画後期基本計画で設定した施策・基本事業の254の成果指標の前年度値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

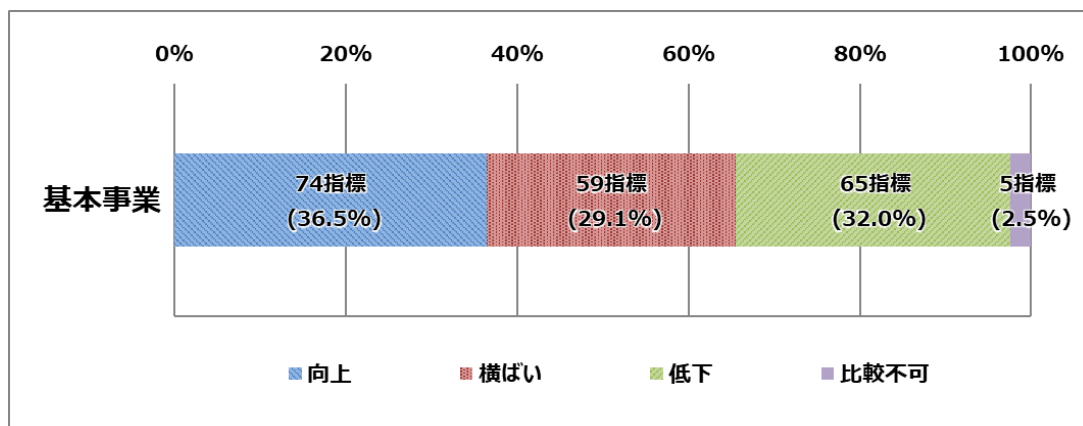
(1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）

25 施策の成果として設定されている51の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は12指標（23.5%）、横ばいの指標は23指標（45.1%）、低下の指標は11指標（21.6%）、比較不可の指標は5指標（9.8%）となっています。



(2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）

96 基本事業の成果として設定されている203の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は74指標（36.5%）、横ばいの指標は59指標（29.1%）、低下の指標は65指標（32.0%）、比較不可の指標は5指標（2.5%）となっています。

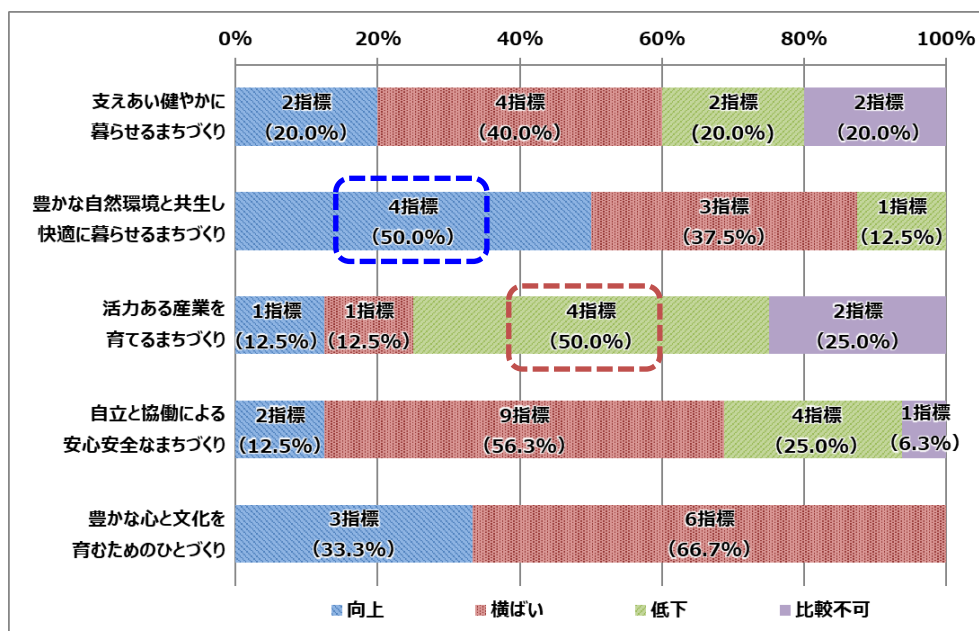


(3) 政策別のまちづくり動向 (254 指標)

〈施策階層〉 対前年度

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

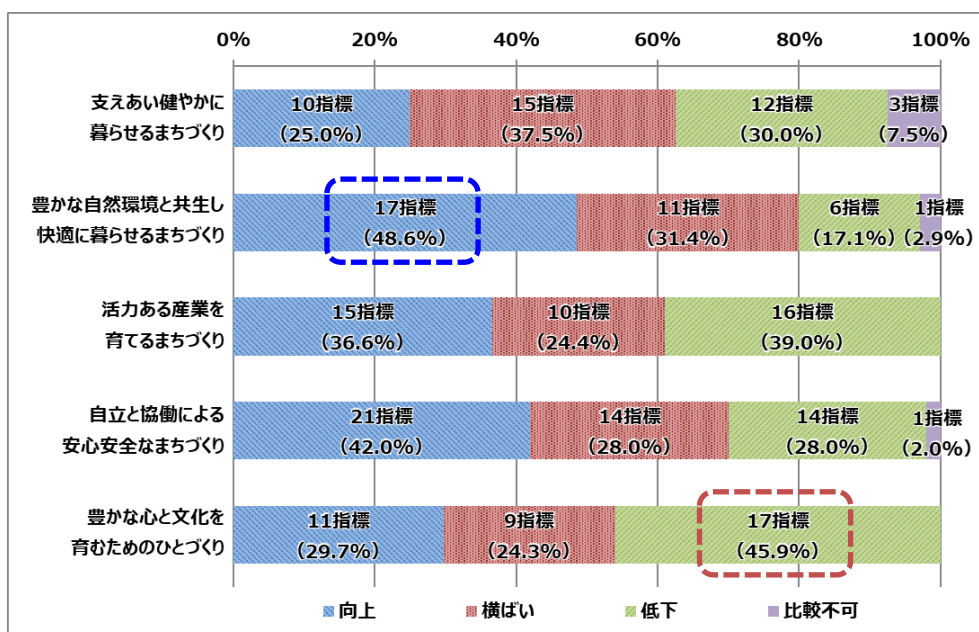
■ <政策別> 施策の成果指標動向 (51 指標)



〈基本事業階層〉 対前年度

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」

■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (203 指標)



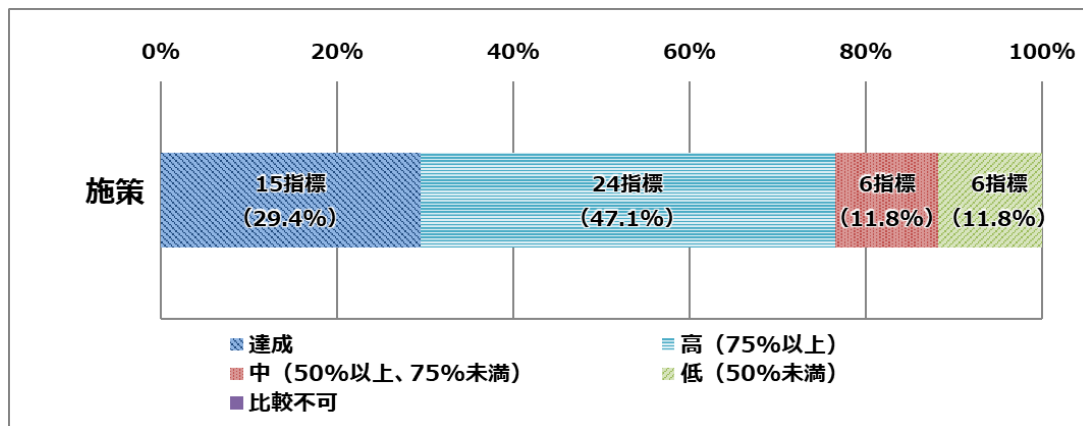
4 後期基本計画の目標達成状況（目標達成度）

第2次愛南町総合計画後期基本計画で設定した施策・基本事業の254の成果指標の平成33年度（令和3年度）の値である目標値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

なお、今回の報告は、後期基本計画4年間の1年度の評価となっています。

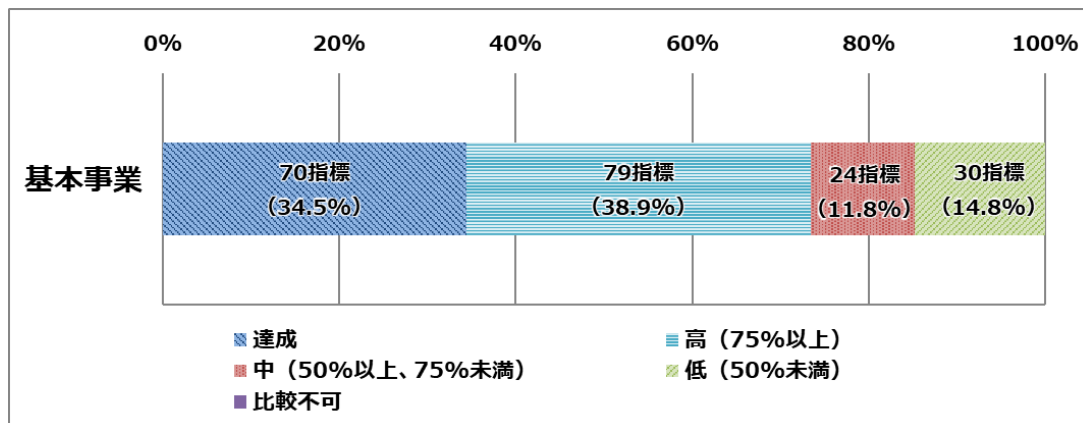
（1）施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）

25 施策の成果として設定されている51の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は15指標（29.4%）、達成度75%以上（高）の指標は24指標（47.1%）、達成度50%以上（中）の指標は6指標（11.8%）、達成度50%未満（低）の指標は6指標（11.8%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）

96 基本事業の成果として設定されている203の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は70指標（34.5%）、達成度75%以上（高）の指標は79指標（38.9%）、達成度50%以上（中）の指標は24指標（11.8%）、達成度50%未満（低）の指標は30指標（14.8%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。

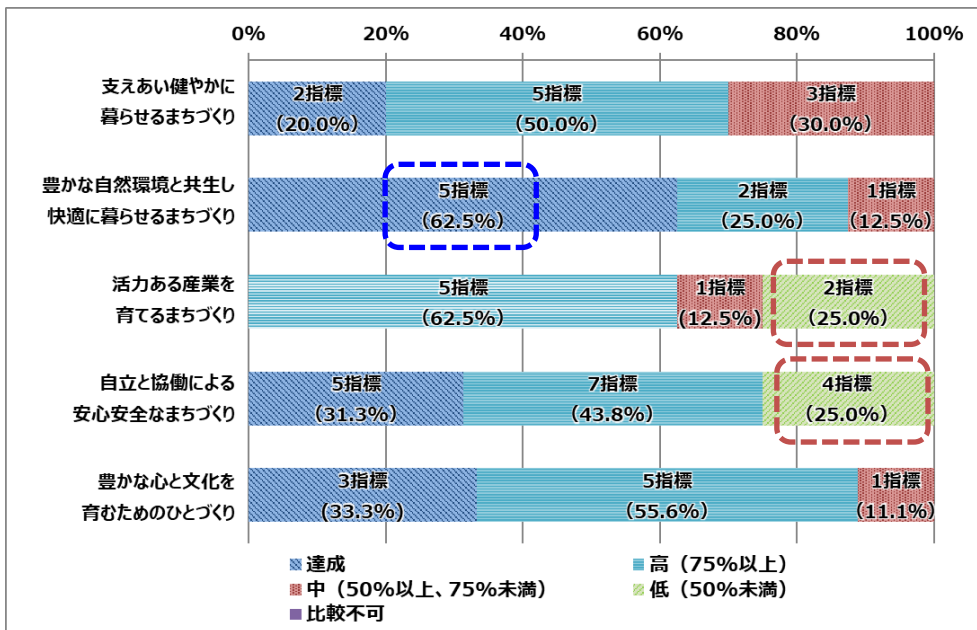


(3) 政策別のまちづくり動向 (254 指標)

〈施策階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」、
「自立と協働による安心安全なまちづくり」

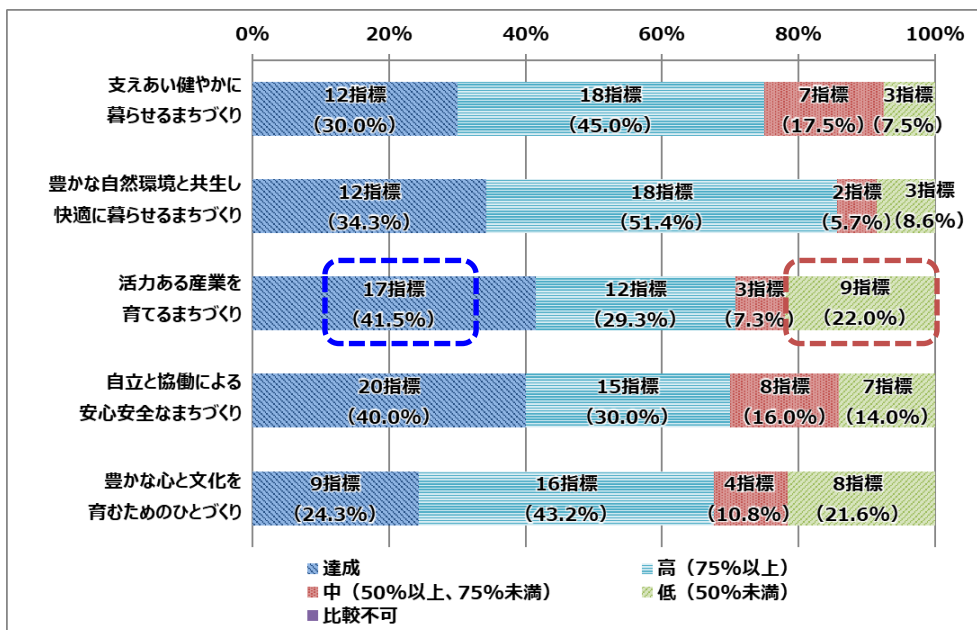
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (51 指標)



〈基本事業階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (203 指標)



5 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、25の施策、96の基本事業を設定し、まちづくりを推進しました。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているのかを、指標の動向や変動要因の分析などによりお知らせします。



政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-01 子育て環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業 01-01-03 家族形成意識醸成の支援

基本事業 01-01-04 子育て世代への経済的支援

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

保育所の入所児童数は令和2年度末439人（広域受託児童除く）と、長期的に見て減少傾向にあります。待機児童は発生していません。前年度の長月保育所に続き、長崎保育所が令和2年度末で統廃合となりました。令和元年10月から幼児教育・保育無償化、平成28年度からの保育料第2子無料化により、保護者の経済的負担の軽減は図られていますが、課題としては慢性的な保育士不足の中で保育体制をどう維持していくか、人口減少も見越した長期的な保育施設・サービスのあり方を考える必要があります。

就学後については、学童保育として3か所の放課後児童クラブを設置しており、令和2年度末現在で115名の利用となっています。年度当初は2か所の児童クラブで定員が超過していますが、弾力的な受け入れを行っています。課題としては、支援員の人材確保が挙げられます。また、放課後等に児童が安心して過ごせる居場所の確保も課題となっており、引き続き各関係機関と連携して、現状を確認しながら検討していく必要があります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婚活イベントを中止しました。現状として、女性の社会進出や少子高齢化に伴い、若い世代の独身率は年々上昇傾向にあります。若い世代がよきパートナーと巡り合い、安心して子どもを産み、育てていくためのサポートの一環として、独身男女に出会いの場の提供や経済的な支援の必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.05 (2.95)	--- (---)	3.01 (2.97)	➔
重要度	3.78 (3.63)	--- (---)	3.81 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>子育て中の世帯の保護者（10歳未満の子どもの保護者）</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>安心して子育てができる環境を整えます。</p>
--	---

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>子育てしやすいまちだと思う保護者の割合</p> <p>上がると良い指標 【保健福祉課】</p>	%	72.3	74.9	76.4	75.0	(横ばい)
<p>（状況）令和2年度は76.4%と基準値72.3%より4.1ポイント上回っています。後期目標値75.0%も達成できました。</p> <p>（原因）アンケート結果から、子育て環境に係るサービスは大部分で充実できており、保育ニーズは概ね満たしていると考えます。今後も継続した保育サービスの提供維持や質の向上など、保護者の安心感を高めていけるよう努めていきます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>	
<p>合計特殊出生率</p> <p>上がると良い指標 【保健福祉課】</p>		1.32	1.35	1.12	1.74	(低下)
<p>（状況）令和2年度は1.12と前年と比較して0.23ポイント減少しています。基準値及び後期目標値ともに下回っています。</p> <p>（原因）前年と比較し15歳から49歳の人口が126人減少し、出生数も14人減少しています。35歳～44歳までの出生率は増加していますが、20歳～34歳の出生率が減少し、中でも30歳～34歳の出生率の減少が大きくなっています。今後目標値に近づけるためには、婚姻率をあげるための取組みや子どもを生まれてやすい事業実施に努め、20歳～34歳までの出生率を上げていくことが必要です。</p>					<p>目標達成度</p> <p>(中)</p>	

施策のコスト（千円）

R元	R02
1,015,700	897,336

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（10歳未満の子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 保育サービス等の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。
--	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
保育所を利用している保護者の満足度 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	78.9	80.7	80.6	80.0	(横ばい) 目標達成度 (達成)
(状況) 令和2年度は80.6%と前年と比較し、わずか0.1ポイント減少しましたが、基準値78.9%より1.7ポイント上回っています。後期目標値についても達成できました。 (原因) 待機児童無しで受け入れできていること、また提供している各種保育サービスについても概ね満足を得られていることが要因と考えます。						
学童保育を利用している保護者の満足度 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	80.1	80.9	76.8	85.0	(横ばい) 目標達成度 (高)
(状況) 令和元年度80.9%から4.1ポイント減少しています。後期目標値85.0%を達成できませんでした。 (原因) アンケートの結果からは、子どもへの接し方や職員の配置状況等概ね満足を得られています。今後指標値向上に向けて、継続して各関係機関や支援員等と連携しながら事業実施に努めます。						
一時保育・病児保育で受け入れられなかった人数 下がると良い指標 【保健福祉課】	人	10	0	0	15	(向上) 目標達成度 (達成)
(状況) 一時保育、病児保育ともに受け入れられなかった児童はならず、後期目標値15人を達成しました。 (原因) 一時保育は職員の適正な配置により、受け入れ体制を確保しています。病児保育は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、前年度に比べ利用希望者が減少し、受け入れを対応できたものと考えられます。						

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
394,039	254,704

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（10歳未満の子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 子育ての不安や悩みを取り除きます。
--	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
子育てに関する不安や負担を感じている保護者の割合	下がると良い指標	%	26.1	26.3	24.9	25.0	 (向上) 目標達成度 (達成)
	【保健福祉課】						
評価	（状況）令和2年度は24.9%と子育てに不安を感じる保護者が前年より1.4ポイント減少し、基準値及び後期目標値ともに目標達成できました。 （原因）保護者のニーズに寄り添い、病児保育や一時保育、また延長保育など様々な事業を実施し、保護者の不安解消を図っていることが要因だと考えます。アンケート結果からは、仕事と子育ての両立、子どもの健康や発達に不安を感じる保護者の割合が多く、様々な事業を通して、保護者の不安を解消できるような努めていきます。						

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
子育てについて相談できる相手（場所）がいる（ある）保護者の割合	上がると良い指標	%	14.7	15.5	15.1	20.0	 (横ばい) 目標達成度 (高)
	【保健福祉課】						
評価	（状況）令和2年度は15.1%と前年と比較し0.4ポイント減少しました。基準値より0.4ポイント上回っていますが、後期目標値20.0%には届いていません。 （原因）アンケートで子育ての悩みについて相談先があると答えた割合は93.4%と高い数値となっています。その中で相談先として行政機関と答えた保護者が例年約15%を推移しています。今後も保護者から気軽に相談しやすい関係づくりに努め、悩みを抱えこむ家庭が少なくなるよう継続した相談体制が必要です。						

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
22,996	31,800

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-03 家族形成意識醸成の支援

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>20歳以上の独身者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>若い世代を中心に婚姻率が高まります。 若い世代の婚姻や家族形成意識を醸成し、次世代が育成されます。</p>
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	指標のつごき	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)
		組	3	5	5	6
評価	<p>(状況) 令和2年度は延べ成婚数5組であり、令和元年度と同数となっています。目標値は6組で1組達していない状況です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婚活イベントを中止していたことが原因であると考えられます。対面以外でのイベント開催も検討する必要があると考えられます。</p>	<p>(組)</p> <p>目標達成度</p> <p>(中)</p>				
指標	<p>婚姻率 (人口1,000人当たり)</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p>	%	2.5	2.1	2.0	2.5
評価	<p>(状況) 令和2年度は2.0%で前年と比べて0.1ポイント減少しています。また、国の令和2年度の値は4.3% (推計値) であり、2.3ポイントと大幅に下回っています。また、目標値である2.5%に届いていないことからあまり順調ではありません。 (原因) 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出会いの場が減少したことが原因だと考えられます。また、人口の減少、経済的な問題等も原因と考えられます。かつての皆婚規範に対して、近年では結婚を選択的行為として捉える見方が広まり、個人の意識の問題も考えられます。</p>	<p>(%)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>				

基本事業のコスト (千円)

R元	R02
6,045	1,529

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-04 子育て世代への経済的支援

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>新生児の親、保育施設入所児童の親、ひとり親家庭の親、新婚世帯の夫婦</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>子育て世代の経済的負担が軽減され、安心して子育てができる環境が整えられます。</p>
---	--

基本事業の成果状況と評価

指標	子育てへの経済的支援を受けている人数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	人	479	557	459	672	
評価	<p>【保健福祉課】</p> <p>(状況) 令和2年度は単年度事業として、ひとり親家庭等子育て応援臨時給付金事業で189世帯への支給がありました。経常的な事業に関しては、大きな増減はありません。</p> <p>(原因) 子育て世帯数の減少や、幼児教育・保育無償化に伴い町独自の保育料軽減がなくなったことにより、保育費助成事業の数値の減少が後期目標値との大幅な差として出てきていますが、支援自体が減っているわけではありません。今後も経済的支援が必要な方へ支援が行き届くような事業実施に努めます。</p>	(人)					<p>☔ (低下)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
216,204	225,706

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
376,416	383,597

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

令和2年4月1日現在の高齢化率は43.7%で、令和7年には49.6%になると推計されています。限界集落が存在する中、地域力が低下する傾向にあり、高齢者が生きがいや役割を持ち続け、地域の支えあいの中で自立して生活することができるような施策が必要となっています。

現在、高齢者がいつまでも自立した生活が送られるよう、介護予防事業で運動機能の改善及び口腔機能の向上や栄養改善に努め生活機能の維持・向上を図り、地域において高齢者が主体的に介護予防に資する活動が継続できるように取り組んでいます。

平成2年4月1日現在の認知症高齢者の出現率は、12.6%で昨年と比べて横ばい状態ですが、今後は高齢化の進展に伴い増加することが予測されます。認知症の発症を遅らせ認知症になっても住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、認知症に対する理解を深め、見守りの体制を整えていく必要があります。

自立高齢者の割合も横ばい状態ではありますが、独居高齢者の増加に加え、今後、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となり、後期高齢者の割合の増加が見込まれ、働き手世代の減少も予想される中、地域の身近な場所に高齢者が集える場所があり、見守りや支えあいの必要性を住民や地域の関係機関と共有し、地域で支え合える共助の仕組みづくりが課題となっています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.93 (2.95)	--- (---)	3.07 (2.97)	➔
重要度	3.81 (3.63)	--- (---)	3.76 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
65歳以上高齢者、家族、地域住民	高齢者が健康で、生きがいをもって住み慣れた地域で生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	自立高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	79.2	79.1	79.2	80.0	
評価	(状況)令和2年度の自立高齢者の割合は79.2%で前年度と比べ0.1ポイント増加していますが後期目標値には達していません。また、高齢者人口及び要支援・要介護認定者数も、ほぼ横ばい状況にあります。 ・介護保険第1号被保険者数 9,103人 ・介護保険第1号被保険要介護・要支援認定者数は 1,899人 (原因)自立高齢者はほぼ横ばい状態ではありますが、介護予防への取り組みにより要支援・要介護者の増加に歯止めをかけていると考えます。原因についてはさまざまな要因があるため、特定の要因とすることはできません。					(横ばい)	
		目標達成度	■■■ (高)				

施策のコスト(千円)

R元	R02
4,010,073	4,020,464

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 日常生活支援サービスを受けることで安心して暮らすことができます。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	各種サービス受給者の満足度	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
	上がると良い指標	%	94.1	92.8	93.6	95.0	
	【高齢者支援課】						(横ばい)
評価	(状況) 令和2年度は満足度93.6%で、昨年度より0.8ポイント向上しています。後期基準値には届きませんでしたが、サービス利用者は順調に増えています。 (原因) 事業の見直しを随時行い、取り巻く環境変化に合わせ、要件の改善等行ってきたことも満足度増加の一因と考えられます。今後は、より多くの対象者が、サービスを受けられるように更なる周知に努めていきます。						目標 達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
149,692	106,695

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>在宅の要介護者とその家族</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>家族の介護負担の軽減と住み慣れた地域で過ごすことができます。</p>
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	介護サービス利用者のうち居宅サービス利用割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	79.5	78.8	78.6	80.0	
評価	<p>(状況) 令和2年度は78.6%で前年度と比べて0.2ポイント減少していますが、ほぼ横ばい状態となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス利用者計(延べ) 20,434人 ・うち居宅サービス受給者 16,060人 <p>(原因) 独居高齢者の増加等の目標達成を阻害する要因が出現しているものの、在宅で受けられる各種サービスの充実を図ったことにより現状が維持できていると考えられます。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成</p> <p>■■■ (高)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
13,990	13,950

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 自発的な社会活動を通じて、心の豊かさや生きがいをもった生活を送ることができます。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	生きがいをもっている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の つごき
	上がると良い指標	%	63.2	-	55.2	70.0	
	【高齢者支援課】	(%)					比較不可
評価	(状況) 生きがいを持っている高齢者の割合は、55.2%で、前々年度と比べて6ポイント低下しています。シルバー人材センターの登録人数は、微増していますが、各公民館の利用者数や老人クラブの実施事業が減少しています。 (原因) 新型コロナウイルスの影響で、活動が制限されたことにより、趣味、娯楽、仕事、スポーツ活動及び地域活動、交流が充分に行えなかったことが一因と考えられます。					目標 達成度	
							■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
8,178	7,621

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
高齢者	必要な時に相談を受けられたり、安心して暮らせるための支援を受けられます。

基本事業の成果状況と評価

指標	相談相手がない高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の つごき
	下がると良い指標 【高齢者支援課】	%	16.5	-	10.1	12.5	
評価	(状況) 令和2年度は10.1%で前々年度と比べて2.6ポイント向上し、後期目標値を達成しています。 (原因) 家族や友人、近隣住民以外にも、地域に相談できる人や機関があることを周知してきた効果が少しずつ表れてきていると思われます。					比較不可	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,034	5,534

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 要介護・要支援に陥るおそれのある高齢者が要介護・要支援状態となることを予防します。 高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができます。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	介護予防や健康づくりに心がけている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	83.6		86.3	85.0	比較不可
評価	(状況)令和2年度は、86.3%で前々年度と比べて3.6ポイント低下していますが、後期目標値は、達成しています。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、外出、運動、趣味等の活動の機会が制限されたことが一因と考えられます。						目標達成度
							(達成)
指標	要支援認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	82.0	81.9	81.8	83.0	(横ばい)
評価	(状況)令和2年度は81.8歳で、前年度と比べて横ばいとなっています。基準値は、0.2歳下回っていますが、新たに要支援認定を受ける高齢者の平均年齢の推移は、ほぼ横ばいの状態です。 (原因)介護予防教室参加者の介護予防や健康づくりに関する知識等を得ることができたと考え割合が97%となっており、地域での声掛けや見守りといった支援を受けながら、自立した生活を送れているためと思われます。今後も継続して介護予防に関する知識・技術の普及啓発を行います。						目標達成度
							(高)
指標	要介護認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	84.0	82.1	82.4	85.0	(横ばい)
評価	(状況)令和2年度は82.4歳で、前年度と比べて0.3ポイント増加していますが、新たに要介護認定を受ける高齢者の平均年齢の推移は、ほぼ横ばいの状態です。 (原因)介護予防教室参加者の介護予防や健康づくりに関する知識等を得ることができたと考え割合が97%となっており、地域での声掛けや見守りといった支援を受けながら、自立した生活を送れているためと思われます。今後も継続して介護予防に関する知識・技術の普及啓発を行います。						目標達成度
							(高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
81,911	82,435

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、介護保険事業者	基本事業がめざす姿 要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して在宅での生活ができます。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	在宅サービス利用者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	57.9	50.0	50.1	60.0	
評価	(状況)令和2年度は50.1%で前年と比べて0.1ポイント増加しています。 ・居宅介護・介護予防サービス受給者数 952人 ・要介護・要支援認定者数 1,899人 (原因)地域包括ケアシステムの進展により、利用者、サービス関係者へ制度の周知・適正化が行われたことにより、在宅介護サービスを選択する利用者の割合が少しずつ増えているものと考えられます。今後さらなる周知・適正化を図るよう努めていきます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	
指標	地域密着型サービス利用者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	22.2	21.3	21.1	25.0	
評価	(状況)令和2年度は21.1%で前年と比べて0.2ポイント減少していますがほぼ横ばい状態です。 ・居宅介護・介護予防サービス受給者数 400人 ・要介護・要支援認定者数 1,899人 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、通所系サービスの利用控えがある中で地域包括ケアシステムの進展により、利用者、サービス関係者へ制度の周知・適正化が行われたことにより、地域密着型サービスを選択する利用者の割合を現状維持できているものと考えられます。今後さらなる周知・適正化を図るよう努めていきます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	
指標	施設入所者のうち要介護度4・5認定者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【高齢者支援課】	%	69.2	71.6	69.4	65.0	
評価	(状況)令和2年度は69.4%で前年と比べて2.2ポイント減少しています。 ・施設入所者366人のうち要介護度4・5の人数は254人 (原因)前年比、基準値比とも低下しており、地域包括ケアシステムの進展によって、制度の周知及び適正化が図られ、重度でも在宅で介護する方向に変わってきているものと考えられます。今後さらなる制度の周知・適正化を図るよう努めていきます。					(向上) 目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
3,419,619	3,506,605

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
331,649	297,624

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

障がい福祉関係法が整備・改正され、様々な制度やサービスが創設されました。
しかし、サービスや制度が創設されたからといって障がいのある人の生活が一律で良くなるわけではなく、過疎地においては法で定められた制度やサービスを全て実施することができず、逆に地域ごとのサービス格差が広がっています。また、親亡き後の問題や障がいの重度化・重複化、障がいのある方本人やその家族の高齢化、制度の狭間の問題など、現行のサービスや既存の社会福祉資源だけでは対応できない課題も出てきております。
そのような中、国は地域共生社会の実現に向け、新たな制度を創設しました。愛南町においても障がい福祉分野に限らず、他の福祉関係機関と連携を図りながら横断的な支援が実施できるように取り組んでいきます。
また、令和3年度を開始年度とする「第3次愛南町障がい者計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画」を策定しました。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.93 (2.95)	--- (---)	3.02 (2.97)	➔
重要度	3.71 (3.63)	--- (---)	3.67 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>障がい者(児)</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>障がい者(児)が自ら望む地域生活をいきいきと営むことができます。</p>
-----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	在宅で生活している障がい者(児)の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	90.1	88.0	88.7	91.0	
評価	<p>(状況) 障がい者手帳所持者1,325人のうち障がい者支援施設入所者は85人、老人福祉施設入所者は65人と昨年度より7人減少しており令和2年度の在宅の割合は88.7%で昨年度より0.7ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 増加の原因は、障がい者手帳所持者数が増え、老人福祉施設入所者が死亡などの理由により減少したことが主な要因として考えられます。在宅で生活している障がい者の割合を増やすためには、重度障がい者を受け入れる社会資源の創設と福祉職員の確保と質の高いサービスの提供が必要です。</p>	(%)					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>

施策のコスト(千円)

R元	R02
805,377	826,571

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
障がい者(児)とその家族	障がい児支援を、健診・相談から子育て支援の一環としてとらえ、ライフステージに沿って切れ目のない支援が得られ、家族は安心して子育てできます。

基本事業の成果状況と評価

指標	療育を受けている児童数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
その他の指標	【保健福祉課】	人	61	73	76	69	(向上)
評価	(状況)令和2年度は76人の児童が療育を受けており、令和元年度と比較して3人の増加となっています。療育を受けている児童は増加傾向にあります。 (原因)相談支援体制が充実したことや医療、保健、保育関係者の啓発等により療育の必要性が認知されたことが考えられます。					目標達成度 (達成)	
指標	町内連携機関設置のための協議回数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
その他の指標	【保健福祉課】	回	17	21	15	21	(低下)
評価	(状況)令和2年度は15回の開催と昨年度と比較して6回の減少となっています。 (原因)専門部会を4部会から3部会に統合したことや新型コロナウイルスの影響で2部会で予定していた4回の開催が3回となったことが減少した原因となります。					目標達成度 (中)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
61,502	67,796

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>障がい者(児)</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>障がい種別に応じたサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。</p>
-------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	障害福祉サービス事業の利用者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	その他の指標 【保健福祉課】	人	438	488	468	460	
評価	<p>(状況) 令和2年度の利用者数は468人で前年度と比較して20人減少していますが、後期目標を達成しています。</p> <p>(原因) 相談支援体制が充実したことにより、一般相談から障がい福祉サービスの利用に繋がり後期目標の達成に結び付いたと考えられます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

指標	地域生活支援事業の利用者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	その他の指標 【保健福祉課】	人	394	494	520	400	
評価	<p>(状況) 令和2年度の利用者数は520人と昨年度と比較して26人と増加して後期目標値も達成しています。</p> <p>(原因) 相談支援体制が充実したことにより、相談支援事業を利用する相談者が増加していることが要因として考えられます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
737,714	739,883

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>障がい者(児)、事業者、町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>障がい者(児)が社会参加しやすい環境が整い、地域社会の一員であるという意識が醸成します。</p>
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	障がい者の就労率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	%	32.3	-	30.2	35.0	
評価	<p>【保健福祉課】</p> <p>(状況) 令和2年度に実施したアンケート調査(配布700件、回答412件、回答率58.8%)では、就労率は30.2%です。基準値より2.1ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 調査方法が異なるため比較はできませんが就労者数は181人から191人と増加をしています。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

指標	障がい者(児)の社会参加率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	%	49.2	-	52.3	50.0	
評価	<p>【保健福祉課】</p> <p>(状況) 令和2年度に実施したアンケート調査(配布700件、回答412件、回答率58.8%)では、障がい者の社会参加率は、52.3%と基準値より3.1ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 平成28年4月からスタートした障がい者差別解消法が浸透し、障がいに対する理解等が進んだことが要因として考えられます。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
1,030	520

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,131	18,372

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 心と体の健康づくり

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

高齢化率は44.8%と前年度と比較し1.06ポイント増加し、高齢化に伴う疾患の慢性化、長期化、重症化などの影響を受け医療ニーズは増大しています。国保の一人当たりの年間保険給付費は増加し、後期高齢者医療では5年間で増加の傾向にあります。町民一人ひとりがライフステージに応じた健康づくりに取り組み、生活習慣病の発症予防・重症化予防を行うことで、医療費を削減し、限りある医療資源を守ることが必要です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策を講じて保健事業を実施しました。

医療体制では、県立南宇和病院の内科医師の不足に加え、外科・脳神経外科・麻酔科等の常勤医師が在籍していないことにより救急医療の対応は厳しい状況にあります。令和2年度の救急搬送件数における管外搬送は21.5%を占め、そのうち県立南宇和病院からの転院のための搬送が127件(61.7%)を占める状況にあり、宇和島圏域や高知県幡多圏域の医療にも負担を強いる状況です。

令和元年度に策定された「愛媛県医師確保計画」においては、愛南町は「医師少数スポット」に設定され、令和2年度から県立南宇和病院、愛媛大学、愛南町が連携し、解決のための検討を開始しました。今後、医学生や研修医、県内外の医師等に対して愛南の医療の魅力を発信し、医師の定着や赴任を促します。加えて地域医療の基盤の安定を図り、地域包括ケアシステムを構築することが必要です。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.31 (2.95)	--- (---)	2.47 (2.97)	➔
重要度	4.25 (3.63)	--- (---)	4.20 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療を受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
自分で健康と感じている町民の割合 【保健福祉課】	%	75.7	-	78.4	80.0	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
上がると良い指標 (状況) 令和2年度は78.4%と基準値75.7%より2.7ポイント上回っていますが後期目標80.0%には届いていません。 (原因) 健康意識の高まりにより健康と感じている町民の割合が高まったものと考えます。全体では向上していますが、30歳代では12.3ポイント減少しています。働き盛り世代以降の年代に対しては健診や健康づくり地区組織からの健康づくりに関する働きかけが浸透してきたことが成果向上に結び付いたと考えます。	(%)					
健康寿命 (男) 【保健福祉課】	年	65.0	-	-	延ばす	<p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
上がると良い指標 出典データである国保データベースシステムが変更となり取得できなくなりました。 令和元年の愛南町の男性の平均寿命は79.6歳、愛南町を含む宇和島圏域の平均自立期間は78.2歳となっています。平均寿命、平均自立期間とも県内で低い位置にあります。	(年)					
健康寿命 (女) 【保健福祉課】	年	66.8	-	-	延ばす	<p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
上がると良い指標 出典データである国保データベースシステムが変更となり取得できなくなりました。 令和元年の愛南町の女性の平均寿命は86.6歳、愛南町を含む宇和島圏域の平均自立期間は83.4歳となっています。平均寿命、平均自立期間とも県内で低い位置にあります。	(年)					
65歳未満の死亡率 (65歳未満人口千対) 【保健福祉課】	人	2.7	2.0	2.2	2.6	<p>☂ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
下がると良い指標 (状況) 令和2年度は2.2人で令和元年度より0.2人増加していますが、後期目標値は達成できました。 (原因) がん検診の受診への働きかけや特定健診後の重症化予防にも力を入れています。また、自殺対策にも力を入れることで、平成30年以降70歳未満の自殺者が減少していることも原因と考えます。	(人)					

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策の成果状況と評価

指標	町内の医療体制に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	28.6	-	38.0	40.0	
評価	<p>(状況)令和2年度は38.0%で、基準値より9.4ポイント上回っていますが、後期目標値40.0%は達成できませんでした。</p> <p>(原因)県立南宇和病院の医師不足が続いていますが、町内医療機関や大学病院などの支援などで医療を維持しています。また、医療・介護連携などの取組みも推進していることで、満足度が向上したと考えます。</p>	(%)					

施策のコスト(千円)

R元	R02
4,591,489	4,703,422

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-01 心と体の健康づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
ストレスを解消する方法をもっている町民の割合 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	61.3	-	69.8	65.0	(向上)
(状況) 令和2年度は69.8%と基準値より8.5ポイント向上し、目標値65%も達成しました。 (原因) 平成30年度に自殺対策計画を策定し、広報などの媒体を活用した啓発や、保健事業等を活用した健康教育を行い、こころの健康に関する啓発を実施したことが、成果向上につながったと考えます。					目標達成度 (達成)	

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
健康づくりの平均実践項目数 (全7項目) 上がると良い指標 【保健福祉課】	項目	3.13	-	2.58	4.00	(低下)
(状況) 令和2年度は、2.58項目で基準値から0.55項目減少しており、目標値の4項目を達成できませんでした。 (原因) 前回の調査から「過度の飲酒をしない」で14.2ポイント、「朝食を毎日とる」で11.5ポイント、「たばこを吸わない」で10.2ポイント減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響による生活の変化が、今回の大幅な減少につながったと考えます。主観的健康感が高まった一方で、具体的な健康行動がとれていない状況です。					目標達成度 (中)	

基本事業のコスト (千円)

R元	R02
121,729	130,873

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者	基本事業がめざす姿 医療保険制度を健全に運営します。
--	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【町民課】	円	302,929	329,459	336,188	302,000	
評価	(状況)令和2年度は、令和元年度より6,729円増加しています。後期目標値からも34,188円増加しており、後期目標値を達成できませんでした。 (原因)被保険者数は減少を続けています。新型コロナウイルス感染症による医療機関への受診控えの影響があった月もありましたが、生活習慣病の重症化、入院を要する治療、高額薬剤等による医療費の高額化により医療給付費が増加していることが原因と考えます。						(低下) 目標達成度 (高)

指標	国民健康保険税の収納率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【町民課】	%	96.57	96.55	97.22	96.60	
評価	(状況)収納率は令和元年度に比べ0.67ポイント上昇しています。後期目標値についても0.62ポイント上回り、後期目標値を達成しました。 (原因)対象者への丁寧な制度説明や未納者に対する滞納処分の強化が原因と考えます。						(向上) 目標達成度 (達成)

指標	後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【町民課】	円	710,954	753,742	712,750	710,000	
評価	(状況)令和2年度は、後期計画目標値は達成できませんでしたが、令和元年度より40,992円減少しました。 (原因)被保険者数は横ばいですが、新型コロナウイルス感染症による受診控えが医療費減少の原因と考えます。						(向上) 目標達成度 (高)

指標	後期高齢者医療保険料の収納率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【町民課】	%	99.83	99.77	99.85	99.90	
評価	(状況)収納率は、昨年度と比較して0.08ポイント向上しており順調です。 (原因)対象者への後期高齢者医療制度の丁寧な説明と未納者に対する滞納処分の強化等が原因と考えます。						(横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
3,927,278	4,057,042

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>子ども、障がい者、ひとり親家庭</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう支援します。</p>
---------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
乳幼児医療費年間助成額	千円	32,017	27,932	21,679	28,555	<p>傘 (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
その他の指標 【町民課】	(千円)					
評価	<p>(状況) 令和2年度は、令和元年度より6,253千円の減、後期目標値からも6,876千円の減となっており、目標値を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 少子化により受給者数が減少していること、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが原因として考えられます。</p>					
児童医療費年間助成額	千円	32,242	27,625	23,070	30,768	<p>傘 (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
その他の指標 【町民課】	(千円)					
評価	<p>(状況) 令和2年度は、令和元年度より4,555千円の減、後期目標値からも7,698千円の減となっており、目標値を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 受給者数はほぼ同じですが、助成件数は減少しており、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが原因として考えられます。</p>					
障害者医療費年間助成額	千円	65,868	68,501	61,523	66,527	<p>傘 (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
その他の指標 【町民課】	(千円)					
評価	<p>(状況) 令和2年度は、令和元年度より6,978千円の減、後期目標値からも5,004千円の減となっており、目標値を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 助成件数と1人当たりの助成額が減少しており、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが原因として考えられます。</p>					
ひとり親家庭医療費年間助成額	千円	19,685	14,843	13,310	18,854	<p>傘 (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
その他の指標 【町民課】	(千円)					
評価	<p>(状況) 令和2年度は、令和元年度より1,533千円の減、後期目標値からも5,544千円の減となっており、目標値を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 受給者数が減少していることから、人口減少と少子化が原因として考えられます。</p>					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
140,799	121,124

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、医療機関	基本事業がめざす姿 一次・二次救急医療体制の確保と充実に努めます。 町内医療機関の連携を強化し、地域医療の充実に努めます。 適切な受診につながるようかかりつけ医・薬局・歯科医について普及・啓発を図ります。
--------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
一次救急医療に従事する常勤医師数 上がると良い指標 【保健福祉課】	人	13	12	12	13	(横ばい)
(状況)令和2年度は12人で横ばいです。後期目標値13人を達成できませんでした。 (原因)開業医の協力を得て一次救急医療を維持することができています。開業医の高齢化も今後の課題として懸念されます。					目標達成度 ■■■ (高)	
二次救急医療に従事する常勤医師数 上がると良い指標 【保健福祉課】	人	8	8	10	10	(向上)
(状況)令和2年度は10人です。基準値と比べ2人増加し、目標値も達成しています。 (原因)県立南宇和病院の常勤医が増加し、10人で二次救急医療を維持することができています。					目標達成度 ■■■ (達成)	
かかりつけ医をもっている人の割合 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	62.4	-	62.0	70.0	(向上)
(状況)令和2年度は62.0%で前回調査より2.2ポイント増加しましたが、目標値の70.0%には届いていません。 (原因)前回調査時には、西海地域、一本松地域の医院の閉院、休診が影響していましたが、その後西海で出張所を開所したことなどが要因と考えます。					目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
253,519	256,864

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
148,164	137,519

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-05 地域福祉の推進

施策を実現する手段

基本事業 01-05-01 地域福祉活動の推進

基本事業 01-05-02 社会福祉制度の円滑運営

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

福祉サービスの充実や生活基盤となる施設整備を進めるとともに、地域福祉を担う民生児童委員や社会福祉協議会などが様々な地域福祉活動に取り組んでいますが、地域のつながりの希薄化や担い手の高齢化が深刻化しています。今後は、地域で自立した生活を望む町民からの声に応えるなど、地域福祉力の更なる強化や多様化する福祉ニーズへ対応する「地域共生社会の実現」に向けた体制づくりが求められています。

地域をとりまく福祉の課題は複雑・多様化している状況を踏まえ、制度・分野ごとの縦割りや、支え手と受け手の関係を超えて、誰もが役割を持ち、活躍ができる「地域共生社会」を目指すため、令和3年度からの6年間を計画期間とする「第4次愛南町地域福祉計画」の策定を行っています。住民、地域、関係団体、行政が協働し、地域福祉活動の推進と社会福祉制度の円滑運営を目指してより良い方策を見出していくことを基本的な考え方とするものです。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域福祉活動も縮小等の影響を受けています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.91 (2.95)	--- (---)	2.96 (2.97)	➔
重要度	3.66 (3.63)	--- (---)	3.65 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町民が安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

施策の成果状況と評価

指標	地域で支えあっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
	評価	上がると良い指標 【保健福祉課】 (状況) 令和2年度は67.8%で、基準値に比べ1.9ポイント向上し、平成30年度と比べても1.2ポイント向上しています。後期目標値には達成していませんが、僅かに上昇傾向にあります。 (原因) アンケートの結果、地域別では西海地域が75.3%と高い値になっています。西海地域を始め、各地域では地域共生社会の実現に向け、世代や分野を問わず誰もが気軽に集える住民主体の拠点づくりを社会福祉協議会、行政協力員、民生児童委員、ボランティアの地域住民が連携して取り組んだことが成果向上につながったと考えられます。	%	65.9	-	67.8	70.0

Year	Value (%)
H28	65.9
H30	67.8
R02	67.8
R03	70.0

施策のコスト(千円)

R元	R02
187,416	128,309

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-01 地域福祉活動の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	地域住民が福祉活動に参加しやすい環境を整備することで、地域福祉活動を活性化します。

基本事業の成果状況と評価

指標	民生児童委員の年間延べ相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【保健福祉課】	件	3,517	3,327	2,292	3,600	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
評価	(状況)令和2年度は2,292件で、前年度と比べて1,035件減少し、基準値からも1,225件減少しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、民生児童委員の相談・支援活動が制限を余儀なくされたことによるものと考えられます。	(件)					

指標	福祉分野のボランティア参加者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【保健福祉課】	人	3,586	2,339	770	3,600	<p>(低)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
評価	(状況)令和2年度は770人で基準値から2,816人減少しており、前年度比では1,569人減と大幅に低下しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、社会福祉施設等でのボランティア参加者数が大幅に減少したことが原因と考えます。	(人)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
48,575	50,767

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-02 社会福祉制度の円滑運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 社会福祉制度を円滑に運営します。
---------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	公的な社会福祉制度に基づく延べ支援者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
	【保健福祉課】	人	10,696	6,465	6	6,500	
評価	(状況)令和2年度は6人で、前年度より6,459人減少しています。基準値に比べても10,690人と大きく乖離しています。 (原因)令和2年度は臨時福祉給付金やプレミアム付商品券事業等に替わる新たな社会保障制度が創設されていないことが要因です。						目標 (低下) 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
71,671	7,192

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
67,170	70,350

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 02-01 環境の保全

施策を実現する手段

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業 02-01-02 環境意識の醸成

基本事業 02-01-03 景観の保全

基本事業 02-01-04 生活排水の適正処理

基本事業 02-01-05 河川・排水路の機能向上

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

今日の環境問題は、身近な生活環境や自然環境に加えて、地球温暖化の影響や生物多様性の危機、更には、東日本大震災を契機としたエネルギー問題など新たな局面を迎えています。このような状況を踏まえ、近年の環境をめぐる社会の動き等に対応するため、第2次愛南町環境基本計画を策定し、本計画に基づいて「環境がすべての生命の生存基盤であり、限りあるものであること」を共通認識として、住民、事業者及び行政が一層連携を深め、自然と共生する循環型社会の実現に向けた取組を進めていく必要があります。

今後は、PFI手法による町営浄化槽整備推進事業により、県下でも低い汚水処理人口普及率の向上を図るとともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの活用や省エネルギー対策に対する住民の理解を深める取組を行うことによって、太陽光発電システムやリチウムイオン蓄電池などの新エネルギー利用機器の導入を促進し、自然環境負荷が少ない持続可能な社会の形成を目指します。

また、未整備の普通河川及び排水路については、地区要望などの地元からの意見を考慮しながら、適切な維持管理を行うことにより、機能の向上を図ります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.04 (2.95)	--- (---)	3.09 (2.97)	➔
重要度	3.53 (3.63)	--- (---)	3.54 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、事業者、行政、愛南町の自然	恵み豊かな自然環境を維持し、安全で快適な生活環境を確保し、次世代に引き継ぎます。

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
豊かな自然環境が維持されていると感じる町民の割合 【環境衛生課】	%	90.9	-	92.9	95.0	(向上)
<p>（状況）住民アンケートの結果、令和2年度は92.9%で前回調査に比べ3ポイント上昇しました。回答した9割の住民が町内の自然環境に満足しており、順調に推移しています。</p> <p>（原因）すべての世代において、自然環境が維持されていると感じる住民の割合は高く、町や住民が取り組んでいる環境保全活動や水質保全活動が成果向上に結びついていると考えられます。</p>					目標達成度 ■■■ (高)	
環境にやさしい生活の平均実践項目数（全11項目） 【環境衛生課】	項目	4.40	-	4.68	8.00	(横ばい)
<p>（状況）指標値は4.68項目で、H30年度に比べ0.33項目増加しましたが、11項目のうち半数程度しか実践されていません。</p> <p>（原因）啓発活動によりマイバッグ使用やゴミ分別などの取組みに効果が表れている一方で、生ごみの堆肥化や清掃・緑化活動への参加、近距離での自動車利用の減などは、実践者が常に少なく、環境保全への意識はあっても行動につながっていないものと考えられます。特に若年層や男性の実践者の割合が低いことから啓発の効果が十分には表れていないと考えられます。</p>					目標達成度 ■■ (中)	

施策のコスト（千円）

R元	R02
626,735	615,739

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、愛南町の自然	基本事業がめざす姿 生活・自然環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。
--------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	%	65.1	-	70.5	70.0	(横ばい)
評価	(状況) アンケート結果から、回答した7割の町民が自然や住居の周囲が適正な管理がされていると感じており、目標値も0.5ポイント上回り、達成しました。 (原因) 各種団体や個人による清掃活動や、広報・防災行政無線等による啓発により、自然や住居の周辺がおおむね清潔に保たれていると考えられます。						目標達成度 (達成)

指標	公共水域の水質の基準達成率 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	%	96.9	100	81.3	97.0	(低下)
評価	(状況) 前年度から18.7ポイント減少し、対前年度及び対基準値比較で低下しました。 (原因) 水質については、気温や、天候による水量の状況によって数値が大きく変化するため評価が難しく、今回のポイント低下もそれらの影響が考えられますが、今後も合併処理浄化槽の普及促進に力を入れ、水質保全に努めていくことが重要であると考えます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
35,703	31,512

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-02 環境意識の醸成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 持続可能な社会に向けて、町民の環境意識を高揚させ、エネルギーの有効活用や再生可能エネルギーの利用が促進されます。
-------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	指標のつごき	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)
新エネルギー・省エネ機器を利用している町民の割合 【環境衛生課】 上がると良い指標	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	%	75.0	-	80.0	90.0
(状況) 新エネルギー・省エネ機器を利用している住民の割合は、80.0%で前回調査より1.1ポイント減少しており、機器利用は大きく伸びていません。 (原因) 省エネ意識の向上や省エネ製品の普及により、省エネ家電製品については利用割合が高い傾向にありますが、新エネルギーを利用した機器の利用は導入経費が高額であり、飛躍的な増加は見込めません。また、新エネルギー・省エネ機器の利用をしていない男性は29.7%、女性は15.1%で、男女間で意識に差が出ており、啓発方法に工夫が必要です。		(%)				
家庭用太陽光発電設備の導入容量 【環境衛生課】 上がると良い指標	(向上) 目標達成度 ■■■ (高)	kW	2,039	2,306	2,342	2,400
(状況) 10kW未満の住宅用太陽光発電設備の導入容量の成果指標は2,342kWで、36kW増加しました。基準値から303kW増加しました。 (原因) 新エネルギーに対する意識の高まりから、若い年齢層の世帯において、住宅新築にあわせて発電システムを設置する傾向があります。設置件数は前年に比べ減りましたが、一定の成果が見られます。		(kW)				
講演会、学習会等への参加者数 【環境衛生課】 上がると良い指標	(低下) 目標達成度 ■■■ (低)	人	198	514	133	300
(状況) 令和2年度の参加者は133名で、前年度に比べ381名、74.2ポイント減少しました。 (原因) 新型コロナウイルスの影響により、例年実施している学習会の多くが実施できなかったためです。		(人)				

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
3,613	1,818

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-03 景観の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者、行政	歴史と文化を大切にしたい愛南町の美しい景観を守り、環境美化活動などにより、快適な環境の保全を推進します。

基本事業の成果状況と評価

指標	愛南町のまちが美しいと思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	【環境衛生課】	%	87.2	-	89.8	90.0	
評価	(状況) 令和2年度のアンケート結果は89.8%で、多くの町民が愛南町のまちが美しいと感じていますが、目標値には0.2ポイント届きませんでした。 (原因) 各種団体や個人による清掃活動や、道沿いの花壇の管理等によるものと考えられます。	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
1,984	1,722

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-04 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政、公共用水域	基本事業がめざす姿 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
汚水処理人口普及率 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	42.9	46.5	47.4	53.8	(向上) 目標達成度 (高)
(状況) 前年度と比較すると0.9ポイント増加し、指標値は向上しました。 (原因) 集落排水施設への接続件数及び浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えます。しかし、海岸部等において設置用地の確保が困難な世帯が多く見られることから、近年の浄化槽設置基数は伸び悩んでいます。						
農業・漁業集落排水処理施設への接続率 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	80.6	81.0	82.7	88.0	(向上) 目標達成度 (高)
(状況) 前年度と比較して、1.7ポイント向上しました。 (原因) 住宅新築等による設備新設は7件と多くはありませんが、人口減少の影響により対象地域の集落排水非接続世帯が減少し、総体的に接続世帯の割合が向上しました。						
合併浄化槽の延べ設置基数 上がると良い指標 【環境衛生課】	基	956	1,129	1,180	1,434	(向上) 目標達成度 (高)
(状況) 令和2年度の設置基数は51基で、前年度から4.5ポイント増加し、指標値は向上しました。 (原因) 新規浄化槽設置数は例年70基程度で推移していましたが、近年は減少傾向にあり、既にトイレを水洗化(単独浄化槽、汲取り式簡易水洗)し、合併浄化槽への転換の必要性を感じていない方に対して、生活排水処理の必要性の周知啓発等が行き届いていないこと等が要因になっていると考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
455,921	452,828

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-05 河川・排水路の機能向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民及び利用者、未整備普通河川、排水路	基本事業がめざす姿 未整備普通河川及び排水路を適切に管理し、機能が向上します。
---------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	河川・水路環境への満足度	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【建設課】	%	66.0	-	69.9	70.0	(横ばい)
評価	(状況) 令和2年度は69.9%で、一昨年よりも2.8%ポイント増加しています。基準値より向上していますが、目標値には届きませんでした。 (原因) アンケートの結果、整備・管理されていると感じている住民の割合は39歳以下では69.2%ですが、40歳以上になると66.9%に減少します。軽微な維持補修など以前は地域内で管理できていたものが、高齢化等により困難になってきていると考えます。	(%)					目標達成度 ■■■ (高)

指標	水路の修繕件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	その他の指標 【建設課】	件	19	12	13	30	(横ばい)
評価	(状況) 令和2年度は13件で、前年度から1件増加しました。基準値からは6件減少しており、目標値には届きませんでした。 (原因) 毎年、地区要望と町内パトロールにより修繕を実施しています。これにより、町内の水路の整備が図られ単年度の修繕件数が減少したと考えます。	(件)					目標達成度 ■■■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
40,873	37,617

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
88,641	90,242

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策を実現する手段

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の一般廃棄物処理は、平成18年度に策定した「一般廃棄物処理基本計画」の進捗状況を検証し、その結果及び本町の社会・経済情勢の変化や今後の一般廃棄物発生の見込み、地域の開発計画などを踏まえ、平成28年度から「第2次一般廃棄物処理基本計画」を策定し、ごみの減量化のため4R運動をはじめ、生ごみの堆肥化や宇和島地区広域事務組合と連携してごみの分別方法の検討などを行い、資源回復の徹底などリサイクルの推進に取り組んでいます。

また近年の環境悪化の原因となっている、不法投棄やごみのポイ捨てなどを町民に知らせ、汚染の原因となるものを不法投棄しないよう啓発するとともに、監視カメラの設置や巡視員のパトロールによる監視体制の強化を図るなど、ごみ減量化やリサイクルに対する意識の向上、併せてごみの適正処理の推進を図ります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.05 (2.95)	--- (---)	3.06 (2.97)	➔
重要度	3.49 (3.63)	--- (---)	3.49 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、事業者、廃棄物	ごみの排出を抑制し、リサイクルを推進するとともに、ごみを適正に処理していきます。

施策の成果状況と評価

指標	総ごみ排出量 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		t	6,519	6,408	6,094	6,400	
評価	(状況) 前年度と比べて314 t 減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 可燃ごみは年々減少傾向にあり、資源ごみと粗大ごみは微増傾向にあることから、ごみ発生抑制・リサイクルに対する住民意識の向上及びコロナ禍による家の片付け等の影響によるものと考えられます。						☀️ (向上)
							目標達成度 🏰 (達成)

施策のコスト(千円)

R元	R02
283,335	244,928

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 ごみの排出を抑制します。
---------------	---------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりのごみの排出量	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がるが良い指標 【環境衛生課】	g / 日	583	620	622	580	
評価	(状況) 前年度に比べて2g増加し、後期目標値に42g届きませんでした。 (原因) 可燃ごみは微減傾向にあり、資源ごみは微増傾向にあることから、住民のごみの発生制御や資源の再利用の意識向上による微増と考えられます。	(g / 日)					(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
10,684	21,147

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 リサイクルを推進します。
-------------------	---------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	リサイクル率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき													
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	22.0	22.4	22.4	23.0	(横ばい)													
評価	(状況) 前年度と同ポイントとなっており、後期目標値に対して0.6ポイント不足しています。 (原因) 前年度と同ポイントではありますが、人口減少に伴う廃棄物総排出量の減少からすると、住民の4R(リフューズ(廃棄物になるものを拒む)・リデュース(廃棄物の抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化))への関心の高まりによる適正な分別やペットボトルなどの再資源化対策による推移値と考えられます。	<table border="1"> <caption>リサイクル率の推移</caption> <tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>R元</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>R02</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>R03</td><td>23.0</td></tr> </table>				年度	実績値 (%)	H28	22.4	H29	22.4	H30	22.4	R元	22.4	R02	22.4	R03	23.0	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
年度	実績値 (%)																			
H28	22.4																			
H29	22.4																			
H30	22.4																			
R元	22.4																			
R02	22.4																			
R03	23.0																			

指標	分別資源化活動を行っている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき													
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	58.1	-	69.7	70.0	(横ばい)													
評価	(状況) 令和元年度はアンケート結果がないため比較できませんが、平成30年度と比較して0.5ポイント下がり、後期目標値に0.3ポイント届いていません。 (原因) 平成29年度の宇和島地区広域事務組合にごみ処理が移行してからは、成果値が概ね70ポイント前後となっており、住民の多くがリサイクルへの意識が高く、ごみの分別を行っていることが原因と考えられます。	<table border="1"> <caption>分別資源化活動の割合の推移</caption> <tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>58.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td></tr> <tr><td>R元</td><td>-</td></tr> <tr><td>R02</td><td>69.7</td></tr> <tr><td>R03</td><td>70.0</td></tr> </table>				年度	実績値 (%)	H28	58.1	H29	-	H30	-	R元	-	R02	69.7	R03	70.0	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
年度	実績値 (%)																			
H28	58.1																			
H29	-																			
H30	-																			
R元	-																			
R02	69.7																			
R03	70.0																			

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
846	1,517

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、行政	基本事業がめざす姿 廃棄物を安全かつ適正に処理します。
----------------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりの廃棄物処理費用 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		円	14,628	11,280	9,798	15,679	
評価	(状況) 前年度と比較すると1,482円減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 町民一人当たりのごみ排出量は微増していますが、人口減少や小型家電等の再資源化などの取り組みにより、総ごみ排出量が減少していることから、処理費用も減少したものと考えられます。						☀️ (向上)
		(円)	目標達成度 (達成)				

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
234,322	182,432

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町域	基本事業がめざす姿 不法投棄を早期に発見し、未然に防止します。
---------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	不法投棄苦情対応件数 下がると良い指標 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	13	5	4	10	
評価	(状況) 前年度と比べて1件減少し、後期目標値も達成しています。 (原因) 町管理の敷地等への不法投棄は町が回収しますが、私有地への不法投棄は土地所有者の責任で対応していただくよう連絡しています。なお、町が委嘱している2名の不法投棄巡視員の巡視活動や、町内に設置している不法投棄監視カメラが、不法投棄の抑止に貢献しているものと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
4,038	2,891

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
33,445	36,941

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-03 道路環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

津島道路「津島岩松IC～内海間」の進捗状況は、平成28年度から用地買収と並行して柏地区において、道路本線となる橋梁工事など本格的な工事に着手しています。なお、令和3年度より新内海トンネルに着手する予定です。

四国横断自動車道「宿毛～内海間」は、令和2年度末に都市計画及び環境アセスメントを進めるための調査を完了し、今後、新規事業化の手続きに必要な都市計画決定手続きに着手します。

町道は、道路パトロール及び地区要望等により、安心・安全な維持管理に努めていますが、町民の望む道を作るには町民の協力も必要不可欠です。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.77 (2.95)	--- (---)	2.80 (2.97)	➔
重要度	3.78 (3.63)	--- (---)	3.72 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、道路利用者、道路</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。</p>
---------------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間</p> <p>下がると良い指標 【建設課】</p>	分	130	130	130	130	(横ばい)
<p>（状況）平成30年度からの所要時間の変更はありません。従って基準値、実績値及び目標値とも同じ所要時間となっています。</p> <p>（原因）四国横断自動車道の津島道路「津島岩松IC～内海間」は、平成28年度から用地買収と並行して柏地区等で道路本線となる橋梁工事など本格的な工事に着手しています。</p>	(分)					<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>町内の道路環境の満足度</p> <p>上がると良い指標 【建設課】</p>	%	63.5	-	69.7	68.0	(横ばい)
<p>（状況）令和2年度は、平成30年度の指標値より4.0ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>（原因）町道は総延長が約538kmあり、維持管理に苦慮していますが、道路パトロール及び地区要望等により維持修繕箇所を早期に把握し、安心安全な道路環境の維持に取り組んでいることが原因と考えます。</p>	(%)					<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>道路管理上の損害賠償請求件数</p> <p>下がると良い指標 【建設課】</p>	件	1	0	0	0	(向上)
<p>（状況）平成30年度から現在まで0件を維持し、基準値、目標値共に達成しています。</p> <p>（原因）町内パトロール強化や地域からの通報等に迅速に対応し、必要な箇所については早急に修繕等を実施したことが原因と考えます。</p>	(件)					<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

施策のコスト（千円）

R元	R02
657,188	618,517

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、道路利用者、四国横断自動車道	基本事業がめざす姿 町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、快適で安全な通行ができます。
-------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
津島道路の開通は、町の発展のために必要と考える町民の割合 上がると良い指標 【建設課】	%	91.2	-	89.9	93.0	(横ばい)
(状況)平成30年度からの指標値は1.5ポイント低下し、目標値には届いていません。 (原因)四国横断自動車道の津島道路「津島岩松IC～内海間」の工事が進捗することにより、町民の関心は高まってくると考えます。						

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合 上がると良い指標 【建設課】	%	87.9	-	86.8	92.0	(横ばい)
(状況)平成30年度からの指標値は1.0ポイント低下し、目標値には届いていません。 (原因)指標値は微減ですが、四国横断自動車道「宿毛～内海間」は、令和2年度末に都市計画及び環境アセスメントを進めるための調査を完了します。さらに、新規事業化の手続きに必要な都市計画決定手続きに入り、今後、早期事業化に向けた要望活動を継続して行うため、町民の関心は高くなってくると考えます。						

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
124,625	88,052

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>国道、県道道路利用者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	国道・県道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【建設課】	%	64.9	-	70.8	66.0	
評価	<p>(状況) 平成30年度からの指標値は3.0ポイント向上し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 国道及び県道の線形不良改善を継続して要望したことにより道路改良がなされ、指標値向上に繋がったと考えます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成</p> <p>🏰 (達成)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
12,300	15,286

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町道、道路利用者	基本事業がめざす姿 町民に身近な生活道路を整備し、安全で快適な通行ができます。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【建設課】	%	62.1	-	68.6	70.0	(向上)
評価	(状況)平成30年度からの指標値は、4.9ポイント増加し、町民の満足度は向上しています。 (原因)道路満足度の観点からすると、町民の日常生活の安全性と利便性の向上を図るには、誰もが安心して通行できる生活道路の整備が求められます。このことから、計画的な道路改良事業を実施したことが、指標値向上に繋がったと考えます。	(%)				目標達成度 ■■■ (高)	

指標	町道（規格道路）の改良率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【建設課】	%	52.0	-	-	53.0	比較不可
評価	(状況)指標値算出基礎の道路台帳補正を概ね隔年で行っているため指標値が取得できませんが、計画的な改良工事により、目標値には近づいています。 (原因)令和2年度は、9件、延長1,102mの改良工事を実施することができており、目標値達成率は高いと考えます。	(%)				目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
437,742	433,638

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
82,521	81,541

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-04 公共交通の確保

施策を実現する手段

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化の進行により民営バス及び町営コミュニティバスの利用者数は年々減少しており、特に令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛などでこれまでにない減少幅となりました。また、交通安全の観点から、高齢ドライバーの免許返納数が増加し、移動手段のない高齢者が増加することが予想されます。

このような状況に対応するため、平成26年度に策定した「愛南町地域公共交通網形成計画」の基本方針である、誰もが移動できる持続可能な公共交通のあるまちの実現に向け愛南町に合った公共交通体系の構築が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.45 (2.95)	--- (---)	2.55 (2.97)	➔
重要度	3.87 (3.63)	--- (---)	3.77 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

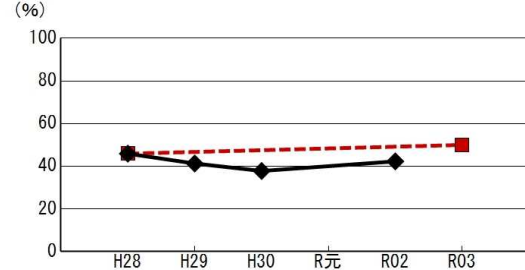
施策 02-04 公共交通の確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町内の移動に困る方が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通による移動に困らない町民割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【総務課】	%	45.9	-	42.3	50.0	 (向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 令和2年度は42.3%で、前回調査時(平成30年度)と比べ4.5ポイント増加しましたが、依然として約6割の住民が公共交通による移動に不便を感じている状況です。 (原因) 平成29年度から平成31年度にかけて民間の路線バスが3路線廃線になり、あいなんバスによる運行を行ってききましたが、バスの便数や運行時刻、運行経路などに不便を感じている方がいるものと考えられます。	(%)					



施策のコスト(千円)

R元	R02
103,753	98,273

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 需要にあわせた効果的効率的で持続可能な交通手段を確保します。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町営の交通手段の年間利用者数 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		人	15,683	44,499	36,725	22,500	(人)
評価	(状況) 令和2年度は36,725人で、前年度に比べ7,774人減少しています。 (原因) 人口減少による利用者数の減少や、自家用車等の交通手段を利用していることによるものに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛が要因と考えられます。					目標達成度 🏰 (達成)	
		円	1,297	4,068	3,833	4,000	(円)
指標	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		円	1,297	4,068	3,833	4,000	(円)
評価	(状況) 令和2年度は3,833円で、前年度に比べ235円減少しています。 (原因) 車両購入がなく事業費が減少したことが向上の原因と考えられます。					目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
103,753	98,273

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、民間事業者	基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	町内を運行する民間運行バスの年間利用者数	人	288,672	249,954	209,447	210,000	(低下) 目標達成度 (高)
	上がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和2年度は209,447人で、前年度に比べ40,507人減少しています。 (原因) 人口減少による利用者数の減少や、自家用車等の交通手段を利用していることによるものに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛が要因と考えられます。						
評価							
指標	町内を運行する民間運行バスの平均乗車率	%	7.61	5.02	5.21	5.50	(向上) 目標達成度 (高)
	上がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和2年度は5.21%で、前年度に比べ0.19ポイント増加しています。 (原因) 年間利用者数は減少していますが、比較的乗車率の低かった中浦線があいなんバスに切り替わったことにより全体の乗車率が向上したのと考えられます。						
評価							
指標	民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額	円	6,279	5,082	5,322	6,600	(低下) 目標達成度 (達成)
	下がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和2年度は5,322円で、前年度に比べ240円増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛などで利用者数が減少し、事業費の欠損額が増加したことが原因と考えられます。						
評価							

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業 02-05-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

総務省から将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が求められ、本町におきましては平成29年3月に策定しました。（計画年度：平成29年度～平成38年度）
「経営戦略」の策定にあたって、健全な事業運営に必要な財源の確保のため水道料金収入の適正化が求められていますが、給水人口の減少に伴い、水道料金収入は年々減少しています。また、災害時等に安定した水道水の供給を確保するため、老朽化した施設の更新、水道管の更新・耐震化が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.62 (2.95)	--- (---)	3.58 (2.97)	➔
重要度	3.27 (3.63)	--- (---)	3.27 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
愛南町営水道の給水区域内の町民	給水区域内の町民に対して、安定的に「安心・安全な水道水」を供給します。

施策の成果状況と評価

指標	水道水に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【水道課】	%	89.2	-	91.0	90.0	
評価	<p>(状況) 令和2年度は91.0%で平成30年度に比べて0.7ポイント減少しましたが、後期目標値も達成しており、概ねの町民が水道水の水質や水圧に満足しています。</p> <p>(原因) 料金が上昇傾向にあり、水質や水圧等の水道サービスに価格が見合わない等の不満がある方もいますが、老朽管及び水道施設の継続的な更新を行っているため長期間にわたる給水不良等の不具合はなく、また、水質基準に適合した供給を行っていることから、「安心・安全な水道水」として町民からの認識が維持できていると考えられます。</p>	(%)					

施策のコスト(千円)

R元	R02
247,765	241,424

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 水道施設	基本事業がめざす姿 老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水します。 有収率の向上により、施設維持管理費を削減します。
-----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	有収率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【水道課】	%	75.5	75.6	76.0	76.0	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和2年度は76.0%で、前年に比べて0.4ポイント増加し、後期目標値を達成いたしました。 (原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査の外部委託による漏水解消のための取組を行ったこと等が成果の向上に結び付いたと考えられます。						

指標	突発的な断水件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【水道課】	件	42	43	60	40	 (低下) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 令和2年度は60件で、前年に比べて緊急な断水が17件増加し、後期目標値に20件不足しています。 (原因) 老朽化した水道管の更新及び、漏水調査委託等の漏水解消にかかる取組を行っていますが、法定耐用年数を経過した水道管の漏水が増えたこと等が原因と思われます。						

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>給水区域内の町民、水道事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立します。</p>
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	公営企業会計における経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く。） 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
評価	<p>(状況) 令和2年度は82.35%で、前年に比べて3.1ポイント増加しましたが、後期目標値を達成できていません。 (原因) 給水人口の減少及び節水機器の普及の影響を受け、水道料金収入は減少傾向で、経常収益は前年比10,059千円減の543,393千円となったことが原因と思われます。</p>	(%)	98.6	79.25	82.35	86.9	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>

指標	料金収納率 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
評価	<p>(状況) 令和2年度は98.8%で、前年に比べて0.1ポイント増加し、目標値の水準以上で推移しています。 (原因) 水道料金未納者に対する戸別訪問の実施や電話連絡による未納の通知、また、毎月の支払督促及び給水停止の業務を行っていることが成果の向上に結びついたと考えられます。</p>	(%)	98.4	98.7	98.8	98.4	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
237,765	228,873

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 水道施設	基本事業がめざす姿 管路の耐震化、主要配水池等への緊急遮断弁の整備及び主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。
-----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	指標のつごき	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)
管路の耐震化率 上がると良い指標 【水道課】	(向上) 目標達成度 (高)	%	26.1	28.3	29.0	30.0
(状況) 令和2年度は29.0%で、前年に比べて0.7ポイント増加し、管路の耐震率は順調に推移しています。 (原因) 目標値の30.0%に向けて、毎年度耐用年数の到来した水道管を耐震管更新工事において計画的に実施していることが、成果の向上に結び付いたと考えられます。						
貯水施設における緊急遮断弁設置割合 上がると良い指標 【水道課】	(向上) 目標達成度 (達成)	%	77.8	80.0	90.0	88.9
(状況) 令和2年度は90.0%で、前年に比べて10.0ポイント増加し、後期目標値を達成いたしました。 (原因) 令和2年度に一本松配水池に緊急遮断弁の設置を行ったことにより目標達成となりました。						
浄水・送水施設における自家発電設備設置割合 上がると良い指標 【水道課】	(横ばい) 目標達成度 (中)	%	75.0	75.0	75.0	87.5
(状況) 令和2年度は75.0%で、前年と変わらず横ばいの状況です。 (原因) 平成29年度までに主要な浄水場等8施設の内、6施設については自家発電設備の設置を完了し、災害等による停電時においても一定時間の給水を確保が可能となりました。(設置済6施設/主要浄水場8施設=75.0%) 今後、未設置の配水池に自家発電設備を設置する計画としています。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
浄水水質	清浄で安全な水道水を供給します。

基本事業の成果状況と評価

指標	浄水場の施設維持管理上の不具合件数 下がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	0	0	0	0	
評価	(状況) 令和2年度は前年と同様の0件であり、目標値の水準で推移しており、安定的な水道水の供給を図ることができました。 (原因) 職員による日々の浄水施設点検業務、及び専門技術を有する委託業者による浄水施設保守業務を実施してきたことから、施設異常の早期発見、早期改善につながったため、成果の向上に結びついたと考えられます。	(件)					 (向上) 目標達成度 (達成)

指標	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数 下がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	0	0	0	0	
評価	(状況) 令和2年度は0件で、後期目標を達成しており、水質検査において基準値を上回ることなく安全な水道水の供給を行うことができました。 (原因) 浄水場等での毎日検査、定期的な水道施設管理を実施していることから、基準値を上回ることなく安全な水道水を供給できたと考えられます。	(件)					 (向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
10,000	12,551

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

漁船漁業において、黒潮の蛇行や台風の到来により日本近海に来るカツオが減少しています。まき網漁業も台風の到来を始めとする異常気象の影響で水揚げ量が減っています。

養殖業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要の減少等に伴う池尾数過多による魚価の低迷等厳しい状況ですが、漁協と町において国の補助・交付金事業を利用して販売促進事業を行い、ある程度出荷予定の残留魚を販売することができました。真珠・真珠母貝養殖については、アコヤ貝のへい死が続いており、関係機関と連携し原因の特定を急いでいます。そのほか改良交雑貝など優良品種の開発や耐病性アコヤ貝の選抜育種を進めるとともに、緊急生産稚貝の無償配布を実施しました。

漁港及び漁港海岸施設の整備については、漁業者の減少や高齢化が進むなか、いかに住みやすく働きやすい環境づくりの推進が不可欠であります。その為、併せて老朽化した漁港・漁港海岸施設等の長寿命化対策を推進し、機能の維持・保全を計画的に実施することにより戦略的に施設の維持管理・更新を図ります。また今後、激甚化が懸念される台風・集中豪雨等に対する防災・減災対策に取り組み、災害に強い基盤づくりを推進する必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.21 (2.95)	--- (---)	3.20 (2.97)	➔
重要度	3.53 (3.63)	--- (---)	3.59 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
漁業者、町民	漁業経営の安定化及び持続可能な水産業の推進に向けた環境の整備をします。

施策の成果状況と評価

指標	漁業生産額	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	百万円	20,535	18,113	-	21,000	
評価	<p>【水産課】</p> <p>(状況) 魚価の低迷による流通減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していると考えられます。(港勢調査の確定が11月であるため指標値は取得できていません。)</p> <p>(原因) マダイ等の流通及び魚価が低迷していることが原因と考えられます。</p>						比較不可
							目標達成度
							■ (低)

指標	経営体数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	経営体	397	490	-	400	
評価	<p>【水産課】</p> <p>(状況) 令和元年度の経営対数は490で、平成30年度と比較すると増加しています。(港勢調査の確定が11月であるため指標値は取得できていません。)</p> <p>(原因) 漁協の集計方法の変更によるものです。依然として人口減少、高齢化等により、経営体数は減少傾向にあると考えられます。</p>						比較不可
							目標達成度
							■ (低)

施策のコスト(千円)

R元	R02
907,878	1,144,979

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者、漁協、行政	基本事業がめざす姿 漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率を高めめます。高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。
-----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	漁港施設の充足率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【水産課】	%	42.4	48.7	46.7	42.7	(低下) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和2年度の整備率は46.7%で、前年に比べて2.0ポイント減少しておりますが目標値は達成しており、順調に達成度を確保しています。 (原因) 新たな施設整備は実施していませんが、漁港施設の利用実態に合わせた見直しを行い、物揚場の延長が減となった為、充足率が減少したと考えられます。今後は漁港施設の維持機能を保全する整備が中心となり、整備率はほぼ横ばい状態が続くと考えられます。						

指標	海岸施設の整備率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【水産課】	%	31.0	31.7	31.7	37.8	(横ばい) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 令和2年度の整備率は31.7%で、前年に比べて横ばいであります。 (原因) 海岸施設整備事業に係る事業完成が無かった為、整備率は横ばいとなります。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
726,093	786,711

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁船漁業生産者、養殖業者、漁業者	基本事業がめざす姿 新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。 良好な漁場環境を保全し、安心安全な水産業の振興を目指します。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	地区内漁業種別水揚金額	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【水産課】	百万円	2,573	2,643	2,637	2,600	(低下) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和2年度の愛南漁協及び久良漁協の水揚げ金額は2,637百万円で基準値に比べ、64百万円上回っており、後期目標に対しても達成しています。しかし、前年度と比較すると6百万円微減しています。 (原因) 減少の原因として新型コロナウイルス感染症の影響による魚価の低迷のほか、昨今の漁業就業者の減少等が考えられます。	(百万円)					

指標	アコヤ貝(真珠母貝)種苗生産量	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【水産課】	万個	1,831	1,841	2,419	1,850	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) アコヤ貝種苗生産で注文数どおりである2,399万個の稚貝生産に成功し、夏の緊急生産では20万個の稚貝を生産しました。 (原因) アコヤ貝稚貝大量死は引き続き令和2年も発生し、その影響を軽減させるため、夏の緊急生産や耐性貝の1月早期ふ化を実施し生産量が向上しました。	(万個)					

指標	水産用水基準の不適合件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【水産課】	件	0	1	0	0	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和2年度の不適合件数は0件であり、目標値を達成できました。 (原因) 令和元年度には調査地点数を増加させたところ一部の漁場で底泥の悪化が確認されたことから、底質改善剤の散布を実施しました。その結果、現在では底泥の改善が見られていますが依然としてやや高めの数値であることから引き続き注意していく必要があります。	(件)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
36,214	108,522

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>住民、消費者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する普及・啓発を図ります。ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。</p>
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>ぎょしょく教育に参加した延べ人数</p> <p>上がると良い指標 【水産課】</p>	人	6,187	5,251	851	6,200	<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
<p>（状況）令和2年度の参加者数は851人で、前年の約16%と大幅に減少し、目標値に届きませんでした。</p> <p>（原因）新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学校の休校や調理実習の中止、首都圏でのぎょしょく普及事業が実施できず、目標の参加者数を大幅に下回る結果となりました。</p>						
<p>公共施設の給食における地元水産物の利用額</p> <p>上がると良い指標 【水産課】</p>	千円	32,785	22,493	143,841	55,000	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
<p>（状況）令和2年度は143,841千円で、前年の利用額の約6倍となり、コロナ禍において過去最高の利用額となりました。</p> <p>（原因）新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込んでしまった生産者を支援する取り組み「えひめ水産応援プロジェクト」により、県内はじめ首都圏の学校給食への食材提供のため、愛媛県漁協への販売が大幅に増加し、目標値を達成することができました。</p>						
<p>漁協直販増加額</p> <p>上がると良い指標 【水産課】</p>	千円	50,452	38,798	922,591	55,000	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
<p>（状況）魚類の買取販売金額が基準年（H28）と比べ、約2.7倍、水産加工品においては約5.5倍と大きく向上しています。</p> <p>（原因）新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込んでしまった生産者を支援する取り組みとして、国の補助・交付金事業を利用した販売促進事業や「えひめ水産応援プロジェクト」により、県内はじめ首都圏の学校給食への食材提供のため、愛媛県漁協への販売が大幅に増加したことや、オンラインショップの開設が成果向上に結びついたと考えられます。</p>						

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
7,010	120,519

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者、漁協、大学、行政、企業等	基本事業がめざす姿 関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	共同開発研究をした延べ件数 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	5	14	14	11	
評価	(状況)令和2年度の件数は14件で、前年と同数になりました。愛媛県、大学、水産関係者等と共同連携し、研究開発を円滑に実施しています。 (原因)毎年研究内容の精査を行い、魚類だけでなく、海藻類等の研究も実施し、漁業者の所得向上や持続可能な漁業体制の構築に結びついていると考えられます。						(横ばい) 目標 達成度 (達成)
		種	4	4	4	5	
指標	市場で付加価値が高い水産物数 上がると良い指標 【水産課】	種	4	4	4	5	(横ばい) 目標 達成度 (高)
		(種)					
評価	(状況)令和2年度の水産物数は4種で、愛媛県、愛媛大学、水産関係者等と協同連携し事業を推進しています。 (原因)スマに関しては、高品質化による完全養殖の持続的成長を進めています。水産物の高付加価値化やブランド化にはそれ相応の時間を要するため、ほぼ横ばい状態が続くと思われます。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
42,993	27,154

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 地域漁業を担う漁業者を育成します。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の漁業従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
	上がると良い指標 【水産課】	%	8.4	8.0	7.7	8.5	
評価	(状況) 令和2年度の漁業従事者数は1,582人で、町内漁業従事者数の占める割合は7.7%となり基準値に対して0.7ポイント低下しました。 (原因) 高齢化による廃業のほか新型コロナウイルス感染症の影響による転職等、離職者が増加したと考えられます。	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
122	113

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
95,446	101,960

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業 03-02-02 経営安定と高付加価値化の推進

基本事業 03-02-03 農地の保全・農村環境の整備

基本事業 03-02-04 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業 03-02-05 地域資源の有効活用

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林産物価格の低迷をはじめ、資材の高騰や鳥獣被害、災害リスクの増加など厳しい状況が続いています。また、営農環境では、後継者、引き続き担い手の不足及び生産者の高齢化が進むなかでの農作業等の負担や危険性の拡大が課題となっています。

これらの課題を解消するため、自然環境に配慮した愛南町農村振興基本計画等に基づき、意欲ある経営体や集落営農組織の育成、また鳥獣被害防止支援をはじめとする、適正な農地管理や効率的な農地集約の推進や安定した収入の確保、併せて農林畜産物の産地化や高付加価値化に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.02 (2.95)	--- (---)	3.06 (2.97)	➔
重要度	3.56 (3.63)	--- (---)	3.59 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象 農林業者、農地、農業用施設、森林、町民	施策がめざす姿 農林業者の所得向上を目的として、自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安心安全な農林産物の安定生産及び販売を推進します。
-------------------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	担い手農業経営体数 【農林課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		経営体 (経営体)	182	181	176	190	
評価	(状況) 前年度に対し5名の減となり、対基準値は6経営体の減となりました。 (原因) 高齢の認定農業者が認定更新を辞退したことが主な原因です。農地所有適格法人の要件緩和や認定農業者制度の周知等による新規認定もあるため、担い手数の減少は比較的緩やかに推移しています。農業次世代人材投資事業等の補助事業で担い手を確保、定着化していることや、令和元年度からスタートしている愛南町次世代ファーマーサポート事業でJA等と連携し、計画的に担い手を確保、育成しているためです。	(低下)	目標達成度 ■■■ (高)				

指標	耕作面積 【農林課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		ha (ha)	1,712	1,412	1,383	1,740	
評価	(状況) 前年度に対し、29haの減となっていますが、概ね横ばいで推移しています。 (原因) 高齢化や後継者不足等の問題により新たな耕作放棄地の増加が考えられますが、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権貸借が進み、認定農業者等をはじめとする担い手に集積化が図られています。今後、愛南町次世代ファーマーサポート事業等による新規就農者の確保により、農地の維持・拡大を図ります。	(横ばい)	目標達成度 ■■■ (高)				

施策のコスト(千円)

R元	R02
612,382	618,649

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 町農業支援センターを核として、意欲のある経営体や集落営農組織の育成支援を図ります。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	新規就農者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	上がると良い指標 【農林課】	人	5	2	5	13	
評価	(状況) 前年に比べ3名の増加となり、基準値である5人は達成しています。 (原因) 兼業や定年退職による農業参加者が3名、研修等を経ての独立自営が2名おられました。新規就農者を支援する農業次世代人材投資事業は、近年、要件強化がなされており、認定件数が伸び悩んでいます。今後は担い手の育成と確保を狙う愛南町次世代ファーマーサポート事業により、JA等と連携し計画的に新規就農者を増やしていく計画としています。	(人)					☀️ (向上) 目標達成度 ■■■ (低)
指標	認定農業者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	上がると良い指標 【農林課】	人	150	160	158	150	
評価	(状況) 前年と比べ2名の減少であり、基準値である150人は達成しています。 (原因) 農家の高齢化に伴い8名が認定更新等を辞退し減少しましたが、認定新規就農者の認定期間終了に伴う認定農業者への移行や、認定農業者制度への周知により、6名の新規認定を行い、結果158名の認定農業者を確保しました。	(人)					☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)
指標	農業生産法人数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	上がると良い指標 【農林課】	経営体	7	13	17	9	
評価	(状況) 令和2年度は17経営体で、前年度より4経営体増加しました。また、基準値も上回っており順調に推移しています。 (原因) 町内等に所在する4経営体を増加しました。町内経営体は、地域の担い手として経営拡大を図っています。	(経営体)					☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
30,013	23,895

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-02 経営安定と高付加価値化の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>農業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>経営安定のための各種支援が活用され、産地化による高付加価値化が進み、農業経営が継続されています。</p>
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>産地化、高付加価値化を進める農産物の作付面積</p> <p>上がると良い指標 【農林課】</p>	ha	196.1	206.4	206.1	202.8	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>
<p>(状況) 前年度に比べ0.3haの減少ですが、対基準値で10aの増となっています。主にブロッコリーの転作が進み、後期目標値に到達しました。</p> <p>(原因) JA等との連携でブロッコリーの産地化を図る施策として、経営所得安定対策交付金における転作事業を推進したことや、新型コロナウイルスに伴う支援事業として高収益作物次期作支援交付金事業を実施したことにより、作付け農家が増えました。</p>						
<p>10 a以上の農家数</p> <p>上がると良い指標 【農林課】</p>	戸	2,260	2,063	2,067	2,260	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
<p>(状況) 前年度に対し、4戸の増となっていますが、概ね横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 高齢化や後継者不足等の問題もありますが、新規就農者や経営拡大を行った農家が増えたことが原因と考えられます。</p>						
<p>飼料作物の作付面積</p> <p>上がると良い指標 【農林課】</p>	ha	17.1	17.9	15.7	20.0	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
<p>(状況) 作付面積は前年比2.2haの減少です。WCS用稲は増減はありませんでしたが、飼料用米の作付面積が2.2ha減少しました。</p> <p>(原因) 令和2年度では1名、飼料用米の作付を廃止したことが原因です。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
10,735	36,427

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 農地の保全・農村環境の整備

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>農業者、農地、農業用施設</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び生産性が高い農地や農道、水路の整備や集積がされています。</p>
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	農地利用集積面積	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【農林課】	ha	907.23	1,088.66	1,096.46	930.00	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
評価	<p>(状況)令和2年度は1,096.46haで、前年度より7.8haの増加となりました。また、基準値より189.23haの増加となり、後期目標値も達成しております</p> <p>(原因)後継者のいない農家が、高齢により耕作が困難となり、地域の担い手に農地を預ける傾向にあることが原因と考えられます。</p>	(ha)					
指標	鳥獣被害面積	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【農林課】	ha	15	12	11	14	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
評価	<p>(状況)令和2年度の鳥獣被害面積は11haで、前年に比べて1ha減少しており、後期目標値は達成できています。</p> <p>(原因)鳥獣侵入防止柵の設置や猟友会及びわなの会の協力による捕獲頭数の増加が成果向上に結び付いたと考えられます。</p>	(ha)					
指標	農業施設整備完了割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【農林課】	%	86.4	90.7	97.2	100	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(高)</p>
評価	<p>(状況)令和2年度における地区要望・整備計画における農業施設整備完了割合は97.2%となっており、前年度に比べて6.5ポイント増加しています。後期目標値には及ばないものの着実に向上しています。</p> <p>(原因)令和2年度における地区要望・整備計画の工事において、1件の工事実施について、令和3年度実施としたことが原因です。令和3年度の工事完了により農業施設整備完了割合は100%となります。</p>	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
381,065	386,076

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-04 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>林業者、森林</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>林道、林内作業道等の整備、高性能林業機械の導入を図ることにより、コストの低減と労働条件の改善を推進し、素材生産量の向上を図ります。</p>
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	素材生産量	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【農林課】	m3	9,222	10,441	7,407	10,000	<p>(m3)</p>
評価	<p>(状況) 前年度に比べ、素材生産量は3,034m3減少し、後期目標値に達成していません。</p> <p>(原因) 林業労働力不足により、町内事業体の生産が減少したことが原因だと考えます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>	

指標	林業従業者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【農林課】	人	52	41	28	55	<p>(人)</p>
評価	<p>(状況) 前年度から13名減少しており、後期目標に到達していません。</p> <p>(原因) 高齢による離職及び新規林業従事者の確保が出来ていないことが原因だと考えます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
94,966	65,780

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、町民	基本事業がめざす姿 地産地消、グリーン・ツーリズム等の取組を推進し、都市住民との交流機会の拡大や基幹作物である柑橘類をはじめとする地元農林産物の利用促進を図ります。
--------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	指標のつごき	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)
直売所の販売額 上がると良い指標 【農林課】	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	百万円	626	551	544	630
(状況) 令和2年度は544百万円で、前年に比べて約7百万円の減となっています。目標値には86百万円届きませんでしたが、各直売所の販売額は増加しています。 (原因) 新型コロナウイルスの影響が懸念されましたが、商工観光課による送料割引キャンペーンや愛南町商工会によるプレミアム商品券の利用により各直売所の販売額は増加しました。令和2年3月にさんさん市が閉店したことが、目標値未達成の原因の1つと考えられます。						
公共施設の給食（学校給食センター）で使用する地元農林産物の額 上がると良い指標 【農林課】	(低下) 目標達成度 ■■■ (高)	千円	8,952	8,179	7,456	9,500
(状況) 前年に比べて723千円の減です。目標値には2,044千円届きませんでしたが、利用促進が図られており、季節に応じた旬の町内産農産物が定期的に使用されています。 (原因) 大きな要因としては、町内産では必要とする大量のロットが揃わないことが多く、やむを得ず町外から納入している状況であるため、目標値達成が困難となっています。また、新型コロナウイルスの影響で4月は休校だったことや、暖冬のため野菜の高騰が少なく価格が安定していたことも、使用額の目標未達成の要因となっています。						
交流人口数 上がると良い指標 【農林課】	(低下) 目標達成度 ■■■ (低)	人	8,569	6,501	3,152	8,600
(状況) 新型コロナウイルスの影響によって、前年度に比べて交流人口が3,349名の減となっています。また、目標値には大幅に届かず、都市住民との交流機会が減少しています。 (原因) 一本松温泉あけぼの荘や山出憩いの里温泉といった、町管轄の宿泊施設の利用客数が減少傾向であることに加え、新型コロナウイルスの影響によって県内外の移動やイベント開催について制限があったことが、目標値未達成の大きな要因です。						

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
2,648	9,683

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
92,955	96,788

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業は長引く景気の低迷、人口減少、少子高齢化による顧客の減少等により厳しい経営状況が続いています。また、今後経営者の高齢化により、やむを得ず廃業せざるをえない事業者が増えることが予想でき、このまま放置しておく、産業の空洞化により地域の衰退化が進むことが予想されます。
このような状況の中で、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により本町の商工業も大きな打撃を受けたため、事業者への支援策が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.78 (2.95)	--- (---)	2.86 (2.97)	➔
重要度	3.62 (3.63)	--- (---)	3.61 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
商工業者	商工会及び商店街振興組合と連携して、小売業者及び商工事業者の生産性や販売力強化に向けた経営支援を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	町内の小売業者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		業者	296	276	245	290	
評価	(状況) 前年度と比較して31業者の減、基準値と比較して51業者の減、目標値へは45業者届いていません。 (原因) 小売業だけでなく本町の商工業全体の傾向ですが、事業主の高齢化による廃業が原因です。						(低下) 目標達成度 (高)

指標	町内の商工業者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		業者	1,201	1,178	1,115	1,200	
評価	(状況) 前年度と比較して63業者の減、基準値からは86業者の減で、目標値へは85業者届いていません。 (原因) 事業主の高齢化による廃業で、町内の事業者数が減少したことが原因と考えられます。						(低下) 目標達成度 (高)

施策のコスト(千円)

R元	R02
84,804	468,289

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、商業事業者	基本事業がめざす姿 日常品の買物環境が整っています。
---------------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	日常の買い物に困っている町民割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のつごき
	下がるが良い指標 【商工観光課】	%	7.4	-	8.4	7.0	
評価	(状況) 令和2年度は8.4%で、前回アンケート値と比べて2.4ポイント増加しましたが、統計誤差の範囲内で横ばいの状況です。 (原因) これまでの買物弱者対策により成果指標値を維持できており、一定の成果が出ているものと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
中小企業者	中小事業者の経営支援、運転資金の円滑な調達等を支援し、事業活動が持続的なものとなるよう努めます。

基本事業の成果状況と評価

指標	町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業所数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		所	975	902	1,861	1,100	
評価	(状況)令和2年度は前年度と比べて959所増となり、目標値も達成しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、商工会の経営指導件数が昨年度の849件から1,749件と倍増したことが主な要因です。	(所)					☀ (向上)
							目標 達成度 ☑ (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
27,877	409,581

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
56,927	58,708

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年、わが国では、少子高齢化、グローバル化、情報化など、社会環境がめまぐるしく変化する中、価値観やライフスタイルの多様化を反映し、人々の観光ニーズも多様化しており、世界規模の大交流時代となった今、観光は「21世紀のリーディング産業の一つ」として、世界でも認識されています。

国では、観光立国の実現は21世紀のわが国の発展のために不可欠な課題であるとし、平成18年12月の「観光立国推進基本法」の制定に続き、平成19年6月には「観光立国推進基本計画の閣議決定」がなされるほど、国全体として官民をあげて、観光立国の実現に取り組む体制づくりが始まっています。さらに、平成20年10月には観光庁が発足し、広域的な連携や新たな観光旅行分野の展開が進められています。

観光は、地域産業のすべてを活性化させ、働く場を増やし、地域を潤します。また、人口減少や少子高齢化といった愛南町を取り巻く状況は厳しさを増しており、地域活性化による地方創生の実現は、重要な課題の一つとなっています。愛南町では、こうした背景をもとに、「愛南町観光振興計画」（以下、本計画）を策定し、愛南町の観光振興において戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化をめざすものとし、

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.91 (2.95)	--- (---)	2.94 (2.97)	➔
重要度	3.63 (3.63)	--- (---)	3.62 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
観光客	地域の魅力を理解し、町外から多くの観光客が訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		人	1,231,369	1,109,808	790,032	1,500,000	
(状況) 前年度に比べ、319,776人減少しており、目標値にも大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症対策による観光施設の休業や外出自粛要請によるものと考えられます。							

施策のコスト(千円)

R元	R02
283,085	360,763

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>特産品、観光スポット</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>地域の資源（特産品や観光スポット）を一つとして捉え、観光客と食事客を同じ立場で位置付けることで付加価値をつけ誘客を促進します。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数	人	87,087	80,260	11,286	100,000	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
	<p>上がると良い指標 【商工観光課】</p> <p>(状況) 前年度に比べ、68,974人減少しており、目標値にも大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大のため各イベントが中止となりました。このため大きく減少しています。</p>	(人)					
評価							
指標	町が支援する特産品販売イベントの開催回数	回	18	19	2	25	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
	<p>上がると良い指標 【商工観光課】</p> <p>(状況) 令和元年度と比較して17件減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大のため各イベントが中止となり、大きく減少しています。</p>	(回)					
評価							
指標	町が支援する特産品販売イベントへの出店事業者数	事業者	138	139	2	140	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
	<p>上がると良い指標 【商工観光課】</p> <p>(状況) 令和元年度と比較して137事業者減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大のため各イベントが中止となり、大きく減少しています。</p>	(事業者)					
評価							

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
21,610	20,010

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>行政、町民、民間企業</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>具体的な効果のあるPRを充実させ、旅行会社等と連携することにより観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらいます。</p>
----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	観光協会ホームページへのアクセス数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	件	110,210	58,837	107,250	120,000	<p>(件)</p> <p>140,000 120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0</p> <p>H28 H29 H30 R元 R02 R03</p> <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
評価	<p>(状況) 前年度のアクセス数と比較すると48,413件増加していますが、目標値には12,750件届きませんでした。</p> <p>(原因) ホームページをリニューアルし、内容の充実と臨場感あふれる画像を使用したことで、アクセス数が増加したと考えます。</p>						
指標	マスコミ等(新聞、テレビ等)での掲載件数(有料・無料含)	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	件	96	106	59	90	<p>(件)</p> <p>120 100 80 60 40 20 0</p> <p>H28 H29 H30 R元 R02 R03</p> <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
評価	<p>(状況) 前年度件数と比較すると47件の減となっています。また、目標値にも大幅に届いていません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症拡大のため各イベント等が中止となり、マスコミ等に対して積極的な情報発信ができなかったことが要因と考えます。</p>						
指標	新聞、テレビ、雑誌等へのリリース件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	件	42	43	26	30	<p>(件)</p> <p>50 40 30 20 10 0</p> <p>H28 H29 H30 R元 R02 R03</p> <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>
評価	<p>(状況) 前年度件数と比較すると17件減少しています。また、目標値にも届いていません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症拡大のため各イベント等が中止となり、マスコミ関係へのリリース数が減少したことが要因と考えます。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
4,969	8,845

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>行政、町民、民間企業</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー見直しなどをして、魅力の向上を図ります。</p>
----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	観光施設の不具合・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	16	25	31	10	
	下がるが良い指標	【商工観光課】					
評価	<p>(状況) 前年度件数と比較すると6件増加しており、目標値には届いていません。</p> <p>(原因) 施設の老朽化等が原因と思われます。今後も各施設と連絡を取り、初期段階で状況を確認し対策することで施設不具合箇所の影響の拡大をある程度抑えることができます。</p>						<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
指標	リニューアルされた観光資源数 (施設、サービス、イベント等)	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	6	3	3	10	
	上がるが良い指標	【商工観光課】					
評価	<p>(状況) 前年度と比較すると同数の3件となっており、目標値の10件には届いていません。</p> <p>(原因) ハード面については、積極的な改修や修繕等の対応はほぼ横ばいで推移しています。ソフト面についても件数が依然として伸び悩んでいるため、観光資源の発掘も含め検討していく必要があります。</p>						<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事業のコスト (千円)

R元	R02
237,390	312,752

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
19,116	19,156

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-05 雇用対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

雇用の創出の場の観点から企業誘致は非常に重要な問題ではありますが、南予地域は輸送コストの問題等により、愛媛県内でも企業の新規誘致が進んでいないのが現状です。
今後、これまで以上に企業誘致に向けた活動が、関東及び関西を中心に必要となると思われますが、同時に現誘致企業の留置活動に積極的に取り組まなければなりません。また、併せて町内商工業者の経営基盤強化にも取り組むことで町内での働く場の維持・拡大を図り、雇用者のニーズに応えられる環境の整備が必要であると考えられます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.47 (2.95)	--- (---)	2.39 (2.97)	➔
重要度	4.00 (3.63)	--- (---)	4.11 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	雇用の拡大及び安定的な雇用の確保を図ることにより、町民が安心して働き、生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	有効求人倍率 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		上がるの良い指標	倍	0.47	0.58	0.64	0.70
評価	(状況)令和2年度は、前年度に比べて0.06ポイントの増、基準値からは0.17ポイントの増となっています。 (原因)雇用対策の施策が好影響を与えているものと考えられます。 (補足)愛南町は庁舎内に、平成20年から町独自の就職支援センターを設置して町民の雇用支援を行っています。支援センターの令和2年度の有効求人倍率の平均は、3.54倍です。						☀ (向上)
		目標達成度	■■■ (高)				

施策のコスト(千円)

R元	R02
6,563	5,692

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業所</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>若年層、中高年齢者及び障害者への雇用相談や各種研修などを実施し、雇用促進を図ります。</p>
------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	求人数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	人	837	1,200	1,089	850	
評価	<p>(状況) 前年度から111人減少していますが、基準値より252人増加しており、目標値と比べても239人上回って達成しています。</p> <p>(原因) 労働人口の減少により継続募集の件数が減らない状況の中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規求人募集が減少傾向にあることが原因と考えられます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

指標	求職者の就職割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	%	55.2	53.5	56.3	60.0	
評価	<p>(状況) 前年度に比べて2.8ポイント増、基準値からも1.1ポイント増となりましたが、目標値に3.7ポイント届いていません。</p> <p>(原因) 就職支援センターへの来所(相談)者数が減少していることに伴い職場を紹介する人数も減少しましたが、就職者の割合が増加したことが原因と考えられます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (高)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
4,335	138

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 個人又はグループで法人を設立予定の者	基本事業がめざす姿 農林水産物、自然資源等の地域資源を活かした起業を支援します。
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	地元資源活用型事業で、起業・新規参入した団体 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	0	0	1	4	
評価	(状況) 令和2年度において、地域資源を活用した事業により愛南町起業化支援助成金を交付した新規起業者は1件で基準値と比べて増加していますが、目標値の4件に届いていません。 (原因) 実績が上がった原因として、地域資源を活用した事業により法人化に向けて活動していた事業主に愛南町起業化支援助成金交付事業を案内できたことが考えられます。						(向上) 目標達成度 (低)
指標	新規起業家数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		件	8	11	13	10	
評価	(状況) 令和2年度は13件が新規創業し、基準値からは5件の増加、目標値の10件を達成しました。 (原因) 地方の景気は依然低迷していますが、地域資源を活用した法人化が起こるなど新規創業家が増加したことが原因と考えられます。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	965

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 中小企業、製造業、情報通信業、卸売業、宿泊業	基本事業がめざす姿 企業誘致により、事業活動や雇用の拡大を図ります。
--	--

基本事業の成果状況と評価

指標	製造業者等の誘致・留置件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	件	3	5	5	5	
評価	(状況) 令和2年度は、誘致につながる新しい動きはありませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業立地フェアが中止になるなど、誘致につながる活動が制限されたことが原因と考えられます。	(件)					☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

指標	誘致した製造業者等の町内雇用者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【商工観光課】	人	172	218	238	200	
評価	(状況) 令和元年度と比較して20人増加しています。 (原因) コロナ過でも業績を伸ばしている企業が雇用者を増やしています。	(人)					☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
2,228	4,589

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政へ参画できる機会を提供し、その意見を町政へ反映させることにより推進されますが、町民の町政への参画はまだ十分ではない状況です。

また、人口減少や少子高齢化が進展する中、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地域コミュニティの運営・維持は、町の活性化の大きな課題となっており、地域と連携した効果的・効率的な地域コミュニティへの支援が必要な状況となっています。

さらには、昨年から世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、行政区が主催する行事等も延期や中止が相次ぎ、行政区の活発な活動が阻害される状況が続いています。

課題として、NPO法人、ボランティア団体などのメンバーの高齢化が進み、団体や活動を維持することが難しい状況です。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.02 (2.95)	--- (---)	3.02 (2.97)	➔
重要度	3.45 (3.63)	--- (---)	3.43 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会づくりの活性化を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		評価	(状況) 令和2年度は、54.5%で前々年に比べて0.9ポイント増加していますが、ほぼ横ばいで推移しています。 (原因) 地域別では、御荘、西海地域が低く、年齢別でみると30歳代の評価が低いことが原因と考えられます。	%	55.4	-	54.5

年度	実績値 (%)	目標値 (%)
H28	55.4	60.0
H29	55.4	60.0
H30	54.5	60.0
R元	54.5	60.0
R02	54.5	60.0
R03	54.5	60.0

施策のコスト(千円)

R元	R02
257,304	2,868,225

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 地域活動が活発化することにより、連携意識の向上や地域の運営・維持が図られます。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町民の行政区への加入率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【総務課】	%	75.0	74.0	73.4	75.0	
評価	(状況) 令和2年度は73.4%で、前年度と比べて0.6ポイント減少し、後期目標値には1.6ポイント届きませんでした。 (原因) 高齢化により、これまで行政区に加入していた世帯が減少したことに加え、若い世帯や転入・転居世帯の新規加入が進まないことなどが原因として考えられます。	(%)					

指標	地域コミュニティ活動への参加率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【総務課】	%	49.3	-	31.7	70.0	
評価	(状況) 令和2年度は31.7%で、平成30年度と比べて4.4ポイント減少しています。基準値からも17.6ポイント減少しており、後期目標値の70.0%には届きませんでした。 (原因) 行政区加入世帯数は70%を超えているものの、生活スタイルの変化や近隣関係の希薄化により、地域コミュニティ活動の役割が薄れてきていると思われます。また、30代以下の若い世代になるほど参加していない割合が高く、義務的に参加する高齢世代との意識のずれが表れています。なお、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で、地域コミュニティ活動が大幅に制限された影響が大きいものと考えられます。	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
112,693	75,579

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、NPO、ボランティア団体、行政	基本事業がめざす姿 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	団体情報ファイルに記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 【企画財政課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		団体	20	19	19	20	
評価	(状況) 令和元年度は19団体で、令和元年度と同数で目標値に届きませんでした。また、団体メンバーの高齢化が進み、団体や活動を維持することが難しい状況です。 (原因) 若い世代のボランティア活動、NPO活動への興味や関心、参加が低いことが考えられます。団体や活動を維持していくためには、若い世代の積極的な参加が必要になります。						(横ばい) 目標 達成度 ■ ■ ■ (高)
指標	ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 【企画財政課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		%	17.3	-	11.0	20.0	
評価	(状況) 令和2年度は11.0%で平成30年度に比べて6.7ポイント減少しています。後期の目標値にも届いていません。 (原因) コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア活動が行えていないことが原因だと考えられます。また、団体参加者の高齢化も進んでいるため、若い世代へボランティア活動参加の機会が必要だと考えます。						(低下) 目標 達成度 ■ ■ ■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	行政の情報を住民に十分に伝えます。

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	町からの広報（広報紙及びホームページ）の量や内容が十分だと思う町民の割合	%	93.9	-	93.5	95.0	
	上がると良い指標	【総務課】					
評価	（状況）平成30年度と比べて、0.8ポイント低下しているが、ほぼ横ばいとなっています。 （原因）ホームページや広報紙に掲載する情報は増えており、新型コロナウイルス関連の情報を中心に町民が関心のある情報を掲載しているため、大きく低下することはなかったが、情報整理が不十分だったため、目標値に届かなかったと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	広報紙を読んでいる町民の割合	%	72.7	-	69.2	75.0	
	上がると良い指標	【総務課】					
評価	（状況）町民の手にとってもらえるように、新たな企画や町からのお知らせ等を多く掲載したが、平成30年度から4.7ポイント低下しています。 （原因）情報を増やした分、文字だけのページや、記事の内容を凝縮して掲載したため、読みづらい広報紙になったことが原因と思われます。						(低下) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
7,996	6,642

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。</p>
-----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	<p>公募による委員の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	9.0	8.8	11.4	20.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況)令和2年度は11.4%で、前年に比べて2.6ポイント増加し、町民の町政への参加が増加傾向にあります。しかし、目標値には、まだ届かない状況にあります。</p> <p>(原因)委員公募は、町ホームページ、広報誌等で周知していますが、町民の町政に対する関心がまだ低いことが原因と考えられます。</p>					☀ (向上)	
		☀ (向上)					

指標	<p>町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	52.3	-	52.8	60.0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況)令和2年度は52.8%で、前々年に比べて0.8ポイント増加していますが、ほぼ横ばいとなっています。</p> <p>(原因)地域性として御荘、城辺地域、年齢別として20代までの若い人の評価が低いことが原因と考えられます。</p>					☁ (横ばい)	
		☁ (横ばい)					

指標	<p>意見表明制度の実施回数</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		回	4	3	9	4	☀ (向上)
評価	<p>(状況)令和2年度の実績件数は9件です。前年より6件増加し、制度の実施状況は、増加しています。</p> <p>(原因)令和2年度は、条例の新規制定や各種計画の更新時期が重なり増加したものと考えられます。</p>					☀ (向上)	
		☀ (向上)					

指標	<p>地区要望のうち当該年度に実施した事業の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	67.0	71.2	68.9	75.0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況)令和2年度は68.9%で、前年に比べて2.3ポイント減少し、後期目標値には6.1ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因)毎年度、多くの地区要望が寄せられていますが、限られた予算の中で全てに対応することは困難であり、優先順位の高いものから実施しているため、地区要望事業の実施割合は横ばいになったと考えられます。</p>					☁ (横ばい)	
		☁ (横ばい)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
37,821	36,473

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 町民が町政に関する情報を分かりやすく取得でき、町と町民が情報を共有することによって、町政の透明性と公平性を高めます。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	委員会等の会議録の公開率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【総務課】	%	100	100	100	100	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和2年度の会議の公開率は100%で、基準値、後期目標値を達成しています。 (原因) 会議を公開すべきことについて、担当者の意識が浸透していることが成果に結びついたと考えられます。	(%)					

指標	情報公開請求に対する不適正件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【総務課】	件	0	2	0	0	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和2年度の情報公開請求に対する不適正件数は、0件です。基準値及び目標値を達成しています。 (原因) 情報公開請求に対して、適切に対応できているものと考えられます。	(件)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
98,794	2,749,531

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の維持管理

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業 04-02-06 防災・減災ハード対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

【環境変化】

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、全国で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されるなど対策が実施されてきましたが、未だ収束の兆しが見えない状況にあります。このような状況下であっても、全国各地で予想をはるかに超える風水害や土砂災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。また、南海トラフ沿いでの大地震の発生確率は依然として高く、その発生が危惧されているところです。

大規模災害から、かけがえのない生命と財産を守るためには、町民一人ひとりが災害に関心をもち、日頃からの備え、発災時における命を守るための主体的な行動、地域住民相互の助け合いなど、地域防災力の向上が重要になってきます。

【課題】

町民一人ひとりが自分の命は自分で守る「自助」、地域住民が連携して地域の安全はみんなで守る「共助」、行政が災害に強い地域の基盤整備を進める「公助」の3つを防災対策の柱とし、引き続き、これらの連携を強化していかなければなりません。その中でも、これまでの災害における教訓から、要配慮者に対する避難体制の確立が早々に求められています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、災害時における避難所対策などのほか、平時における研修や学習会、訓練においてもその対策が強く求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.98 (2.95)	--- (---)	3.00 (2.97)	➔
重要度	3.74 (3.63)	--- (---)	3.70 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム(防災文化)を創造することにより、町の防災力・減災力の向上を図ります。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	行政の防災対策に安心感をもっている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	64.3	-	65.6	80.0	(横ばい)
評価	<p>(状況)令和2年度は65.6%で、令和元年度の実績値は取得できていないため、2年前の平成30年度と比較すると1.6ポイント増加しましたが、成果としては横ばい状態です。</p> <p>(原因)発生が危惧されている南海トラフ地震、さらに近年は全国各地で想定を超える水害や土砂災害が発生しており、町内においても、いつ災害が発生してもおかしくない状況にあり、こうした災害に対するの恐怖や不安が要因だと考えられます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	
指標	地域(行政区・自主防災組織)の防災力に安心感をもっている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	57.2	-	59.3	70.0	(横ばい)
評価	<p>(状況)令和2年度は59.3%で、令和元年度の実績値は取得できていないため、2年前の平成30年度と比較すると0.9ポイント増加しましたが、成果としては横ばい状態です。</p> <p>(原因)自主防災組織ごとに防災学習や訓練を実施していますが、地域によって温度差があり、また、参加者は固定化傾向にあり、十分な周知や啓発ができていないことが要因だと考えられます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	
指標	家庭の防災力に安心感をもっている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	49.3	-	51.6	60.0	(向上)
評価	<p>(状況)令和2年度は51.6%で、令和元年度の実績値は取得できていないため、2年前の平成30年度と比較し、2.7ポイント増加し、少しですが順調に推移しています。</p> <p>(原因)ぼうさい出前講座をはじめ各種学習会などでの啓発に加え、全国各地で発生している大規模な災害や町内での災害状況により、一人ひとりが災害を自分のこととして考え、災害に備えているものと考えられます。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

施策のコスト(千円)

R元	R02
258,610	250,643

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 組織率100%を達成した自主防災組織体制を維持しつつ、避難行動要支援者支援対策及び家庭での防災対策の実践を強化することにより、組織活動を活性化させます。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	指標のつぎ	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)
訓練等を実施している自主防災組織の割合	指標のつぎ	%	31.3	33.7	19.3	50.0
上がると良い指標 【消防本部】 (状況)令和2年度は19.3%で、前年度に比べて14.4ポイント減少しています。自主防災会の約2割しか訓練を実施していません。後期目標値の50%には30.7ポイント届いていません。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、訓練を中止する自主防災会があったことが、成果低下に結びついたと考えられます。	(低下) 目標達成度 (低)					
避難支援プラン個別計画の整備割合	指標のつぎ	%	17.5	13.3	12.1	30.0
上がると良い指標 【消防本部】 (状況)令和2年度は12.1%で、前年度に比べて1.2ポイント減少しています。後期目標値の30%には17.9ポイント届いていません。 (原因)避難行動要支援者の対象者数の増加や新たな個別避難計画の整備が出来ていないことが原因です。今後、避難行動要支援者台帳の掲載者を増やし、個別避難計画の整備を進めていきます。	(横ばい) 目標達成度 (低)					
家庭での防災対策実践項目数(全11項目における平均実践度)	指標のつぎ	項目	3.72	-	3.65	8.00
上がると良い指標 【消防本部】 (状況)令和2年度は3.65項目で令和元年度の実績値は取得できていないため、2年前の平成30年度と比較して0.03項目増加しております。後期目標値の8項目には4.35ポイント届いておりません。 (原因)防災対策のうち、家具転倒防止策、防災訓練への参加の割合が低く、災害時のことが家族で話し合われていないことなどが影響していると考えられます。	(横ばい) 目標達成度 (低)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
1,175	34,034

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 迫りくる未曾有の危機に対する正しい知識をもち、学校・家庭・地域の連携で自分の命は自分たちで守る「生き抜く力」を育て、親から子、子から孫へと継承されていく防災地域社会システム（防災文化）を創造します。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	社会教育における防災教育プログラムを履修した延べ町民数 上がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
評価	(状況) 令和2年度は10,200人で、前年度に比べて1,416人増加しましたが、例年に比べ増加率は低くなっています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、学習会や訓練の規模を縮小したり、あるいは中止により、例年に比べ参加人数は少なくなっています。	人	2,789	8,784	10,200	17,000	(向上) 目標達成度 (中)
指標	義務教育課程における防災教育プログラムを履修した延べ児童・生徒数 上がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
評価	(状況) 令和2年度に義務教育課程における防災教育プログラムを履修し卒業した中学生は140名で、延べで1,945人となっています。 (原因) 各学校において防災学習等が行われ、児童・生徒は「自分の命は自分が守る」という「自助」の意識を持ち、積極的に防災学習や避難訓練などに取り組んでいます。	人	1,299	1,805	1,945	2,100	(向上) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
1,059	875

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>住宅、町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>住宅内での被害軽減対策や耐震化の重要性についての普及・啓発を行い、耐震化を進展させます。</p>
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	住宅の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	53.2	53.9	54.3	90.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和2年度は54.3%で前年に比べ0.4ポイント増加しましたが、後期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 耐震診断は毎年数件ずつ行い、耐震工事も数件ずつではありますが実施している状況ですが、目標値には至りませんでした。耐震化率の上昇は自然的な住宅更新によるものです。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ ■ (中)</p>	

指標	耐震化に関する説明会に参加した延べ町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	4.8	8.6	10.2	20.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和2年度は10.2%で基準値からは5.4ポイント増加しましたが、後期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 戸別訪問は行えましたが、新型コロナの影響もあり、出前講座による耐震対策の啓発周知等ができませんでした。</p>					<p>目標達成度</p> <p>■ ■ (中)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
2,903	2,993

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の維持管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 防災拠点施設、自主防災組織、消防団、家庭	基本事業がめざす姿 全国瞬時警報システム等の防災情報通信網の維持管理を図ります。
--	--

基本事業の成果状況と評価

指標	防災情報通信網の利用時の支障件数 下がるが良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の つごき
		件	0	0	0	0	
評価	(状況) 令和2年度の利用時に支障があった件数は0件です。後期目標値も0件で適切な運用が来ています。 (原因) 定期点検及び月次試験での適正に管理されていることが考えられます。	(件)					比較不可
							目標 達成度 👑 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,375	15,752

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 防災拠点施設、防災機関、民間事業所	基本事業がめざす姿 大規模な災害発生時におけるライフライン等の寸断による食糧や物資の不足に備え、公助の役割として備蓄・調達体制を確保するとともに、災害発生初動時の体制を強化します。
-------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	食糧の備蓄充足割合（愛南町緊急物資備蓄五箇年計画）	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	76.3	115.7	113.4	100	
評価	(状況) 令和2年度は113.4%で前年度より2.3ポイント低下しています。 (原因) 前年度に緊急物資備蓄五箇年計画(食糧)の目標値を達し、令和2年度より新たな五箇年計画に基づき事業を実施しているためです。新たな計画に基づき、アルファ米1,300食、乾パン1,320缶、保存パン1,320缶購入し計画備蓄数量を維持しています。	(%)				☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)	
指標	物資の備蓄充足割合愛南町緊急物資備蓄五箇年計画)	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	38.2	62.0	81.1	90.8	
評価	(状況) 令和2年度は81.1%で、前年に比べて19.1ポイント増加し、順調に物資を配備できています。 (原因) 備蓄計画に基づき、災害用毛布600枚、ブランケット900枚を購入しました。備蓄計画により購入を進めているため、確実に整備できています。	(%)				☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (高)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,181	5,282

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-06 防災・減災ハード対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町管理道ほか	基本事業がめざす姿 防災・減災のための道路や砂防等の工事を行い、安全性を高めます。災害時の復旧をおこないます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	防災・減災のハード対策が完了した件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	評価	(状況)令和2年度は45件で、前年度との単年度比較では34件減少していますが、基準値と比べると6件増加しています。 (原因)令和2年度実績値は目標を達成していますが、対前年度比較による減少の原因は、令和元年度に大規模災害復旧工事を実施したことが主なものです。	件	39	79	45	35

年度	実績値 (件)	目標値 (件)
H28	39	35
H29	-	35
H30	79	35
R元	45	35
R02	45	35
R03	35	35

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
230,220	185,588

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
12,697	6,119

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

大雨、台風及び地震による自然災害、突発的に発生する感染症対策など消防を取り巻く環境は大きく変化しています。この環境変化に対応し、消防の職責である住民の生命、財産を守らなければなりません。そのためには、消防力の整備指針に基づき、計画的な消防車両の更新や資器材の整備を行い、職員が専門的な知識を身に付けるため各種研修を受講し、訓練を重ね多様化する災害に対応する必要があります。

また、平成27年に運用を開始した消防通信指令台の更新、修繕については費用が高額なため計画的に行う必要があります。高齢化が進む中、救急件数も1,000件を超えており高い水準で推移し、長時間の搬送になる管外搬送も全体の20%を占めています。このため、搬送途上での高度な処置、観察を行う必要があるため、救急救命士の養成を引き続き行う必要があります。さらに、火災を予防するため、不特定多数の人が利用する建物や高齢者が入所している施設などの予防査察を強化し、消防用設備の点検、設置状況を確認して違反等があれば是正していくことに努めます。一般住宅では住宅用火災警報器の多くが設置から10年経過し、電池の交換が必要になることから維持管理の啓発を行っていかねばなりません。

地域防災の要である消防団では、団員の高齢化に加え、サラリーマン化により居住地から離れて仕事をするため、防災力が低下する地域も見られます。このため、少ない団員数でも災害対応が可能となる資機材等導入のほか、新規入団者の増加や現役団員の退団を防ぐため、団員の処遇改善が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.15 (2.95)	--- (---)	3.15 (2.97)	→
重要度	3.66 (3.63)	--- (---)	3.62 (3.62)	↘

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、消防団、消防職員	施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。

施策の成果状況と評価

指標	1万人当たりの火災発生件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	下がると良い指標 【消防本部】	件	3.5	2.3	5.3	2.7	傘 (低下)
評価	(状況)令和2年度に発生した火災は、建物火災4件、車両火災1件、その他の火災6件で合計11件の火災が発生しました。令和2年4月1日現在の愛南町の人口は20,774人で、10,000人当たりの火災発生率は5.3件となり、昨年より3件増加し後期目標値には届きませんでした。 (原因)建物火災1件はこんろの消し忘れ、その他の火災3件は枯草に着火したものであり、不注意によるものと考えられます。	(件)					目標達成度 ■ (低)
指標	火災による損害額	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	下がると良い指標 【消防本部】	千円	1,586	3,418	20,276	1,500	傘 (低下)
評価	(状況)令和2年度に発生した火災は、建物火災4件、車両火災1件、その他の火災6件が発生し、昨年度の5件より6件増加しました。また、損害額も20,276千円と後期目標値を大きく上回り目標を達成できませんでした。 (原因)建物火災が4件発生し、14,091千円をはじめ大きな損害が発生したことが要因に挙げられます。	(千円)					目標達成度 ■ (低)
指標	救急車の平均到着時間	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	下がると良い指標 【消防本部】	分	9.6	10.0	10.0	8.5	雲 (横ばい)
評価	(状況)救急出場件数は昨年度より78件減少し1,019件ありました。また、救急車の現場までの平均到着時間は昨年度と比較して横ばいの10.0分で、後期目標値の8.5分には届きませんでした。 (原因)現場までの到着時間が短縮できていない要因として、城辺・御荘地区以外の救急が24.3%を占めており、走行距離が短縮できていないことが考えられます。	(分)					目標達成度 ■ (高)
指標	救急車の平均収容時間 119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	下がると良い指標 【消防本部】	分	42.4	40.0	41.6	39.3	雲 (横ばい)
評価	(状況)患者収容時間は、昨年度より1.6分延長し、後期目標値には2.3分届きませんでした。 (原因)救急車の平均到着時間が昨年度と変わらないことから、救急処置の高度化のため、現場滞在時間が長くなっていることが考えられます。	(分)					目標達成度 ■ (高)

施策のコスト(千円)

R元	R02
469,547	431,472

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

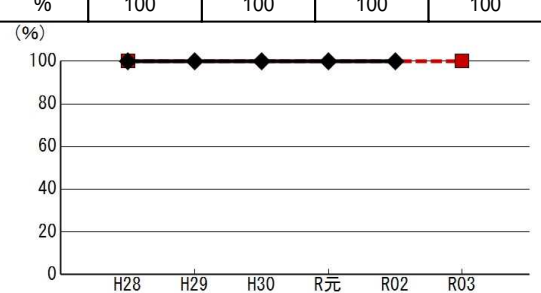
施策 04-03 消防・救急体制の充実

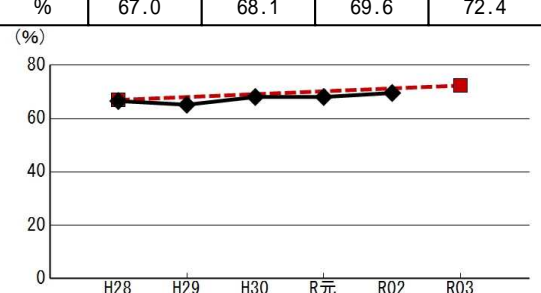
基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>消防施設、消防車両、消防職員</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>国が定める消防力の整備指針に基づく基準人員及び装備を確保することにより消防力を強化します。</p>
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	消防力基準の達成率（装備）	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	<p>上がると良い指標</p> <p style="text-align: right;">【消防本部】</p>	%	100	100	100	100	
<p>(状況) 消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車2台、救急自動車2台、救助工作車1台を整備しており、老朽化車両は随時更新を行い後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 令和2年度は車両の更新はありませんでした。</p>							

指標	消防力基準の達成率（人員）	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	<p>上がると良い指標</p> <p style="text-align: right;">【消防本部】</p>	%	67.0	68.1	69.6	72.4	
<p>(状況) 消防力の整備指針に基づく基準人員は69名ですが、現在の職員数は48名であります。そのうち、行政職員が6名含まれており、42名の消防吏員で消防業務を行っています。隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合は非番職員を招集し災害に対応しています。</p> <p>(原因) 令和元年度は2名の退職に対し、令和2年度は2名の採用でしたが、行政職員が1名増えましたので指標値は微増しています。</p>							

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
23,441	24,529

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、消防職員	基本事業がめざす姿 町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。
--------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき																					
救命講習の受講人員数 上がると良い指標 【消防本部】	人	2,173	2,028	701	2,337	(低下) 目標達成度 (低)																					
(状況)救命率の向上を図るため、小・中・高等学校はもとより、各種事業所において応急手当普及啓発活動を行い、また町ホームページ等を活用し救命講習の受講呼び掛けを行っていますが、前年度より受講者が1,327名減少し、後期目標値には届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により講習会の開催を制限していたためです。	<table border="1"> <caption>救命講習の受講人員数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>2,173</td> <td>2,337</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,028</td> <td>2,337</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>701</td> <td>2,337</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>701</td> <td>2,337</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>701</td> <td>2,337</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>701</td> <td>2,337</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H28	2,173	2,337	H29	2,028	2,337	H30	701	2,337	R元	701	2,337	R02	701	2,337	R03	701	2,337	
年度	実績値	目標値																									
H28	2,173	2,337																									
H29	2,028	2,337																									
H30	701	2,337																									
R元	701	2,337																									
R02	701	2,337																									
R03	701	2,337																									
管外搬送件数 下がると良い指標 【消防本部】	件	238	248	206	214	(向上) 目標達成度 (達成)																					
(状況)令和2年度の管外搬送は206件と前年より42件減少し、後期目標値を達成しました。しかし、救急件数の20.2%を管外搬送が占めている状況です (原因)町内基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市、宿毛市等の救急病院へ搬送しなければならない状況が継続しているためです。	<table border="1"> <caption>管外搬送件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>238</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>248</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>206</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>206</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>206</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>206</td> <td>214</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H28	238	214	H29	248	214	H30	206	214	R元	206	214	R02	206	214	R03	206	214	
年度	実績値	目標値																									
H28	238	214																									
H29	248	214																									
H30	206	214																									
R元	206	214																									
R02	206	214																									
R03	206	214																									
軽傷者の搬送割合 下がると良い指標 【消防本部】	%	41.0	34.7	31.9	36.0	(向上) 目標達成度 (達成)																					
(状況)救急車の適正利用等の広報活動により、今年度は昨年度より2.8ポイント低くなり、後期目標値を達成しました。 (原因)ケーブルテレビや救命講習等で継続して救急車の適正利用の広報活動を実施したことで町民の意識が変化し、不適正利用や頻回利用者が減少したと考えられます。	<table border="1"> <caption>軽傷者の搬送割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>41.0</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>34.7</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>31.9</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>31.9</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>31.9</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>31.9</td> <td>36.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H28	41.0	36.0	H29	34.7	36.0	H30	31.9	36.0	R元	31.9	36.0	R02	31.9	36.0	R03	31.9	36.0	
年度	実績値	目標値																									
H28	41.0	36.0																									
H29	34.7	36.0																									
H30	31.9	36.0																									
R元	31.9	36.0																									
R02	31.9	36.0																									
R03	31.9	36.0																									

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,049	4,924

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	住宅用火災警報器普及率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	63.5	82.2	69.7	81.7	
評価	(状況) 警報器の普及率は昨年度と比較して12.5ポイント低下しています。令和2年度7月1日時点の総務省消防庁の全国の条例適合率は68.3%、愛媛県は68.5%となっています。愛南町においては、条例適合率32.5%と国・県と比べて低く、設置率も69.7%に低下し、後期目標値を達成できませんでした。 (原因) ケーブルテレビのあいなん消防チャンネル119で継続して広報活動及び啓発を実施しましたが、今年は調査方法を訪問調査から郵送でのアンケート調査に変更したため、正確性が低下したものと考えられます。	(%)					

指標	予防査察実施の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【消防本部】	%	10.6	14.1	8.3	20.0	
評価	(状況) 令和2年度4月現在の管内防火対象物は878件、危険物施設は100件です。査察の実施件数は防火対象物79件、危険物施設2件の合計81件行い、前年度と比較して5.8ポイント低下し、後期目標値には11.7ポイント届きませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症による感染防止対策として総務省消防庁からも弾力的な運用の通知があったため、査察を控えたことが原因です。	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
79	88

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防団	基本事業がめざす姿 消防団員の確保及び設備の整備等による地域防災力の向上を図ります。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	消防団員の定数充足率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標	%	95.3	91.9	91.2	100	
評価	(状況) 令和2年度は91.2%で、前年から0.7ポイント低下、後期基準値から4.1ポイント低下し、後期目標値に8.8ポイント届きませんでした。 (原因) 新たに33名が入団しましたが、高齢による体力低下や本業が多忙等の理由により41名が退団したことが主な要因です。少子高齢化の影響により、若い団員を確保することが難しくなっているため、消防団員OBと消防職員OBの39名による機能別団員を導入し、大規模災害等に対応できるよう、消防力確保に努めております。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
131,268	96,694

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
309,710	305,237

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

町内における交通事故発生件数は減少傾向にありますが、高齢者が当事者となる割合は依然として高く、また、交通死亡事故も後を絶ちません。交通安全施設の充実だけでなく、高齢者をはじめ町民への交通安全意識の高揚を図るための継続した啓発事業を行う必要があります。

また、町内における刑法犯も減少傾向にありますが、令和2年度は増加に転じており、窃盗事案が全体の6割を超えるほか、高齢者や若年層を狙った特殊詐欺等予兆事案が依然として発生しています。町民への防犯意識の高揚を図るための啓発事業についても継続して行う必要があります。併せて、町民が安全に消費生活を送ることができるよう、クーリングオフ制度の周知、消費者相談等の充実に取り組む必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.04 (2.95)	--- (---)	3.08 (2.97)	➔
重要度	3.55 (3.63)	--- (---)	3.53 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	交通事故の発生が抑制されています。 犯罪の発生が抑制されています。

施策の成果状況と評価

指標	交通事故発生件数 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき													
		件	34	17	17	30	(横ばい)													
評価	(状況) 令和2年は17件で、前年と同一の数値となっています。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少しており、町内でも交通安全協会などの関係機関による交通安全啓発活動等が推進され、交通安全意識の高揚が図られています。	<table border="1"> <caption>交通事故発生件数推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>34</td></tr> <tr><td>H29</td><td>31</td></tr> <tr><td>H30</td><td>26</td></tr> <tr><td>R元</td><td>17</td></tr> <tr><td>R02</td><td>17</td></tr> <tr><td>R03</td><td>30</td></tr> </tbody> </table>				年度	件数	H28	34	H29	31	H30	26	R元	17	R02	17	R03	30	目標 達成度 (達成)
年度	件数																			
H28	34																			
H29	31																			
H30	26																			
R元	17																			
R02	17																			
R03	30																			
指標	刑法犯認知件数 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき													
		件	153	54	65	121	(低下)													
評価	(状況) 令和2年は65件で、前年に比べ11件増加しています。 (原因) 前年に比べ窃盗や詐欺事案が増加したためです。	<table border="1"> <caption>刑法犯認知件数推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>件数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>153</td></tr> <tr><td>H29</td><td>125</td></tr> <tr><td>H30</td><td>108</td></tr> <tr><td>R元</td><td>54</td></tr> <tr><td>R02</td><td>65</td></tr> <tr><td>R03</td><td>121</td></tr> </tbody> </table>				年度	件数	H28	153	H29	125	H30	108	R元	54	R02	65	R03	121	目標 達成度 (達成)
年度	件数																			
H28	153																			
H29	125																			
H30	108																			
R元	54																			
R02	65																			
R03	121																			

施策のコスト(千円)

R元	R02
35,688	24,095

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民（特に高齢者）、交通安全協会	基本事業がめざす姿 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。
------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町民が第1当事者となった交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【総務課】	件	34	17	17	30	
評価	(状況) 令和2年は17件で、前年と同一の数値となっています。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少しており、町内でも交通安全協会などの関係機関による交通安全啓発活動等が推進され、交通安全意識の高揚が図られています。	(件)					(横ばい) 目標達成度 (達成)

指標	高齢者の交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【総務課】	件	26	9	14	20	
評価	(状況) 令和2年は14件で、前年に比べ5件増加しています。 (原因) 町内の交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、高齢者が当事者となる事故は全体の約8割を占め、公共交通網が十分でないため自家用車による移動手段に頼る高齢者が多いことが原因と考えられます。	(件)					(低下) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
16,116	5,989

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町道	基本事業がめざす姿 必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	カーブミラー設置箇所数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【総務課】	件	15	19	24	15	(向上)
評価	(状況) 令和2年度は24件で、前年度に比べ5件増加しています。 (原因) 地区要望等により、見通しの悪い交差点や屈曲部へカーブミラーを設置したことによるものです。						目標達成度 (達成)
指標	ガードレール(ガードパイプ)整備延長距離数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【建設課】	m	165.5	320.4	284.5	150.0	(低下)
評価	(状況) 令和2年度は8件の工事で整備延長は284.5mの実施となり、昨年度に比べて35.9mの減となりました。 (原因) 地区要望等により順次必要なガードレールやガードパイプの整備を図ったことが原因と考えます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
9,705	8,431

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されています。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると思う町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき																					
			%	85.5	-	92.2		86.0																				
評価	(状況)令和2年度は92.2%で、前回調査時(平成30年度)より3.7ポイント増加しています。9割以上の町民が犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると感じています。 (原因)凶悪犯罪の発生がほとんどなく、刑法犯の認知件数も減少傾向にあるためと考えられます。	<table border="1"> <caption>防犯対策の推進の成果状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>85.5</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>89.5</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>88.5</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>92.2</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>86.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H28	85.5	86.0	H29	89.5	86.0	H30	88.5	86.0	R元	-	86.0	R02	92.2	86.0	R03	-	86.0	(向上) 目標達成 (達成)
		年度	実績値 (%)	目標値 (%)																								
H28	85.5	86.0																										
H29	89.5	86.0																										
H30	88.5	86.0																										
R元	-	86.0																										
R02	92.2	86.0																										
R03	-	86.0																										

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
9,224	9,110

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 消費生活に対する意識が高まり、消費者トラブルが減少します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	消費者トラブルにあった町民割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がるが良い指標 【商工観光課】	%	1.2	-	0.6	1.0	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 基準値から0.6ポイント向上し、目標値を達成しています。 (原因) 町行政無線や広報紙等を利用して、啓発活動に努めた結果であると考えられます。	(%)					

指標	消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がるが良い指標 【商工観光課】	%	63.7	-	59.3	75.0	 (低下) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 基準値から4.4ポイント低下し、目標値に15.7ポイント届いていません。 (原因) 悪質商法や詐欺の手口が巧妙化・深刻化している現状において、どのような対策を取ればよいかという啓発が不十分であることが原因であると思われます。	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
643	565

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化の進展や人口減少問題が本格化する中、住民ニーズの多様化・複雑化、老朽施設の維持更新、想定外の災害への対応など、今後の地方行財政を取り巻く環境は一段と厳しい状況となることが見込まれています。こうした状況に対応するため、職員の政策形成能力向上のための人材育成、行政改革の推進、自主財源の確保、情報セキュリティの強化及び情報資産の適切な管理に努めながら、総合計画、行政評価及び予算編成が連動した計画的で効果的・効率的な行財政運営システムを構築していきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.90 (2.95)	--- (---)	2.91 (2.97)	➔
重要度	3.56 (3.63)	--- (---)	3.57 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	<p>施策成果指標の目標値の達成割合</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	23.9	16.0	30.0	70.0	(向上)
評価	<p>(状況) 対前年度指標値比較は14.0ポイント向上しましたが、目標値を達成できたのは50の施策の成果指標中15の施策の成果指標にとどまっています。</p> <p>(原因) 第2次総合計画後期基本計画(H30～R03)の後半にさしかかり、目標値を達成できた施策の成果指標数が伸びています。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>	

指標	<p>町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う町民の割合</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	81.2	-	80.4	90.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成30年度(前回調査)比で0.4ポイント向上しましたが、基準値を0.8ポイント下回っています。また、後期目標値へも届いていません。</p> <p>(原因) いずれの値も統計誤差の範囲ですが、「わからない」との回答が全体の47.2%で、前年度比で0.1ポイント増加しており、積極的な情報提供が必要であると考えます。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>	

指標	<p>実質公債費比率</p> <p>下がると良い指標 【企画財政課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	6.3	7.2	8.1	8.3	(低下)
評価	<p>(状況) 令和2年度は8.1%で、前年度と比較して0.9ポイント上昇しました。基準値からも1.8ポイント上昇していますが、後期目標値は達成しており、財政の健全化は順調に進んでいます。単年度で見ると0.6ポイント上昇しています。</p> <p>(原因) 合併特例措置の縮減等の影響はあるものの新規項目の追加や公債費等の増により普通交付税は9,129万3千円増加であるが、事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費2,247万8千円の減、過疎対策事業債の元利償還金の増加1億6,476万3千円により、単年度で0.6ポイント上昇した主な要因となっています。</p>					<p>☂ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

指標	<p>将来負担比率</p> <p>下がると良い指標 【企画財政課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	9.5	0	0	0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和2年度は前年度と同じく「0」でした。基準値からも9.5ポイント向上し、後期目標値からは横ばいの0ポイントとしているが、財政の健全化は順調に進んでいます。</p> <p>(原因) 地方債の発行を償還が上回り、結果、地方債残高が12億5,807万3千円減少したことが主な向上の要因となっています。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

施策のコスト(千円)

R元	R02
4,121,324	4,403,847

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政	基本事業がめざす姿 効果的・効率的な行政運営を行い、住民サービスを向上させます。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	基本事業成果指標の目標値の達成割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	31.7	30.2	34.7	70.0	
評価	(状況) 対前年度指標値比較は4.5ポイント向上しましたが、目標値を達成できたのは204の基本事業成果指標中70の基本事業成果指標にとどまっています。 (原因) 第2次総合計画後期基本計画(H30～R02)の後半にさしかかり、目標値を達成できた基本事業の成果指標数が伸びています。	(%)					

指標	行政改革実践件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【総務課】	件	23	28	28	26	
評価	(状況) 令和2年度は28事業と前年度と同じ指標値となり、基準値を5ポイント、後期期目標値を2ポイント上回り目標を達成しています。 (原因) 行政改革に向けて、事業の推進が引き続き図られていると考えられます。長期的な取組みが必要なものもあるため、継続して取り組む必要があります。	(件)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
24,461	34,500

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政	基本事業がめざす姿 適正な職員数により効率的な行政組織を構築します。
---------------	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
人口1,000人に対する職員数 下がると良い指標 【総務課】	人	16.1	16.0	16.5	16.1	(横ばい)
(状況) 令和2年度は16.5で前回より0.5%上昇しました。 (原因) 昨年度に引き続き、愛南町の人口は減少しているものの、新型コロナウイルス感染症の対応や近年頻発する大規模災害への対応など、住民サービスの確保と職員数の削減の両立が困難となっている状況です。また、抑制が困難な専門職の定年退職が控えていることから、中長期的な視点で先行して専門職を採用していることも上昇の原因となっています。今後は社会情勢の変化に対応しながら、限られた人的資源で行政の合理化・能率化を目指していきます。					目標達成度 ■■■ (高)	
町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	79.7	-	85.3	90.0	(向上)
(状況) 前回のアンケート結果より0.8ポイント向上し基準値より5.6ポイント向上しています。 (原因) アンケートでは、町職員の対応ぶり等に対する満足度で、満足・やや満足・普通・という回答が85.3%という結果でした。これは、窓口対応や事業の実施により、職員に対する満足度がそれぞれ向上し、成果に結びついたものと考えられます。一方で、住民からの苦情も少なからず寄せられていることから、今後も各種研修を通じて公務員にふさわしいモラルやマナーの向上に努め、更なる住民サービスの向上を図っていくことが必要と考えます。					目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町の自主財源、町民、町の財政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。</p>
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	一人当たりの地方債残高	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	下がると良い指標 【企画財政課】	千円	978	928	887	932	
評価	<p>(状況) 住民一人あたりの地方債残高は、令和2年度末で88万7千円で、令和元年度と比較して4万1千円減少しました。また、基準値に対し9万1千円の減少、目標値との差額は4万5千円となりました。</p> <p>(原因) 令和2年度の地方債発行額は、令和元年度と比較して315万1千円減少し、地方債残高は、令和元年度末と比較して12億5807万3千円減少しました。令和2年度末の住民基本台帳人口は20,300人で、令和元年度と比較して474人減少していますが、地方債残高が大きく減少していることから、一人当たりの地方債残高は減少をしました。</p>		<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>				
指標	町税の収納率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	上がると良い指標 【企画財政課】	%	95.5	97.2	97.6	97.8	
評価	<p>(状況) 町税の収納率は、令和2年度97.6%で令和元年度と比較して0.4ポイント向上しました。基準値に対しても2.1ポイント向上しています。</p> <p>(原因) 納税相談や財産調査に基づく滞納処分(令和2年度121件)を積極的に実施したことが、収納率向上の要因と考えられます。</p>		<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>				
指標	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	下がると良い指標 【企画財政課】	%	88.2	97.1	99.5	94.8	
評価	<p>(状況) 令和2年度は99.5%で、令和元年度と比較して2.4ポイント上昇しました。また、基準値に対し11.3ポイントの上昇、目標値との差は4.7ポイントとなりました。</p> <p>(原因) 借入を行った地方債の元利償還金が、令和元年度と比較して1億6,476万3千円増加していることが主な要因です。</p>		<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>				

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
32,450	22,328

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政、事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>情報インフラを活用し、地域の情報化を推進するとともに、情報の管理を適切に行います。</p>
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
<p>インターネットを活用している町民割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	%	78.2	-	66.3	80.0	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
<p>評価</p> <p>(状況) 前回の町民アンケートから7.5ポイント上昇しました。 (原因) 町が整備をしている光インターネットのサービス利用者数の増加やスマートフォンなどのモバイル通信機器の普及が増加の要因と考えられます。</p>						
<p>セキュリティ事故件数</p> <p>下がると良い指標 【総務課】</p>	件	0	0	0	0	<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
<p>評価</p> <p>(状況) セキュリティ事故件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 情報セキュリティ強化対策(インターネット及び基幹システムネットワークの分離など)や情報セキュリティに関する職員研修(eラーニングなど)など、継続的に物理的・技術的・人的セキュリティの強化を図っていることが成果に結びついたと考えられます。</p>						
<p>システムダウン件数</p> <p>下がると良い指標 【総務課】</p>	件	0	0	0	0	<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
<p>評価</p> <p>(状況) システムダウン件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 各種システムの監視体制の強化や障害発生時の対応手順等の見直しを図ることにより、障害発生時に迅速に対応できていることが要因と考えます。また、機器及びシステム異常等のログの確認及び機器の点検を定期的実施していることが安定稼働につながり、成果に結びついたと考えられます。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
320,996	306,385

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
3,743,417	4,040,634

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-06-01 未利用施設の活用

基本事業 04-06-02 公共施設の維持管理

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

過去に建設された公共施設のうち、多数の施設がこれから更新時期を迎えます。しかし、今後見込まれる人口の減少や高齢化等、そして厳しい財政事情から、公共施設の老朽状況や使用頻度などを考慮し、計画的・効率的な維持管理を行うとともに、用途の見直しや統廃合など施設の在り方を検討していく必要があります。これに伴い、平成28年度に愛南町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の現況、将来の見通し及び計画的な管理に係る基本的な方針を立てました。更に令和2年度に策定した個別施設計画では、各施設ごとの方向性を詳細に示しており、引き続き公共施設の適正化と有効利用を図ります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	2.91 (2.95)	--- (---)	2.96 (2.97)	➔
重要度	3.42 (3.63)	--- (---)	3.42 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
公共施設	公共施設の老朽状況及び利用率並びに人口に見合うよう公共施設を適正化するとともに、その有効利用を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	指標のつごき	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)
		目標達成度	実績値 (R03)			
町民一人当たりの公共施設延床面積 下がると良い指標 【総務課】	(横ばい) 目標達成度 (達成)	m ²	10.9	11.4	11.6	11.7
(状況) 令和2年度は11.6m ² で、前年度より0.2m ² 増加しています。基準値(後期)と比較しても0.7m ² 増加しており、人口に対して適正な公共施設数とは言えない状況です。 (原因) 町民一人当たりの公共施設延床面積は、年々微増しており、用途廃止施設を除却する以上に人口が減少していることが原因と考えられます。		(m ²)				
公共施設の減価償却率 下がると良い指標 【企画財政課】	比較不可 目標達成度 (低)	%	56.9	-	-	56.9
(状況) R2値は、R4.3末に値が確定する見込みであるもののR2値はR元値(62.7)と比較して横ばい傾向にあると考えられます。 (原因) 公共施設の改修事業(御荘文化センター改修工事等)を実施しているものの、減価償却額(本庁舎等の減価償却額)が上回るため、R元値とほぼ同じ値になると見込んでいます。		(%)				

施策のコスト(千円)

R元	R02
212,605	241,136

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-01 未利用施設の活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 未利用施設	基本事業がめざす姿 効率的で適切な管理を行うとともに、有効活用を図ります。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	遊休施設の活用・廃止（解体）件数 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		施設 (施設)	10	7	7	10	
評価	(状況) 基準値（後期）及び後期目標値とも達成できていません。引き続き、新規遊休施設の活用に対応していかなければならない状況です。 (原因) 旧給食センター等の施設について有効に活用できていますが、施設によっては関係省庁への報告が必要な施設等もあり、処分が確定するまで長期間活用できない状況が考えられます。また、各施設の規模が大きい等の理由により、活用する団体・個人が限定されることも原因と考えられます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
1,720	2,182

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-02 公共施設の維持管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町の公共施設	基本事業がめざす姿 適切な維持管理を行うことにより、安全で快適に利用できます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	公共施設に係る管理費 下がるが良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき 目標 達成度 🏰 (達成)
		千円	666,129	499,224	450,017	599,516	
評価	(状況)令和2年度指標値は、450,017千円で前年に比べ 49,207千円と減少しております。また、後期基準値と比較し 216,112千円、後期目標値との比較についても 149,499千円となりました。 (原因)後期基準値年度(平成28年度)に比べ大規模な工事が無かった事が原因です。	(千円) 					☀️ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
156,608	199,725

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
54,277	39,229

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

子どもたちの主体的な学びの創造を支援するとともに、児童・生徒一人ひとりに応じた指導を徹底して、確かな学力の定着・向上と心身の健全育成に取り組めます。
 複式学級への支援や特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を充実させ、全ての子どもたちが学校生活によりよく適応できるよう総合的な施策を推進します。
 心身ともに健康な児童・生徒を育成するために、基本的な生活習慣・日常的な運動習慣の定着に努めていきます。
 子どもの健全育成のため、栄養バランスがとれた安心安全な給食の提供に努めます。また、時代の変化とともに増えてきたアレルギーのある子どもに対応した給食を充実させます。
 安心安全な学校づくりを推進するため、各教育施設を点検・整備し計画的な改修、改築等を行っていきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.07 (2.95)	--- (---)	3.03 (2.97)	➔
重要度	3.60 (3.63)	--- (---)	3.66 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>幼稚園、小中学校、園児、児童、生徒</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。</p>
---------------------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	<p>楽しく学校生活を送っている児童（小学生）の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	95.0	93.7	99.7	96.0	
評価	<p>(状況)令和2年度は99.7%で、前年度比で6ポイント上昇しています。基準値からは4.7ポイント、目標値からは3.7ポイント上回っています。</p> <p>(原因)コロナ禍にありながら、各校において出来得る範囲での教育活動を継続し、高水準を維持していると言えます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

指標	<p>児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	93.7	95.7	99.3	95.0	
評価	<p>(状況)令和2年度は99.3%となっており、前年度比で3.6ポイント上昇しています。基準値を5.6ポイント、目標値を4.3ポイント上回っています。</p> <p>(原因)コロナ禍にありながらも、継続して教員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが、地域とともにある学校づくりに寄与していると考えます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

指標	<p>楽しく学校生活を送っている生徒（中学生）の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	94.4	88.7	91.0	96.0	
評価	<p>(状況)令和2年度は91.0%で、前年度比で2.3ポイント上昇しています。基準値には3.4ポイント、目標値には5ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因)ポイントは減少していますが、コロナ禍にありながらも生徒が楽しいと思える学校生活を送れるよう、各校において努めていると言えます。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>	

指標	<p>生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
		%	94.4	91.7	93.0	95.0	
評価	<p>(状況)令和2年度は93%でした。前年度比で1.3ポイント上昇しています。基準値からは1.4ポイント、目標値からは2ポイント下回っていますが、高評価であると言えます。</p> <p>(原因)コロナ禍にありながらも、継続した情報発信や保護者との連携等が十分に行われていると言えます。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>	

施策のコスト(千円)

R元	R02
874,216	777,819

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>小中学校</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。</p>
----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	授業が分かるという児童の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	94.7	95.1	99.0	95.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況)令和2年度は99.0%で、前年比3.9ポイント上昇しました。高評価です。基準値は4.3ポイント、目標値は4ポイント上回っています。</p> <p>(原因)新学習指導要領の完全実施、県学力向上3か年計画、デジタル教科書等の活用により、各校において授業改善と学習改善に取り組んでいる成果が表れていると考えられます。</p>					☀ (向上)	
		目標達成度	☑ (達成)				

指標	授業が分かるという生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	88.3	89.5	93.6	95.0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況)令和2年度は93.6%で前年度比で4.1ポイント、基準値で5.3ポイント上昇しています。しかし、目標値に1.4ポイント届いていません。</p> <p>(原因)新学習指導要領の完全実施、県学力向上3か年計画、デジタル教科書等の活用により、各校において授業改善と学習改善に取り組んでいる成果が表れていると考えられます。</p>					☁ (横ばい)	
		目標達成度	☑ (高)				

指標	学習習慣ができている児童の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	90.1	87.5	93.8	92.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況)令和2年度は93.8%で、前年度比で6.3ポイント上昇しました。基準値より3.7ポイント、目標値より1.8ポイント上回っています。</p> <p>(原因)継続した指導と啓発、家庭との連携により、家庭学習の在り方の改善が進んでいると考えられます。</p>					☀ (向上)	
		目標達成度	☑ (達成)				

指標	学習習慣ができている生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	81.9	59.6	69.6	85.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況)令和2年度は69.6%で前年比で10ポイント上昇しています。基準値より12.3ポイント、目標値より15.4ポイント下回っています。</p> <p>(原因)年度による変動があると考えられますが、各校における家庭学習の在り方について、今以上に家庭との連携と改善が必要です。</p>					☀ (向上)	
		目標達成度	☑ (高)				

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
218,732	318,485

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
いじめの解消率	%	100	95.6	88.2	100	(低下) 目標達成度 ■■■ (高)
上がると良い指標 【学校教育課】 (状況)令和2年度は88.2%で、前年度より7.4ポイント下回っています。基準値、目標値より1.8ポイント下回っています。 (原因)いじめ行為は止んでいますが、経過観察中の事案が2件あるためです。重大事案につながるようなものではありません。						

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
不登校の児童・生徒数	人	2	4	6	0	(低下) 目標達成度 ■■■ (低)
下がると良い指標 【学校教育課】 (状況)令和2年度は6名で、前年度より2名増加しています。基準値より4名、目標値より6名増えています。 (原因)要因は個人により様々ですが、コロナ禍にあって、複雑化していると考えられます。継続して保護者や関係機関と連携しながら丁寧に対応し、改善を図ります。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
3,726	3,445

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数(小5・中2) 上がると良い指標 【学校教育課】	項目	14	29	20	20	(低下) 目標達成度 (達成)
(状況)令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策等で各校の実情に合わせて、同項目の体力調査を行いました。令和2年度は20項目であり、前年度比で9項目下回っています。基準値より6項目上回り、目標値を達成しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症予防対策として、5月末まで臨時休業期間があり、自宅待機が長期に渡ったため、全体的に児童生徒の体力は低下傾向にあると考えられます。						
内科検診における精検者の受診率 上がると良い指標 【学校教育課】	%	64.5	15.4	31.8	100	(向上) 目標達成度 (低)
(状況)令和2年度は31.8%で前年に比べて16.4ポイント増加しましたが、基準値、目標値には大きく届きませんでした。 (原因)受診の必要性を強く感じる保護者が少ないことが考えられるため、要精検対象児童生徒及び保護者への受診勧奨をすすめていきます。						
日常で十分運動している児童・生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	76.1	64.9	70.0	80.0	(向上) 目標達成度 (高)
(状況)令和2年度は70.0%で、前年度比より5.1ポイント上昇しました。基準値より6.1ポイント、目標値より10ポイント下回っています。 (原因)新型コロナウイルス感染症予防対策として、臨時休業期間中の自宅待機が長期に渡ったことと、これまでと同様、児童生徒の運動の二極化傾向が原因であると考えられます。運動の習慣化、啓発を継続して行います。						
基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合(早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど) 上がると良い指標 【学校教育課】	%	86.1	92.6	90.1	95.0	(横ばい) 目標達成度 (高)
(状況)令和2年度は90.1%であり、前年度比で2.5ポイント減少しました。基準値を4ポイント上回りましたが、目標値に届いていません。 (原因)コロナ禍にあり、家庭で過ごす時間が多くなり、基本的な生活習慣の徹底の仕方に個人差が出たと考えられます。継続して、食育の指導、家庭への啓発を行い、改善に努めます。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
146,856	108,205

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 子どもが安心安全な環境で学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。
---------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	施設維持管理上の不具合件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【学校教育課】	件	129	151	117	128	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和2年度は117件で、前年と比較し34件減少し、基準値及び後期目標値を達成することができました。 (原因)修繕件数は減少する中、小規模な修繕については増加(前年より27件増の59件)しており、学校及び共同学校事務室との密な連携により、不具合の早期発見及び適切な修繕対応ができていますと考えられます。	(件)					

指標	登下校の事故・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【学校教育課】	件	7	5	2	0	(向上) 目標達成度 (中)
評価	(状況)令和2年度は2件となっております。前年度比より3件減少しました。基準値より5件向上しました。目標値より2件下回っています。 (原因)各校における交通安全教室や防犯訓練等、警察やスクールガード・リーダーとの連携を継続し、今後も児童生徒一人ひとり、保護者への啓発を繰り返し行う必要があります。	(件)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
268,805	149,357

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 教職員	基本事業がめざす姿 教職員の資質・能力の向上を図ります。
----------------	---------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の つごき
指標	研修や自己研鑽を行っている教職員の割合	%	98.6	98.1	98.2	100	
	上がると良い指標	【学校教育課】					
評価	(状況)令和2年度は98.2%で、前年度と同程度です。基準値に0.4ポイント、目標値に1.8ポイント達していませんが、高水準を継続しています。 (原因)コロナ禍にありながらも、各小・中学校において、教職員が研修に努めていることが考えられます。今後も継続して学び続ける教職員の啓発に努めたいと考えます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
10	41

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
236,087	198,286

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業 05-02-03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業 05-02-04 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化や高度情報化、価値観の多様化により、生涯学習に対する町民ニーズも多様化しています。そのため、町民が求める様々な知的要求の把握に努め、自己開発、知識・技術の向上のための支援、学んだ成果を地域に生かす仕組みづくりを引き続き構築していきます。特に地域と共にある公民館については、事業の評価点検や各種活動を支援する人材の育成に取り組む必要があります。また、学習施設利用者が安全・快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めるとともに、老朽化した施設の長寿命化を計画的に進めていきます。

人口の減少と少子高齢化の進展に加えて、長期化する新型コロナウイルスの感染防止対策によって、文化活動の推進や伝統行事の維持・継承などが難しい状況にあります。新型コロナウイルスの感染防止を考慮しつつ、住民ニーズの多様化に則した文化事業の充実、地域文化の次世代への継承に取り組んでいきます。

文化財保護行政については、完成した平城貝塚の総括報告書の成果をもとに国史跡指定に向けた取組を進めていきます。また、この他の文化財についても、法令等に基づき、保護の対象とすべきものについては保護措置を進めるとともに、その所在と価値そして保護の必要性について、周知に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.03 (2.95)	--- (---)	3.03 (2.97)	→
重要度	3.44 (3.63)	--- (---)	3.44 (3.62)	→

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のつごき																					
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	12.3	-	15.2	30.0																						
評価	(状況)令和2年度は15.2%で、前回に比べて2.4ポイント低下し、目標値の30.0%には届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの感染拡大によって、生涯学習に取り組む機会が減少していることが原因と考えられます。今後、新型コロナの感染が収束し、生涯学習の機会や情報提供を充実することによって、成果の向上が見込めます。	<table border="1"> <caption>生涯学習に取り組んでいる町民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>12.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>14.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>15.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>15.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H28	12.3	-	H29	14.7	-	H30	17.1	-	R元	15.2	-	R02	15.2	-	R03	-	30.0	(横ばい) 目標達成度 (中)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																										
H28	12.3	-																										
H29	14.7	-																										
H30	17.1	-																										
R元	15.2	-																										
R02	15.2	-																										
R03	-	30.0																										

施策のコスト(千円)

R元	R02
375,079	368,562

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>住民のニーズに応じた様々な生涯学習を提供し、多くの町民が各種講座などに参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。</p>
--------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
指標	町主催の生涯学習に参加した町民の参加者数	人	20,997	23,218	10,297	25,000	<p>(人)</p>
	<p>上がると良い指標</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>(状況)令和2年度は10,297名で、前年度に比べて参加者が12,921名減少しました。また、目標値である25,000人は達成できませんでした。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、多くの事業を中止したためです。今後、新型コロナの収束によって生涯学習事業が通常通り開催できるようになれば、参加者の増加が見込めます。</p>	<p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>					
指標	生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	%	83.1	-	79.0	90.0	<p>(%)</p>
	<p>上がると良い指標</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>(状況)令和2年度は79.0%で、前回に比べて7.4ポイント低下し、目標値の90.0%には届きませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの影響で多くの事業を中止したことが低下の原因と考えられます。今後、新型コロナの収束によって生涯学習事業が通常通り開催できるようになれば、成果の向上が見込めます。</p>	<p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>					
指標	生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合	%	81.4	-	76.4	85.0	<p>(%)</p>
	<p>上がると良い指標</p> <p>【生涯学習課】</p> <p>(状況)令和2年度は76.4%で、前回に比べて8.3ポイント低下し、目標値の85.0%には届きませんでした。 (原因)町広報誌や公民館だより、町ホームページ、チラシの配布などにより生涯学習の情報を提供していますが、新型コロナウイルスの影響で多くの事業を中止したため、情報の発信数が少なかったことが低下の原因と考えられます。今後、新型コロナの収束によって生涯学習事業が通常通り開催できるようになれば、成果の向上が見込めます。</p>	<p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
17,601	12,042

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学生	基本事業がめざす姿 青少年が健全に育成されるように支援します。
-----------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	地域の子どもの育成活動や学校教育への支援に積極的に関わっている町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のつごき																			
評価	(状況)令和2年度は5.1%と平成30年度に比べ3.9ポイント低下し、目標値の30%には届いていません。 (原因)少子化や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う事業の中止により、子どもとふれあう機会が減少したことが要因だと考えられます。今後、新型コロナの収束によって事業や活動が通常通り実施できるようになれば、成果の向上が見込めます。	%	10.5	-	5.1	30.0	目標達成度 (低下) (低)																			
		<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>10.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>5.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H28	10.5	-	H29	5.1	-	H30	5.1	-	R元	-	-	R02	5.1	-	R03
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																								
H28	10.5	-																								
H29	5.1	-																								
H30	5.1	-																								
R元	-	-																								
R02	5.1	-																								
R03	-	30.0																								

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,683	5,208

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、生涯学習施設	基本事業がめざす姿 生涯学習施設を整備し、多くの町民が利用します。
----------------------	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	生涯学習活動を行なう施設が充足していると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	87.4	-	88.7	90.0	
評価	(状況) 令和2年度は88.7%で、前回から0.6ポイント減少しました。目標値の90.0%には届きませんでしたが、満足度は高い状態にあります。 (原因) 施設数に増減はありませんが、老朽化した箇所の機能改善や修繕を行うなど、利用者への利便性の向上に努めているため、数値に大きな変化がなかったと考えられます。	(%)				(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	

指標	生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0	2	0	0	
評価	(状況) 令和2年度は各施設ともに維持管理上の不具合等は発生しませんでした。 (原因) 町民の施設利用を妨げるような機器等の突発的な不具合もなく、年度を通して適正な維持管理がなされたことが要因だと考えられます。	(件)				(向上) 目標達成度 ■■■ (達成)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
132,764	154,873

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 文化活動及び地域文化の保護・継承を推進することにより、町民の文化意識が向上します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
文化活動への参加者数 (芸術・文化・歴史)	人	78,994	68,279	22,279	82,000	(低下) 目標達成度 (低)
上がると良い指標 【生涯学習課】 (状況) 前年度に比べて67.4ポイントと大幅に減少しています。 (原因) 新型コロナウイルスの感染拡大による文化活動の中止、公共施設等の利用中止などにより、文化協会等の活動が自粛を余儀なくされたため、大幅な減少になったものと考えられます。今後、新型コロナの感染が収束によって事業や活動が通常通り実施できるようになれば、参加者の増加が見込めます。						
文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合	%	76.5	-	70.7	80.0	(低下) 目標達成度 (高)
上がると良い指標 【生涯学習課】 (状況) 前回アンケート(平成30年度)に比べて4.9ポイント減少しています。 (原因) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種文化事業・芸術鑑賞の中止が相次いだため減少したものと考えられます。今後、新型コロナの収束によって文化事業等が通常通り開催できるようになれば、成果の向上が見込めます。						
伝統行事保存団体数	団体	14	14	14	14	(横ばい) 目標達成度 (達成)
上がると良い指標 【生涯学習課】 (状況) 前年度の数値と変化はありません。 (原因) 県指定文化財の保存団体への補助金の交付、CATVでの放映などによる広報・啓発等を実施していますが、現状の数値を維持するにとどまっています。						
文化財の指定及び登録件数	件	111	112	112	112	(横ばい) 目標達成度 (達成)
上がると良い指標 【生涯学習課】 (状況) 前年度の数値と変化はありません。 (原因) 指標の数値に変化はありませんが、平城貝塚の既往調査を総括した報告書をまとめたことにより、平城貝塚の国史跡指定に向けた取組が大きく前進しました。						

基本事業のコスト (千円)

R元	R02
16,706	5,602

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
202,325	190,837

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子化による競技人口の減少とスポーツ習慣の低下により、スポーツ少年団への加入率も年々減少し、青少年に対するスポーツ習慣を高める取り組みが求められています。また、若者の流出によるチームスポーツの減少や、町主催大会・教室等への参加者も減少しています。このため、各種競技の指導者の育成やアーチェリー等の新たな競技の導入など、青少年から一般までが気軽にスポーツに参加できる環境整備や、現在猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒などの「新しい生活様式」を定着させ、安心してスポーツができるように既存施設の充実を図る必要があります。えひめ国体で使用したあけぼのグラウンドを中心に、定着しつつあるスポーツ合宿誘致をさらに進め、官民一体でスポーツ交流人口の拡大を図り、地域活性化や地域スポーツの活性化を促進する必要があると思われま

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.09 (2.95)	--- (---)	3.02 (2.97)	➔
重要度	3.36 (3.63)	--- (---)	3.36 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町民ニーズにあったスポーツ環境の整備を行い、健康増進を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		上がる和良好的指標	%	29.6	-	31.7	32.0
評価	(状況) 令和2年度は平成30年度と比べて3.7ポイント向上しましたが、後期目標値には達しませんでした。 (原因) 新型コロナウイルスの感染拡大によって、スポーツ活動の機会が減少していることが原因と考えられます。今後、新型コロナウイルスの感染が収束し、通常通りの活動ができるようになれば、成果の向上が見込めます。					☀ (向上)	
		目標達成度	■ ■ ■ (高)				
指標	各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標の うごき
		上がる和良好的指標	%	13.4	-	11.5	15.0
評価	(状況) 令和2年度は11.5%で前回を0.7ポイント下回り、後期目標値を3.5ポイント下回りました。 (原因) 若年層の人口減少に伴い、野球やサッカーなどのチーム数が減少していることが要因だと考えます。					☁ (横ばい)	
		目標達成度	■ ■ ■ (高)				

施策のコスト(千円)

R元	R02
114,670	74,188

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ団体の充実及び指導者の育成により、地域でスポーツ活動をする人が増加します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	各種スポーツ指導者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	23	31	28	30	
評価	(状況)令和2年度28人で前年度より3名減少し、基準値を2名下回り後期目標値を達成できませんでした。 (原因)資格保有者の町外への転出が要因です。公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者は資格有効期限が4年間となっており、期間内に義務研修を受講しなければならないため、今後も更新のための研修会への参加を促していきます。	(人)					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	各種スポーツ団体で優秀な成績を収めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人(団体)	11(6)	17(2)	15(1)	14(5)	
評価	(状況)令和2年度は個人15名及び1団体で、いずれも前年度数値を下回っていますが、個人については後期目標値を達成しています。 (原因)令和2年度は新型コロナウイルスの影響により大会が中止となったことが要因です。今後も引き続き競技力の向上に努めていくことで目標値の達成が見込めます。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	スポーツ少年団の加入率	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	59.0	40.1	32.1	55.0	
評価	(状況)令和2年度は32.1%で、前年に比べて8ポイント低下しており、後期目標値に達していません。 (原因)児童数減少によるスポーツ少年団の解散などが大きな原因です。スポーツ少年団がない小学校の児童を対象に、活動中のスポーツ少年団を紹介し、加入促進を図ります。	(%)					(低下) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,762	3,945

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ活動への参加機会が充実します。
------------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町主催のスポーツ大会・教室等に参加した人数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	775	1,863	628	2,000	
評価	(状況) 令和2年度の参加者数は628人で、後期目標値及び前年度数値を下回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種大会の中止が要因であると考えます。今後コロナの収束によって各種大会が通常通り開催できれば参加者の増加が見込めます。					(低下) 目標達成度 (低)	

指標	スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	87.9	-	84.0	90.0	
評価	(状況) 令和2年度は84.0%で前回より3.2ポイント減少し、後期目標値には達しませんでした。ほぼ横ばいで推移しています。 (原因) 新型コロナウイルスの感染拡大による活動自粛の中で、各競技団体が工夫しながら大会を企画、運営している成果であると考えられます。今後、新型コロナの収束によって通常通りの活動ができるようになれば、成果の向上が見込めます。					(横ばい) 目標達成度 (高)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
13,357	3,714

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツ施設利用者数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	160,771	122,315	88,011	165,000	<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(中)</p>
評価	(状況)令和2年度は88,011人で前年度より34,304人減少し、後期目標値に達しませんでした。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の利用休止と、利用団体の活動自粛により利用者数が減少したため前年度数値を下回っています。今後、新型コロナの収束によって通常の施設利用ができるようになれば、利用者数の増加が見込めます。	(人)					

指標	スポーツ施設の維持トラブル不具合件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0	0	0	0	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
評価	(状況)令和2年度も不具合やトラブルの申し出がなく、順調に推移しています。 (原因)昨年度同様に公民館等と連携して施設の巡回、点検を行い状況を把握することで、現状を維持するための対応を早期に行ったことが要因だと考えます。	(件)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
38,089	30,790

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 スポーツツーリスト、町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツツーリズム推進基本方針（観光庁）に基づき「見る」、「する」、「支える」などのスポーツを通じた観光のまちづくりを推進します。
-----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツツーリズムによる交流人口	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	4,541	5,632	214	5,200	 (人)
評価	(状況) 令和2年度の数値は214人で、前年度数値及び後期目標値を下回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの大会が中止となったため後期目標値に達しませんでした。今後、新型コロナウイルスの収束によって通常通り大会が開催できた場合は、交流人口の増加が見込めます。					(低下) 目標達成度 (低)	
指標	スポーツ合宿件数	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【生涯学習課】	件	13	12	3	17	 (件)
評価	(状況) 令和2年度は3件であり、後期目標値を14件、昨年度実績を9件下回りました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休止や利用団体の活動自粛により、各種合宿が行えなかったことが要因であると考えます。今後、新型コロナウイルスの収束によって通常通りの施設利用ができるようになれば、合宿件数の増加が見込めます。					(低下) 目標達成度 (低)	

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
12,568	2,117

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
44,894	33,622

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化に伴い、介護を要する高齢者の増加、老老介護、家族の負担増など、虐待の要因が増加傾向にあります。また、子どもの貧困率の増加やインターネットによる誹謗中傷が大きな社会問題となっています。平成28年度から障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、アイヌ施策推進法が施行されるなど、あらゆる人権課題の解決に向けた取組みを進めていますが、依然として同和問題をはじめ、女性、障がい者、LGBTQ+等への人権侵害が多く発生し、多文化共生への理解が進んでいません。

基本的な人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会の実現のため、啓発活動の充実が必要です。

女性の社会進出が進み、平成30年には政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行され、職場等では環境の変化があると思われませんが、家庭まではなかなか浸透していないのが現状です。共働き世帯が増加する中、男女の地位の平等化は重要な課題となっています。令和2年度に策定した第3次愛南町男女共同参画推進計画に基づいて、男女の性差に関係なく、自分の意思を表現できるよう、男女共同参画社会形成の実現を目指します。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H30	R元	R02	うごき
満足度	3.00 (2.95)	--- (---)	2.98 (2.97)	➔
重要度	3.41 (3.63)	--- (---)	3.46 (3.62)	➔

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、学校、企業及び団体	基本的人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や学校、地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会が確立します。

施策の成果状況と評価

指標	この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	【人権啓発室】	%	12.1	-	8.5	9.0	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度と比較すると、令和2年度は8.5%で、0.3ポイント低下しており、順調に推移しています。 (原因) 各種大会や研修会等への参加を促し、差別や偏見の解消に努めたことが、成果向上に結び付いたと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標	出身、性別、国籍、年齢、病気、障がいの有無等の人権に係る差別をしてはならないと考える町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	【人権啓発室】	%	97.7	-	97.9	100	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度と比較すると、令和2年度は97.9%で、0.1ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 各種大会や研修会等への参加を促し、差別や偏見の解消に努めたことが、成果向上に結び付いたと考えられます。						目標達成度 (高)

施策のコスト(千円)

R元	R02
16,125	16,566

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、企業及び団体	基本事業がめざす姿 あらゆる差別や偏見を解消する人権尊重意識の高揚を図ります。 お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性をもった児童・生徒を育てます。
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
評価	上がるの良い指標	%	34.8	-	39.9	45.0	
	(状況) 平成30年度と比較すると、令和2年度は39.9%で、0.7ポイント減少していますが、順調に推移しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習等の参加者を広く募集できなかったことが、成果低下の原因と考えられます。	(%)					

指標	相手の気持ちを理解し、やさしい言葉遣いや行動ができる児童・生徒の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
評価	上がるの良い指標	%	79.5	76.4	84.9	90.0	
	(状況) 令和2年度は84.9%で、前年に比べて8.5ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 学校で行われる校区別人権・同和教育懇談会等を通して、人権感覚の優れた児童・生徒の育成を図ったことが、成果向上に結びついたと考えられます。	(%)					

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
5,174	2,502

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる社会を実現します。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	男女の地位は平等になっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	25.1	-	20.4	30.0	
評価	(状況)平成30年度と比較すると、令和2年度は20.4%で、3ポイント減少しており、低下傾向にあると考えられます。 (原因)男女共同参画社会基本法や政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行され、職場等の環境は変化していると思われませんが、地域社会、家庭等までは浸透していないことが、成果低下の原因と考えられます。					(低下) 目標達成度 (中)	

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
150	3,687

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 18歳未満の子供及び65歳以上の高齢者	基本事業がめざす姿 子どもや高齢者の人権が侵害されることなく、安心して生活することができます。
---------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	指標のうごき
児童福祉法に基づく要保護児童等の支援による解決率 上がると良い指標 【人権啓発室】	%	36.7	21.0	42.1	37.0	(向上) 目標達成度 (達成)
(状況)令和2年度は42.1%で、前年に比べて21.1ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因)対象児童の他市町村への転出や母子保健での見守りに変更するケースが多かったことが、成果向上に結び付いたと考えられます。						
高齢者の人権が侵害された件数 下がると良い指標 【高齢者支援課】	件	8	1	6	7	(低下) 目標達成度 (高)
(状況)令和2年度は6件で、前年に比べて5件増加し、指標値が悪化しています。 (原因)高齢者虐待は問題が深刻化する前に発見し、対応することが重要になるため、地域住民、民生児童委員、関係行政機関と連携を図ったことにより、潜在化していたケースが顕在化し件数が増加したものと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R元	R02
2,790	1,715

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R元	R02
8,011	8,662

令和3年度
行政評価諮問事務事業に係る答申書

令和3年10月
愛南町行政評価委員会

目 次

<u>1 審議経過</u>	3 ~ 4
(1) 評価した事務事業	3
(2) 評価の手順	3
(3) 会議の内容	4
<u>2 当委員会の評価</u>	5 ~ 11
(1) 評価の観点	5
(2) 評価の種別	5
(3) 評価の方法	5
(4) 評価の決定	6 ~ 11
<u>3 委員会委員名簿</u>	12

1 審議経過

(1) 評価した事務事業

次の5つの事務事業について評価しました。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	子育て環境の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業		放課後児童クラブ事業
担当課		保健福祉課	
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	公共交通の確保
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
	事務事業		コミュニティバス運営事業
担当課		総務課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	水産業の振興
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営
	事務事業		水産業振興補助事業
担当課		水産課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	消防・救急体制の充実
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化
	事務事業		消防団運営事業
担当課		消防本部庶務課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進
	事務事業		男女共同参画推進事業
担当課		企画財政課	

(2) 評価の手順

- ① 事務事業担当課による内部評価を経た事業マネジメントシート(事後評価)及び附属資料により事業説明を受け、質疑応答を行いました。
- ② 行政評価シート(本書巻末に【資料】として添付)により各委員の評価を取りまとめ意見集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定しました。

(3) 会議の内容

次の3回の会議を開催しました。

回数	日時・場所	主な審議内容
第1回	令和3年8月31日(火) ～令和3年9月10日(金) 書面会議	<ul style="list-style-type: none">・ 諮問書の送付・ 諮問事務事業の資料送付・ 書面会議意見書の取りまとめ
第2回	令和3年9月27日(月) 13:30～16:00 本庁 3階 第2会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 事務事業の説明及び質疑応答(各担当課)・ 事務事業の評価の準備
第3回	令和3年10月11日(月) 13:30～16:30 本庁 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 事務事業の評価の取りまとめ及び意見集約・ 事務事業の評価の決定・ 答申書(案)の確認
答申	令和3年10月26日(火) 町長室	<ul style="list-style-type: none">・ 答申

2 当委員会の評価

(1) 評価の観点

次の観点により評価しました。

観点	意味
妥当性	・ 上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献) ・ 税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)
有効性	・ 意図に対して手段が有効か(成果状況) ・ 成果が向上する余地があるか(成果向上余地)
効率性	・ 現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1) ・ 他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

(2) 評価の種別

次の種別により評価しました。

種別		意味
維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
見直し	改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
休止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
廃止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

(3) 評価の方法

評価に当たっては、各委員による「(1) 評価の観点」の「妥当性」、「有効性」及び「効率性」の評価を集計し（9名の委員がそれぞれの項目に対して1票ずつ投票）、「意見・提言」とともに討議の参考としました。最終的に当委員会の評価は、「(2) 評価の種別」から選択し、また、それへの解説を加えて決定としました。

(4) 評価の決定

次のとおり当委員会の評価を決定しました。

① 評価の一覧

事業			評価の種別	
1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	見直し／拡充
		施策	子育て環境の充実	
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実	
	事務事業		放課後児童クラブ事業	
	担当課		保健福祉課	
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	維持／このまま継続
		施策	公共交通の確保	
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保	
	事務事業		コミュニティバス運営事業	
	担当課		総務課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり	維持／このまま継続
		施策	水産業の振興	
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営	
	事務事業		水産業振興補助事業	
	担当課		水産課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり	見直し／改善
		施策	消防・救急体制の充実	
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化	
	事務事業		消防団運営事業	
	担当課		消防本部庶務課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	維持／このまま継続
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現	
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進	
	事務事業		男女共同参画推進事業	
	担当課		企画財政課	

② 評価の詳細

(7 ～ 11 のとおり)

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	子育て環境の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
		事務事業	放課後児童クラブ事業
		担当課	保健福祉課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	8票	1票		
有効性	4票	4票	1票	
効率性	3票	6票		
計	15票	11票	1票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・現在は3校による事業で、理想は、全ての校区の保護者も等しく当事業を受けれることが望ましいが、現在の制度では拡充は難しいと考えます。 ・小学校統廃合が今後進むことから、子どもの人数も将来的に増減するため、保護者のニーズにあうよう常に最適化を目指して事業を継続していただきたいと考えます。 ・少子化対策への対応についても、利用者が希望するクラブ、こども塾に全て受入れられるよう今後、可能な限り継続すべき事業と考えます。 ・今年試行的にスタートした平城小の放課後図書クラブ事業に期待しています。 ※3密対策に加え短時間によることで保護者の負担も軽減されることもあり、環境に応じた選択ができることや更に4年生以上も利用可能にする等、フレキシブルな対応を望みます。 ・児童クラブと子ども塾の制度の違いはあるものの、運用の差がなるべく乖離しないことを望みます。 ・常に待機者がいないように工夫して事業を進めて欲しい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／拡充	子育て環境の充実としては、継続して取り組んでいく必要がある政策だと考えます。子どもの人数も将来的に増減があるため、子育て環境における保護者の意見等を確認しながら常に最適化を目指して工夫した事業展開を期待します。

基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
	施策	公共交通の確保
2 基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
事務事業		コミュニティバス運営事業
担当課		総務課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	6票	2票	1票	
有効性	3票	4票	2票	
効率性	2票	4票	3票	
計	11票	10票	6票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は生活に直結するものであり、今後も各地域において利用者の移動手段として継続する必要があると考えます。 ・令和4年度には支線の切り替えを行う予定ですが、利用者の環境に応じた運行を望みます。 ・高齢化の進む中で、通院、買い物など利用者に必要な事業だと考えます。 ・近い将来の人口減少を見据えた対応などを考えながら、常に利用環境に応じた変化への運用に努めていただきたい。 ・令和4年に主幹道路以外は民間バスからコミュニティバスに切り替わることから、今後、生活交通の確保が課題になっています。 ※日常バス利用している学生や高齢者にとっては、必要不可欠な移動手段であるため、路線の利便性や効率性、更には料金格差等、運営方法の改善が必要であると考えます。 ・収益改善として、企業等へバスへの広告掲載を働きかけるなどを検討していただきたい。 ・利用者が少ない支線への対応として、デマンド型交通の試行的な実施の検討をしていただきたい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	生活に必要な事業だと考えますが、利用者の少ない路線もあることから、その運用としてデマンド型交通の試行的な運用やコミバスへの広告掲載など、より良い手段・方法を常に模索して事業運営を行っていただきたい。

3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	水産業の振興
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営
	事務事業		水産業振興補助事業
	担当課		水産課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	5票	4票		
有効性	4票	4票	1票	
効率性	2票	5票	1票	1票
計	11票	13票	2票	1票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> 水産業は、愛南町の主幹産業の一つであるため、地域活性化のためにも継続して事業実施を行っていただきたい。 食の安全が問われる中、梱包施設整備に愛南漁協が取り組みされたことから、漁協・会社を問わず早い時期に利用できるように協議して生産額増に繋げていただきたい。 HACCP施設（梱包施設）の利用率も向上して活性化を図ってほしい。 対象者が少人数の事業については、幅広い事業になるように制度改正を望みます。 長期的な事業も中にはあるため、費用対効果等の見通しなど詳細な報告をいただきたい。 現状で毎年「先進地視察研修事業」を組んでいることに違和感を感じます。研修内容は分かりませんが現地への視察の方法以外にも、リモートなどを活用しての研修の実施も検討していただきたい。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	水産事業者への補助事業としては、妥当性・有効性及び効率性が高い事業である一方で、補助対象者が偏らないような工夫をして事業展開を行っていただきたい。

4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	消防・救急体制の充実
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化
	事務事業		消防団運営事業
	担当課		消防本部庶務課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	6票	2票	1票	
有効性	4票	4票	1票	
効率性	2票	5票	2票	
計	12票	11票	4票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・国の中間報告に示された消防改正事項については、変更への対応など早急に検討していただきたい。 ・全国的に女性団員の割合も少なく、災害時に幅広く対応するためには、女性団員も必要のため、女性団員を増やす取組みや機能別消防団員の導入等、団員確保の施策は有効だと考えます。 ・人口減少によって団員確保が課題であり、団員になることで災害意識を高め、機能強化を図っていただきたい。 ・町民の安心・安全に直結する事業であり、今後も継続して実施する必要があると考えます。 ・入団することに対して活動内容等に不安を感じるため、事前説明会や機械器具や基本動作説明など、きめ細やかな対応が必要だと考えます。 ・びやびや愛南タイムの利用等、宣伝も工夫してほしい。 ・アンケートの中で、消防訓練に対する回答に、「2～3時間以内にしてほしいの表れ」とあることから、時間短縮することも必要と考えます。メリット、デメリットのバランスを団員へ説明して理解を求めながら活動等を行ってほしい。 ・出初め式、操法大会、消火ポンプ・車両点検、年末夜警、地区防災訓練等の形式的な活動を行うだけではなく、実際の火災や自然災害に対応できる団員の人材確保、対応知識の共有を充実させる方法を模索してほしい。又、上記形式的な活動も意味のある活動の内容・方法に見直す必要があるのではないかと考えます。 ・アンケートを実施して団員定数や操法の在り方など協議し、令和5～6年度を目処に見直しを行う予定ということですが、2～3年後といわず早く消防団の在り方の方向性を導き出し魅力のある組織にしていきたい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／改善	町民の安心・安全に直結する事業である中で、団員確保等難しい問題だと考えます。処遇改善や形式的な活動の見直し等、より良い手段を模索して機能向上するための事業を展開していただきたい。

5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進
		事務事業	男女共同参画推進事業
		担当課	企画財政課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	4票	3票	2票	
有効性	1票	4票	4票	
効率性	1票	3票	5票	
計	6票	10票	11票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、今後も継続して実施して行く必要があると考えます。 ・多様な学習の機会の充実や男女共同参画社会の形成に取組み、その中で生じた課題の改善を行うためにもこのまま継続していただきたいと考えます。 ・町の各種委員会や審議会の女性の割合は、少しずつ向上しているものの、まだ全体的な男女平等意識は低いため、今後の各種委員会や審議会のメンバー改定時期には、改めて男女の割合が等しくなるように募集していただきたい。 ・座談会を町内で開催して、男女平等の意識を深める取組みを積極的に行っていただきたい。 ・状況や個々の能力に応じて、性別に関わらず組織の男女の割合の差があることも中には必要ですから、人権という大きなくりの中で再検討する時期にきているのではないかと考えます。 ・子育て支援との関係性を取りながら事業展開を行っていただきたい。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	今後も継続して実施する必要がある事業と考えますので、町民へ計画推進の普及に努め、男女平等意識を深めていただきたい。また、問題点については、その都度検討し改善していただきたい。

3 委員会委員名簿

番号	職務	氏名	備考
1	委員長	砂田 陽子	
2	副委員長	大西 浩樹	
3	委員	兵頭 堅次	
4	委員	宗田 清昭	
5	委員	益田 貴之	
6	委員	渡邊 千寿	
7	委員	高橋 一見	
8	委員	山川 美和	
9	委員	松本 正子	

【資料】

行政評価シート

基本構想	政策	
	施策	
基本計画	基本事業	
事務事業		
担当課		

1 妥当性

- ①上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献)
 ②税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)

高い
 どちらかと言えば高い
 どちらかと言えば低い
 低い

コメント

2 有効性

- ①意図に対して手段が有効か(成果状況)
 ②成果が向上する余地があるか(成果向上余地)

高い
 どちらかと言えば高い
 どちらかと言えば低い
 低い

コメント

3 効率性

- ①現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1)
 ②他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

高い
 どちらかと言えば高い
 どちらかと言えば低い
 低い

コメント

4 意見・提言

5 評価

1 維持	<input type="checkbox"/> このまま継続
2 見直し	<input type="checkbox"/> (1) 改善 <input type="checkbox"/> (2) 拡充 <input type="checkbox"/> (3) 縮小 <input type="checkbox"/> (4) 事業統合
3 休止	<input type="checkbox"/> 休止
4 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止

* 評価の種別については裏面を参照

評価の種別		評価の意味
1 維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
2 見直し	(1) 改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	(2) 拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	(3) 縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	(4) 事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
3 休止	休止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
4 廃止	廃止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

令和3年度行政評価(令和2年度実施事務事業)答申反映の方向性
(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))

1/3

1	答申事務事業	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
			施策	子育て環境の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実	
	事務事業		放課後児童クラブ事業(キーコード877)	
	担当課		保健福祉課	
行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
	見直し/拡充		子育て環境の充実としては、継続して取り組んでいく必要がある政策だと考えます。子どもの人数も将来的に増減があるため、子育て環境における保護者の意見等を確認しながら常に最適化を目指して工夫した事業展開を期待します。	
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
	本事業は、安心して子育てしやすい環境整備の取組みとして、必要があると考えます。人口減少等による環境変化へ対応するためにも、子育て世代の保護者の意見を取り入れながら、より良い事業展開を行います。			

2	答申事務事業	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
			施策	公共交通の確保
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保	
	事務事業		コミュニティバス運営事業(キーコード91)	
	担当課		総務課	
行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
	維持/このまま継続		生活に必要な事業だと考えますが、利用者の少ない路線もあることから、その運用としてデマンド型交通の試行的な運用やコミバスへの広告掲載など、より良い手段・方法を常に模索して事業運営を行っていただきたい。	
町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
	高齢化の進行により、免許返納者も増加する見込みや生活しやすい環境整備のためにも、コミバスの運営方法とタクシー利用助成等、総合的に地域公共交通の基盤整備を検討しより良い事業運営を行います。			

令和3年度行政評価(令和2年度実施事務事業)答申反映の方向性
(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))

2/3

3	答申事務事業	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり	
			施策	水産業の振興	
		基本計画	基本事業	漁業の安定経営	
		事務事業		水産業振興補助事業(キーコード388)	
		担当課		水産課	
3	行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
		維持/このまま継続		水産事業者への補助事業としては、妥当性・有効性及び効率性が高い事業である一方で、補助対象者が偏らないような工夫をして事業展開を行っていただきたい。	
3	町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
		水産振興を行っていくうえでは、必要な補助事業と位置づけています。公益性を問われる事業であることから費用対効果や事業検証を実施しながら、漁業経営の安定化と環境整備を支援します。			

4	答申事務事業	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり	
			施策	消防・救急体制の充実	
		基本計画	基本事業	消防団の充実強化	
		事務事業		消防団運営事業(キーコード520)	
		担当課		消防本部庶務課	
4	行政評価委員会の評価	評価の種別		解説	
		見直し/改善		町民の安心・安全に直結する事業である中で、団員確保等難しい問題だと考えます。処遇改善や形式的な活動の見直し等、より良い手段を模索して機能向上するための事業を展開していただきたい。	
4	町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
		消防団は、町民の安心・安全を守るためにも必要不可欠と位置づけております。一方で、社会を取り巻く環境変化により団員確保など難しい問題もあり、これらの必要性等について協議を深めて、地域防災力の向上を目指し事業を実施します。			

令和3年度行政評価(令和2年度実施事務事業)答申反映の方向性
(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))

3/3

5	答申事務事業	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	
			施策	人権の尊重・男女共同参画の実現	
		基本計画	基本事業	男女共同参画の推進	
		事務事業		男女共同参画推進事業(キーコード82)	
		担当課		企画財政課	
5	行政評価委員会の評価	評価の種別	解説		
		維持/このまま継続	今後も継続して実施する必要がある事業と考えますので、町民へ計画推進の普及に努め、男女平等意識を深めていただきたい。また、問題点については、その都度検討し改善していただきたい。		
5	町長の評価	事務事業への答申反映の方向性(町長の評価(愛南町行政評価条例(平成18年条例第4号)第5条評価))			
		社会情勢の変化やこれまでの取組みの課題を踏まえ、基本理念を「男女がともにあゆみ育てるまち-あいなんの創造-」として掲げている「第3次愛南町男女共同参画推進計画」の5つの基本目標の実現に向けて取組みます。			